夕刊
滿洲日報
七月三十日
發行所 大連市 株式會社滿洲日報社

長沙の日本領事館も遂に共匪に燒拂はる
全くその跡形を止めず
わが砲艦小鷹危險を冒し偵察

【上海特電卅日發】長沙を占領した共產黨軍は入城と同時に掠奪放火を擅にして居るがわが豆砲艦小鷹が昨朝危險を冒して視察に赴いた結果、市內目拔の場所は燒拂はれ我領事館も放火によつて跡形も無く燒失して居り漸次黑煙に包まれて人影も無きことが確められた

長沙占領の共匪軍
勞農政府を樹立
各種施政要綱を發布

【漢口卅九日發電通】長沙に入城した彭德懷等の共產軍領袖は昨夜宣言を發し長沙にソウエート共產政府樹立を布告し直に政府組織に着手し左の如き長文の共產政府組織施政要綱を發布した

一、紅軍第五軍農工革命委員會主席彭德懷、常務委員鄧乾元、李煒、何長功等を以てソウエート政府を組織す
二、帝國主義的一切の財產を沒收す
三、各大企業銀行交通機關を接收
四、共產政治機關とす
五、友邦露國と提携す
六、農工階級を開放す
蔣介石、閻錫山等の軍閥を打倒す
七、不平等條約取消
八、租界を回收す
九、全國の物價を政府の力で引下げる、その他

支那に共產政府が樹立されたのは一九二七年に倒れた武漢政府以來のことでこれが成功せば南北兩政府と三ッ巴の形となるべく中央軍の手薄に乘じ暴風の如く湖南、江西を赤化した彼等今後の行動は極めて注目に値する

共匪に放火掠奪された長沙

韓軍青州放棄

【青島二十九日發電通】山西軍に退路を斷かれ三方から包圍された韓軍は遂に昨夜淄河、青州の前線を放棄し第一線を昌樂に、第二線を濰縣に、總司令部を高密に移したが總司令部の在る鐵甲車北平號は今朝に至り更に膠州に退いた、山西軍の濰縣入城は一兩日中ならんの身代りを立てゝ飽くまで政府組織の既定方針に邁進するに決したと

安保大將京城着

【京城二十九日發電通】軍縮會議に對する軍部代表顧問としてロンドンに派遣され引續き高松宮殿下の御附として暫くロンドンに居殘りその役目を終へた安保清種大將は七月十四日パリー發一路シベリア經由入ケ月ぶりの歸朝の途廿九日午後八時五十分京城驛着列車で入城、兒玉政務總監、森岡警務局長等の出迎をへ受けて天眞樓に旅裝を解いたが三十日は滯在、卅一日午前十時發一路歸京の筈

張學良氏の身代り擁立
北方政府を組織

【北平廿九日發電通】擴大會議委員側消息によれば張學良氏は暫時北方政府に參加せざることを表示した、このため北方側の受くる打擊は相當大なるべく八月七日の正式會議までに辦法を講じ張學良氏

倫敦條約案可決
きのふ英上院にて

【ロンドン二十九日發電通】本日イギリス上院は政府提出のロンドン條約案を可決した

マ首相辭職誘致運動
勞働黨內に擡頭

【ロンドン三十日發電通】勞働黨內にマクドナルド首相、スノーデン藏相の辭職を來さしめんとする運動が起つてゐると噂されてゐる右運動の目的は兩巨頭を辭職せしめて失業救濟策の徹底を期せんとするにあり若しマクドナルド首相にして辭任せば後繼首相候補は現外務大臣ヘンダーソン氏が確定的を持つてゐるといはれてゐる

保守黨優勢
カナダ選擧戰

【モントリオール（カナダ）二十八日發電通】目下當地に行はれつゝある總選擧戰の形勢によれば議席總數二百四十五の內保守黨は少くも百二十五の議席を確得するに至るであらうと見られてゐる、因に一九二六年九月に行はれたる前回の總選擧の結果一般の豫期に反して保守黨は議席總數二百四十五の內僅か九十一を得たるに過ぎず自由黨は百十八を獲得して大勝し爲めに保守黨內閣は瓦解し次いで自由黨首領マッケンジー、キングが出馬して自由黨內閣を組織今日に及べるものである

韓氏遂に下野通電
山西軍に追ひ詰められ

【青島二十九日發電通】全軍總崩れとなつて退却した韓復榘軍は武器彈藥糧食の缺乏と炎熱のため全く戰意なく急速に退却を續けてゐるが、全軍は一路高密附近に集結する模樣である、しかし山西軍は津浦線方面との連絡のため深く追擊せぬらしいから膠濟沿線の在留邦人は幸ひ戰火の洗禮を免れる模樣である、韓復榘氏は青島近くまで追ひ詰められ中央よりの應援も當てなき有樣で山西軍に追ひ詰められ膠州に退いた韓復榘氏は進退谷まり遂に昨夜下野の通電を發したこと判明した

東方文化事業の施設拒絕を命令
南京政府から奉天に

【奉天特電三十日發】わが東方文化事業委員會の事業を對支文化侵略と曲解して阻止的態度に出でゐる南京政府は今回東北各省政府に對し東方文化事業の施設及び補助を拒否すべしと命令した、同委員會は東北においては未だ何等の施設をしてゐず單に東北各省の留日學生の學費を補助してゐるに過ぎないが東北政權が國民政府の命令に從ひ果して留學生補助費を拒絕するか否か注目されてゐる

けふ着任した十河新滿鐵理事

電信電話民營案
資產評價等の調査捗どらず
來議會に提出は困難

【東京三十日發電通】小泉遞相の提唱せる四大政策中、電話事業の民營案は電信事業と共に研究する事となり遞信省內に電信電話調査會を設置して經理、工務、電務三局の關係者連日調査を進めてゐるが現在までの處では調査の基礎方式が成つた位で資產の評價收支の狀態等に關する詳細なる計數は未だ何等の決定を見ない有樣である從つて來月上旬開催さるべき明年度豫算省議には勿論中野政務次官が當初言明せる如く八月一杯に調査を完了するが如き事は到底不可能で專門家の間では來議會に間に合はす事も絕對に困難と見る向きが多い依つて同調査會は明年度豫算とは別個の問題としてゆるゆる調査を續行し若し來議會に提案する事を得るとなれば改めて追加豫算として計上する意嚮である

伊震災復興費
一億リラ支出

【ローマ二十九日發電通】イタリー內閣は今二十九日閣議の結果震災地方復興費として一億リラ（約四十萬圓）を支出する事を可決した

「充分な仕事、充分な給與」之が俺の方針ぢや
減收は滿鐵社員を強くするよ
仙石總裁語る
西下車中にて

【京都特電三十日發】二十九日午前十一時四十七分、東京驛發、御殿場に西園寺老公を訪問した仙石滿鐵總裁は歸任挨拶その他約一時間に亘り懇話したる後、同地より箱根にドライヴを試み午後七時ごろ箱根より國府津に來り國府津驛發神戸行急行にて鐵島秘書役夫妻、給仕などと一緖になり西下したが三十日朝、朝食を終へくつろいでその日の新聞を讀みつゝある總裁に刺を通ずると快よく自席に引見して窓外に展開する靜かな琵琶湖の朝景色に眼をやりながら漫談的に左の如き談話を試みた

條約問題は新聞で見るとナカナカ喧しいことをいつてゐるやうだなア、もうワシは現役ではないからそんな問題にタッチしたくない、然し海軍の人々のいふことはどうもワシには判らぬ、

兵力量の缺陷といふことが一番喧しく、條約批准の難關だといはれてゐるが、一體今度の會議は軍備縮小會議であつたのなら兵力量の缺陷といふことは何も日本のみに限つた問題でもなく、結果において從來の兵力量の縮小となつてゐることは理の當然だ、それに反對だつたらはじめから會議をやらなければよかつたのだ、會議が終り既に條約を批准しやうといふ頃になつて今更こんな問題を喧ましく論議するなんて凡そ天下にこれより愚なることはない、國防といへば軍艦と軍人だけのやうに考へ、時勢の推移を知らざる軍人にも困つたものだ、傍系會社の整理は調つて見ないと全く見當がつかぬ、調査の

結果如何によつては大にやるかも知れぬ、諸給與規定の改正、人事の採用方針なども さうぢや、たゞ漫然と滿鐵社員の給與が高過ぎるといふやうな論は問題にならぬ、エナフ・ワーク、エナフ・ペー（充分な仕事充分な給與）だ、人の採用方針も能力の低い人間を幾ら入れても駄目ぢや、働ける人物を集める、これが眼目ぢや、七月二十二日現在で五百萬圓からの減收だといふのか、少しは藥になつてよからう、苦勞する程賢しこくなり強くなるものぢやよ、滿鐵には今迄それが無さ過ぎたよ多獅島の築港に關してどんな點が問題になつてゐるかそれはいはれぬ、來月專門家が來て實地踏査すると少しは具體的なことが判るやうになると思ふ

今後野武士的に無限軌道を進む
之から滿洲研究を始める
十河滿鐵新理事語る

仙石總裁のおめがねに叶つて「是非に」と所望された滿鐵新理事十河信二氏は卅日入港はるぴん丸で白の背廣で磊落な野武士らしい姿を見せた、昭和製鋼所問題で上京中であつた州內設置委員小澤氏、滿鐵より社用を帶び上京中であつた涉外課長山崎元幹氏等と甲板上で種々談笑を交はしてゐたが記者の包圍を受けポツリポツリ話し出す

大連にはこの二月ブラリと來て奉天迄行きついでに上海まで足を延ばしたよ、その時分既に仙石總裁と話が出來てゐたかつて？無いそんな噂も無かつた全くの瀨々の暇つぶしに來たのさ、今度は當分一人さ、家族は落ついてからの事だ、僕の

理事說は仙石さんから直接あつたものでその折僕は「僕なんか理事の柄ぢやないから出來ない、それに商賣をする材がやないから」と一應斷つたんだが總裁が例の調子で「何、難しい事たんかあるものか、商賣なんてものは少し勇氣があれば何でもないさ」とそれに先輩友人が是非にと勸めたので一番買つて出たまでだ、僕のする仕事や分擔事務なんかについては何も聞いてゐない、何れ總裁が歸つてから相談があるだらう、元來僕は鐵道に十八年も關係したものので

無軌道に有軌道を生み出す仕事をしてみたものだが、一度軌道から彈き出されてしまつた體である、從つて僕としては飽まで無限軌道を進むつもりでゐるのだが今更軌道に還るのは餘り快しと思はないのだが、來た以上やり通すさ、滿洲に對して何か知識でもあると又話にもなるんだが滿洲になぞ來るつもりでなかつたから餘り研究していないよ、まあ皆さんに敎へて貰ふんだね、一體何をしたら好いだらう？、滿鐵はこの際何をすべきか？これは寧ろ僕の方から皆に質問するよ、とにかく浪人もので野武士氣質で

野放圖な僕の事だから誤ならないさ、內地の不景氣は恐ろしい位だ、この儘では何か大きな事件が突發しないとも限るまいね

尙郵へ聞くところによると今回新たに昭和木材防腐會社が一九三〇年型の新形式で設立されたがこれが發起人として氏の事業手腕に期待されてゐるが右につきこれは僕の友人で第一回の勞働會議に勞働代表として出席した堂前、大島なんていふ連中が何か仕事をしたいといふのでかねて防腐事業に經驗があるところから資金十萬圓五千株の株式會社を組織したので僕も十株の株主になりこの會社の創立に力を籍しただけに過ぎないのだ、二軍人格者のやうなことをいふが自分はこれから仕事をして行く上に安く取つて高く搦く主義で進んだらどんなものかと思ふ

十河新理事挨拶

十河滿鐵新理事は十三日滿鐵本社に到り大平副總裁に着任挨拶をなして後理事室にて大藏理事の紹介で藤根理事その他と顏合せを行ひ次いで大藏理事の案內で社內各部に挨拶廻りした

期待に反し殘念
更に猛運動を起さう
製鋼所運動委員の歸來談

「皆樣の期待通り運ばなかつたのが殘念です、また全然絕望しありませんが……」と上京の時の華々しさに引かへ卅日の入港はるぴん丸で昭和製鋼所上京陳情委員小澤太兵衞氏が悄然と歸つて來た、陳情の經過を語らずで剌を通ずると「自分達としてはかねての計畫通り着々運動を進めたんだがイザといふところで新義州說が有力になつたので何といつても國識が巧くいかねば困りますから大藏關係が巧く行かないので隨分焦燥を感じた、だが結局、專門家に多獅島を再調査させるといふ事になつたのです、何れ歸つてから今日午後市役所で經過報告をするつもりですが、まだ決定した事ではないが今一度猛運動を起さずばなりますまい

トルコ軍隊國境に出動す

【アンゴラ廿九日發電通】トルコ政府は曩にペルシャ政府に對しペルシャのクルド族の叛亂がトルコ國內に侵入することについて嚴重な抗議の文書を送つたが、右抗議を實力を以て支持するため目下國境方面に約五萬の軍隊と百臺の飛行機を出動せしめてゐる

二上翰長報告

【東京三十日發電通】連日開會中の樞府におけるロンドン條約下審査會議は兩三日中に終了の豫定であるが、二上書記官長は三十日午後平沼副議長の避暑地一宮より歸京するを待ち訪問した、審査の經過を報告するはず

仙石滿鐵總裁
けふ神戸出發

【神戸三十日發電通】歸任の途御殿場に西園寺公を訪ひ挨拶を終へた仙石滿鐵總裁は三十日午前九時大阪通過正午神戸解纜のウラル丸で村上新理事同伴歸任した

人事

▲津村雅量氏（本社本願寺支那開教總長）哈爾賓へ出張中のところ二十九日夜急行にて歸任
▲岩本海量氏（同支那開教々務所上海通）同上
▲原科哲三氏（滿鐵參事）同上
▲枚松晔氏（大日本製氷重役）同上來連
▲金谷謙一氏（海軍主計大佐）同上
▲遠山正導氏（同特派布敎使）八月一日より關東別院に開催の曉起修養會講師として三十日はるびん丸にて來連
▲十河信二氏（滿鐵理事）卅日入港のはるびん丸にて着連
▲山崎元幹氏（滿鐵涉外課長）同
▲丘襄二氏　同上歸連
▲小澤太兵衞氏　同上
▲チェルナプスキー氏（東京駐在ソ聯邦通商務官）今回本國よりの招電に接し卅日入港はるびん丸で來連

大觀小觀

山東へ進擊の韓復榘、いよいよ窮し、最後の手段として下野を發表す。
◇
支那に下野といふことあり。昔は惡事を犯して佛門に驅け込むやうな恰好。
◇
下野で一頓の韓復榘が帳消し解除されるとなれば、これほど結構なことなく、たゞ「野」の如何なるものなるかゞ問題。
◇
江西、湖南の共產土匪、ロシアの第三インターと特別な連絡あり省城南昌に占據す。
◇
江南の地、長髮賊の股鑑もあり關にして濟ますんば、後世、臍を噬むも及ばざらん。

天氣豫報

卅一日　南西の風、晴時々曇り

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二六、九	二五、六
旅順	二七、三	二六、七
營口	三〇、〇	三五、〇
奉天	二八、六	三一、六
長春	二八、五	二八、二

滿潮　午前一時卅五分　午後二時
干潮　午前七時五十五分　午後八時卅五分

走馬燈
滿鐵（其十七）
荻川

革命露國は、どうも外に向つては友好を缺く、とりわけ支那に對しては、外蒙古を奪つた、尤も露國からすれば、是れ外蒙の支那に叛き、露國に懷きたるものにして、何も奪つたなんかの汚名を被ぶされる筋でないと云ふのであるが、それは醜辯に過ぎず、革命露國の企圖する、世界の共產化は、其處にありくと、革命露國政府の人によつて營まれ、今は外蒙も、其手に乘つた苦さに懲みつゝありと傳へらるゝではないか。
◇
赤革命露國は支那を共產化するに腐心し、一時は其成功を、今の南京政府、其前身たる廣東政府に收めて、危ぶなくも南支一帶が赤色に染まらんとしたのである、併し蔣介石在り、廣東政府を南京政府に改めて、漸く其禍害から逃れしものゝ、其餘殃は尙支那全國に瀰漫して、匪賊南北抗爭のことあるや、湖南地方は直に之が災禍を蒙り、斯る事態の發生は、依然として革命露國が、魔の手をそこに延ばしあるなりと噂さる。
◇
されど露國からすれば、廣東のこと、赤縷しの在ることが假なりとも、其は恐らく第三インタアナショナルの所爲にして、革命露國の關知するところにあらずとせん、而も第三インタアナショナルが、乃ち革命露國政府なりとの事實は、其中露國の立つべきでない、だが斯る革命露國も、日本に對し全く楯着なしとは云はぬが、案外に大人しきは何ぞや、支那と違つて、日本はそこに正々堂々の陣を張つて搦らざればなり、こゝに到ると支那は求めて乘ぜらるゝ如き傾向なきにあらず。
◇
之を最近に徵するも、北滿東支鐵を中心として相互の爭鬪などがそれで、而も此爭鬪に、露國が爲し得るに拘らず、容易に積極行動を敢てせざりしは、北滿に於ける日本の權益あるを知つて、之を尊重せしが故ならずや、正々堂々なるかな、之の前に敵はなし、外交に於て然り、經濟關係に於ても同じことそれで滿鐵も、南滿を出でて北滿に進み、更に露國にも入るべし、そうして其處で現在以上に相互の融和を求め、此融和を支那にも及ぼすべし、こゝで云ふ東支鐵は今や露國の侵略鐵道ではない。

ベンゾイリン密輸事件 本日豫審終決す
白川友一と川合又一の兩名は愈よ公判に附さる

ベンゾイリン密輸事件は大連地方法院川畑豫審判官の手により嚴重取調中一部の被告は既に豫審終結決定せしも昭和三年六月二日以降前後十四回に亘りベンゾイリン二千四百キロ及びヘロイン六百キロ價格合計金九十九萬圓の密輸に成功した首魁元代議士白川友一一派に係る事件は前記の分と分離し川畑豫審判官が殆ど寢食を忘れて慎重に取調中の處漸く今回豫審の終結決定を見、三十日午後二時公判に附せられた、その豫審終結決定書の內容に暴露された彼等の密輸手段方法は左の通りである

豫審決定書

決定

本籍香川縣中多度郡南村大字作原三七六
住所香川縣丸龜市六番町
下津井鐵道株式會社々長
白川友一 當五十八年

本籍石川縣能美郡苗代村字三谷イ一七番地
住居大連市八幡町二番地
元關東廳事務官
川合又一 當三十五年

右被告人白川友一に對する麻醉劑取締規則違反及贈賄被告人川合又一に對する收賄被告事件に付豫審を遂げ決定すること左の如し

主文

本件を關東廳地方法院の公判に付す

理由

第一、被告人白川友一は犯意繼續して

一、被告人は關東州に於て昭和二年九月二十八日麻醉劑取締規則發布同年十月一日より施行せられ爾來モルヒネ、コカインその他類誘導體等の輸入は一般に禁止せらるゝに至るも同規則附則第三項に依れば本令公布前買附契約を爲したることの證あるモルヒネ、コカインを除く麻醉劑にして本令施行の際現に輸送の途にあるものは第三條所定の關東長官の許可を受け居らざるに拘らず之を輸入することを得る旨の規定あるより小松茂等が昭和三年三、四月頃前記附則第三項を利用して盛にベンゾイリンを輸入しつゝある事實を見聞するや河村統治及川上虎雄と共謀の上小松茂等と同一方法に依りベンゾイリン及びコカインを輸入せんことを企て偶々川上虎雄の手許に該規則公布前ドイツ漢堡ヘッジユ、ヒンリクゼン商會より來りたる右物品の價格等に關する照會返電ありたるを奇貨とし被告人友一は之を以て先づ關東廳の諒解を得んと欲し之を携へてその頃數回に亘り當時の關東長官木下謙次郎警務局長久保豐四郎衛生課長川合又一同課勤務技師黒井忠一及同課勤務技手近森監助等を訪問し之を示して恰も該電報は前記規則公布前既に該物品を買付け且つ輸送の途にありたるものゝ如く申向け金質並に關係者に交渉の必要ありと懇談して遂に警務局長名義を以て同規則施行前右麻醉劑が製造地より發送せられたる事實を證明するに足るべき證據あるものはその輸入差支へなきものなる旨の公文書の交付を受け之れを携へて昭和三年五月上旬獨逸に赴き右ヒンリクゼン商會と交渉の結果同商會よりベンゾイリン二千四百キロおよへロイン六百キロを買付け且つ該ベンゾイリン及へロインは前記規則施行前既に瑞西のロッシュ會社より買付け漢堡の右ヒンリクゼン商會迄輸送せしものゝ如く事實を虚構して獨り公證人にその旨を公證せしめ之に漢堡駐在帝國領事をして奥書を爲さしめて之を關東廳に送附提出して同廳をして右ベンゾイリン及コカインが前記規則施行の際既に買付け且つ輸送の途にありしものと誤信せしめて輸入の諒解を得たる上右ヒンリクゼン商會をして昭和三年六月二日以降前後十四回に亘りベンゾイリン二千四百キロ及へロイン六百キロ價格合計約金九十九萬圓相當のものを小包郵便に付して大連市川上虎雄宛に發送せしめ同年七月二十二日より同年十二月十八日迄の間前渡十四回に亘り大連郵便局に到達せしめて之を輸入し

二、被告人友一は前記の如くベンゾイリン及びヘロインの輸入に關し豫め關東廳の諒解を得たること前記の如くなりしも同年七八月頃その第一回の注文に係るベンゾイリン及びヘロインが大連郵便局に到達するや當時小松等の最終の輸入に係るベンゾイリンの數量相違の點よりその交付方を差止められ居りたる爲之と同一方法に出でたる被告友一等の輸入品も亦その餘波を受け遂に交付を受くることも能はざりし處より被告人友一は又復關東廳の諒解を得る必要ありたるよりその頃數回に亘り木下前關東長官以下前記の諸氏を訪問し遂に同年八月末に至り漸くその交付方を許さるゝことゝなりて引續き同年十二月十八日頃迄全部の輸入を了したるが被告人友一は前記の如く本件ベンゾイリン及ヘロインの輸入に關し關東廳衛生課員に尠からざる手數を煩したるより之が御禮の意味に於て金品を贈與せんと欲し

イ、昭和三年十二月三十日旅順市中村町十一番地關東廳官舍に於て當時同廳警務局衛生課長たりし相被告人川合又一に對し瑞西ナルダン時計會社の製造に係る白金片硝子側十六型懷中時計一個及び白金製時計くさり一條在中の小箱一個價格合計金二百七十八圓相當のものを交付し右河合又一をして之を收受せしめ

ロ、同日同市日進町八番地關東廳官舍に於て同廳衛生課勤務技師黒井忠一に對し三越商品券五十圓券四枚合計金二百圓相當のものを受納方を求めて之を提供し

ハ、昭和四年二月二十四、五日頃同市鎭遠町十三番地の一關東廳官舍に於て同廳衛生課勤務技手近森監介に對し一ノ瀬商會の共通商品券五十圓券四枚合計金二百圓相當のものを受納方を求めて之を提供し

第二、被告人川合又一は關東廳事務官として當時同廳警務局衛生課に課長として勤務中昭和三年十二月三十日當時自己の住所たりし旅順市中村町十一番地關東廳官舍に於て相被告人友一より前記ベンゾイリン及びヘロインの輸入に關し盡力し貰ひたる謝禮の意味を以て交付するものなることの情を知りながらその提供に係る前記白金側懷中時計一個及白金製時計鎖一條の交付を受けて之を收受したるものなり

法律に照すに被告人白川友一の所爲中ベンゾイリン及ヘロイン輸入の點は麻醉劑取締規則第三條第八條刑法第五十五條にその贈賄の點は刑法第百九十八條第五十五條に各該當し右は刑法第四十五條前段の併合罪なるを以て同法第四十七條第十條を適用して同被告人を處斷すべく被告人川合又一の所爲は刑法第百九十七條に該當するを以てその刑期範圍内に於て同被告人を處斷すべきものなるを以て刑事訴訟法第三百十二條に依り公判に附するの言渡を爲すべきものとす

仍て主文の如く決定す

昭和五年七月三十日
關東廳地方法院
豫審判官 川畑源一郎

明治天皇御例祭 聖上御親拜

【東京三十日發電通】三十日は明治天皇崩御の日につき宮中ではこの日午前九時より賢所皇靈殿に御例祭を行はせられ天皇陛下親しく御拜遊ばされ十時近く御終了になつた、陛下には午後零時五十五分宮城御出門一時五分東京驛御發車再び葉山御用邸に行幸遊ばされた

折襟の内地の郵便屋さん

遞信省では郵便電信集配人の服装改善について考究中であつたが暑くて不倫裁な詰襟洋服を廢して寫眞の如き麻地卵色の折襟ネクタイ付のシャツに改めることゝなり先づ四、五日中に東京市内を始め衣更をすることゝなつた

高松宮兩殿下 ブラッセルへ

【ブラッセル廿九日發電通】高松宮同妃兩殿下には二十九日は西フランダースノデムード並にイープルの兩市を御見物の後同日夕刻當ブラッセルに御到着遊ばされる筈である尚兩殿下には前駐日ブラヂル大使にして現駐白大使のブリエンヌ、デフエイトサ氏主催の晩餐會に御出席遊ばされると

落雷で火事 機械置場全燒し損害三千圓 ゆふべ撫順の大雷雨

【撫順特電三十日發】廿九日午後七時頃より撫順近郊に亘り二石頭の豪雨あり數ケ所に落雷し、發電所近傍の連絡所前も落雷のため機械置場を全燒した、此の損害三千圓、その他各所の損害多額の見込みで、ケーブル線等にも故障を生じた、落雷による火事は當地では近來に無い事である

また魔の山東角沖で長平丸が危く衝突 萬國衝突豫防規定を無視して突如諸威船が現る

奉天丸とダムプト號衝突事件、引つゞいて廣發丸、エネアース號衝突と矢繼早に起つた海難事故に船舶業者の神經が尖つてゐる矢先、卅日午前當地海務局へ目下上海、青島、天津間定期航路就航船長平丸船長化野武市氏より大要次の如き注意書が廻送されて來た、卽ち長平丸が七月廿三日午後二時廿分天津へ向け青島を出帆航行中廿四日午前二時頃よりガスが立ちこめたので霧中信號を續けつゝ進行し午前四時山東角燈臺の霧笛信號の聞える箇所まで辿りつきそのガス中の難航を切拔け同卅二分針路を轉ぜんとした際右舷約二點四分一浬の地點を開灤チャーターノールエー船(さきに奉天丸と衝突した相手船ダムプト號と同型船)が進行中なるを發見幸ひ本船は左舷に轉針中であつたので衝突は免れたがかゝる船舶輻湊の箇所に萬國衝突豫防規定の信號をたさず漫然として進行し然も通過後唯一聲も汽笛を吹鳴せず南方に航走したと云ふのでかゝる船舶の爲め他船の迷惑甚だしければ監督官廳たる海務局においても充分警戒されたいと云ふのである

警告する 岡本局長談

右に付き岡本局長はさきに日本船と衝突のあつた同箇所で同じく、ノールウエー船が萬國衝突豫防規定を無視して航走してゐるなぞとは國際的に見ても甚だ遺憾の極みである、何れ代理店を通じ警告を發するつもりであるがもし萬一の事でもあつたら取返しのつかない事になると云ふもので奉天丸ダムプト號衝突事件も或はこの事實によつて見るにノールウエー船に過失があつたものと見做されても仕方あるまい

渡日決定 布哇水泳選手

【ホノルル二十九日發電通】日本水上競技聯盟よりの招待を受けたハワイ水泳選手は學校側の都合で實現困難とされてゐたが、學校側との諒解漸く成り八月七日出帆の淺間丸で渡日することに決定した一行は左の六名である

監督 チャウクリン▲選手 クラツブ、ライレト、ゾリラ、カリリ兄弟

意外な男心

娘時代に想像してゐた男心と結婚後に知つた意外な男心!名流夫人數氏によつて語られた体驗談が婦人俱樂部八月號に掲載され目下女性間噂の中心となつてゐる。

内地の不景氣話をどつさり積んだ入港船

不景氣、不景氣、内地の不景氣ばなしを幾つも積んで三十日定期船はるぴん丸は入港した、十河滿鐵新理事丘襄二、山崎元幹氏、小澤太兵衞氏の談片を採録すれば

殺人的不景氣に東京邊りの人の目の色は變つてゐま[illegible]

興行界等も夏枯に加へて不況が祟り一流劇場でもガラ〳〵の入り、又一頃は百貨店なぞの食堂はいつも滿員で席の開くのを待つてゐた位だつたのにこの頃では何日も空椅子だらけと云ふ有様である、學校教員實業家連中も長野あたりでうるさく云はれてゐるがやがて全國的な運動になるんじやないだらうか心細い事だ、大學を出て十人に一人の就職者じや、一人當り一萬圓からの採算を計上してゐる大學に對して無用論さへ吐きたくなるじやないか

滿鐵社員を裝ひ蓄音機專門詐欺 擧動不審から捕はる

大連署吉岡司法刑事は七月十三日以來寺内通り四七下宿業尾張屋に宿泊してゐる自稱大分縣ト毛郡大江村、滿鐵社員足立昇三(三七)の擧動が頗る不審なので取敢ず警察犯處罰規則により本署に拘留取調べた處、自稱する原籍、氏名は詐稱で本人は神戸市東尻池村字金平山、當時住所不定無職堤淺一(三四)と判明

六月三十日夜八時ごろ滿鐵社員の制服を着し浪速町四七平田洋行に至り大連埠頭事務所計畫係に勤務する日出町一〇山崎好男であると詐稱しコールドリング四十九號蓄音機一臺時價百五十圓に手附金十三圓を支拂ひ殘金は十ケ月々賦で支拂ふと約束して蓄音機を詐取し、その足で吉野町九九質屋鎌野義雄かたへ宮本好夫と僞名して二十七圓で入質し酒色に消費したのを始めとして以來同一手段を以つて七月一日淺速町二四近江洋行からコロンビヤ蓄音機一臺時價百二十五圓及レコード五枚時價七圓五十錢、同五日は同じく近江洋行からビクターレコード五枚時價七圓五十錢翌六日は對島町六〇鶴岡精工堂からビクター蓄音機一臺及びレコード四枚時價百三十圓を各詐取し同十四日には伊勢町二七藤飯洋行からメーローゼー蓄音機一臺時價八十圓を同樣詐取せんと計畫中逮捕された者で尚西公園町一三七下宿薬藤州館では金九圓の宿泊殘金を踏み仆してゐる

昨年十月頃市内各蓄音機商で七件の詐欺被害事件あつたがそれも堤の行爲ではないかと引き續き取調べられてゐる

現役兵が不穩計畫 外部と連絡し

【旭川三十日發電通】旭川憲兵隊では秘密裡に大活動を開始してゐるが右は東京憲兵隊よりの移牒に依るもので初年兵中谷良吉(二二)(假名)は第七師團に現役兵として入隊し外部と連絡を取り來る八月一日を期して全國的に不穩の行動に出づる或種の計畫に參畫してゐたもので右活動に依り逮捕された

ハフィス時計

振動不感 Hafis

振つても 落しても 止らぬ時計 Hafis Watch

暑中見舞に不景氣風 代議士も節約申合せ 葉書賣行減る

【東京特電三十日發】不景氣も色々な世相に現はれて來るが今度は暑中見舞の「はがき」の賣行きにもピンと響いて來た東京遞信局でさへも、この六月の賣上高は昨年同期に比し二萬圓近くも減り七月に入つてからは更にグツと賣行の減退を示してゐる、なにしろ衆議院各派の懇談會でも、暑中伺ひを選擧區に差出すことは選擧準備として違反の疑もあり、と暑苦しい理由をつけて廢止の申合せをなしたほどで四百六十餘名の代議士がこれで普通平均二萬枚のところを一萬五千枚、節約するにしても七百萬近く少なくなる譯だ、また商人も宣傳廣告の意味で暑中見舞を出しても、この不景氣では效能も反響も少なからうと目論んでツイ經費節約の意味において中止するといふので不景氣な世相はこゝにも深刻さを示してゐる

ヴ火山活躍 悄々たる住民

【ナポリ三十日發電通】昨日來二十四時間に亘りヴェスヴイヤス火山の活動俄然強まり住民等に多大の驚きを與へてゐる、夜に入りての光景は殊に物凄く紅蓮の焔の舌は高く天に冲し恰も地獄の火を見るやうな心地がする、噴火のため小孔丘が幾つにも裂けたので噴火の光は從來よりも一層大きく立昇る、濛々たる煙りは今や更に一段とその量を増し激震に打碎かれ住民の心に脅威を與へてゐる

頭山滿翁の令息來連 夏休を利用し

頭山滿翁の四男坊、翁の血をうけてゐるだけあつてその性の闊達ぶりで一部學生仲間で名を賣つてゐる頭山乙次郎君がこの夏休みを利用して一つ貧乏旅行をしようと卅日入港のはるぴん丸で來連、眞直ぐこれには大行會常務理事の本間憲一郎氏それに學友の天野博氏リュックサックに輕い麥稈帽姿で「學校の休みを利用して大陸を振り出しに奥地の方に入つて貧乏と困苦と戰ふ練習に來たんです」と簡單に一言埠頭には頭山翁關係の出迎へ人で賑はつた

東亞一周徒歩旅行家來る

東亞一周徒歩旅行を企て去る五月十日郷里長野縣上田上野を出發した加藤旭(二)氏は卅日入港の華山丸にて天津より來連したが、氏は郷里出發以來下關より朝鮮經由蒙古北平を經て天津に出で濟南方面に向ふ筈であつたところ途中戰禍に遭ひ旅程を變更し一先づ來連したものであるが近く出發揚子江沿岸より雲南、廣東、香港を經て歸國する筈であると

過失致死で馬夫取調 子供を轢殺した客馬車

大連大和町二十六番地先きにおいて停車休憩中櫻町七朝吾二男南山麓小學校二年生廣村俊雄(八)が子供用自轉車に乘つて馬の前脚に衝突したため馬は驚いて狂奔し遂に俊雄を轢殺して了つた、その恐ろしさに行方を晦ました荷馬車に就いては大連署に於て嚴重捜査中であつたが、右は白雲山馬車收容所内闕祥順かた客馬車夫戚長榮の實弟戚長德と判明、既に郷里復縣に逃走してゐるので署では實兄を呼び出し同人をして連行せしめ三十日午前十時同行の上出頭したので直ちに過失傷害致死として身柄を拘留目下嚴重取調中

支那人店員一萬圓拐帶

奉天小西關井上誠昌堂店員李道春は廿九日午後六時ごろ現金一萬圓を拐帶逃走し大連方面に赴いた形跡があるので奉天署より同日市内各署へ手配があつた

東海道地方に颱風襲來警報

【東京三十日發電通】二十七日南洋方面に發生した颱風は三十日午前六時七百三十六ミリに發達し八丈島南々西約六百八十キロの海上に達し東海道關東地方に驟雨を來し中央氣象臺は南海道東海道方面に警報を發した

慶應軍北平へ

【奉天特電二十九日發】慶應野球團一行は廿九日十九時十五分發北寧線にて天津に向つた

四日目取組

大日本大相撲四日目取組は左の如くである

(高)浪—池田川 (晴)ノ海—朝光
海光山—瀬ケ濱 沖ツ海—太郎山
寶川—劍岳 眞鶴—羽湖
瀬川—雷ノ峰 幡瀬川—錦洋
豐國—大蛇山 吉野山—若葉山 玉錦—宮城山

大連神社の月次祭

來る一日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町西公園町區の氏子總代等參列の上午前十時より月次祭典を執行する

會葬御禮
男 神田稔
妻 ツル
兄 神田嘉次郎

侠艶一代男（10）

米田華虹作　伊藤幾久造畫

神田祭の夜（十）

「無、無法な所爲を致すと、そ、その分には捨置かんぞ」

加州藩の大塚源十郎、口だけはさすがに謹法なもので、加賀鳶の鐵太郎に利き腕をねぢあげられたまゝ、長い廊下を玄關口の方へ押され〳〵てよろ〳〵と歩きながら矢鱈に頭を後へ捻るやうにして怒鳴つてゐた。

「矢釜しいお方ぢや！静かになせえましよ、人里離れた山里ぢやなし、神田祭りの明神下、盛り場のしのぶ亭でございます。騒ぎ立てると、反つてお身分柄に關はりましやうがな」と、鐵太郎は玄關口まで來た時、源十郎の耳元に口を寄せて

「大塚殿、昔の誼みにこゝ迄、見逃つて進ぜた。この上、騒ぎ立てると、要木鐵太郎、此度こそは本當にお相手仕る。な、よいか？貴殿は士分、拙者……あつしは一期半期の仲間小者、はした人足同然で、今の身分は違ふが、腕に違ひはござりませぬ。何も申さずにこの場はお戻りなせえましさ」

ねぢあげてゐた腕をポンと離した。

「えいツ！いま〳〵しい奴ツ！よくも拙者へ邪魔立て致し居つたな」

鐵太郎に堅く摑まれた腕首を撫りながら、血と燃える怒りの醉眼で睨み据ゑた。

「何でございますか？まだ何か御用でございますんで？」

鐵太郎も、キツとなつた。

「大小を持てッ！」

吐き捨る調子で、奥へ叫んだ。

「ほう！これは粗忽千萬、失禮致しやした。武士の魂大小をその儘にお戻りを願はうとしたのはあつしが氣が附きませんでした」

「愚圖々々吐さず、早う持てッ！」

「へえ」と鐵太郎はニヤリと薄笑ひを漏らして、遠くからこの場の模様を氣遣ひながら覗いてゐる女中ちへ

「誰か？早く大塚さまのお腰物を取つ來てくれ！お歸りをお急ぎと見える」

源十郎は醉と怒りに眞赤な顔をしながら、眼ばかりギロ〳〵と光らし、玄關の敷臺に仁王立に突立つてゐる。

奥から間もなく、源十郎の大小と見える花塗鞘の腰の物を、仲居が捧げるやうに持つて、そこへをづ〳〵と出て來た。

「こちらへ寄越せッ！」――

自棄に嚙みつく聲で、それを引奪つた。

仲居が履物を揃へるのさへ、いかにもゝどかしさうに突つ掛けて「お籠でも……！」と、後から呼かけるのを、耳にも留めないで、くるりと身を翻へしざま、憎々しい調子で

「鐵太郎！今夜はよくも拙者に辱しめを與へたな。卑しい仲間風情の身を辨へずして、少しばかり出來る腕前を誇り顔に差出口……」

「これは迷惑なお言葉！みんなお前さまの爲めを思ふてしたことでございますよ」

「默れッ！仇も同じ八番組の町火消、か組の奴等と料理家に濁酌み交すさへ不都合であるのに、一家中の拙者をさん〴〵な目に遇はし居つた」

「と、お仰有る筋合のものぢやありませんや」

「覺えて居れッ！」

捨臺白を叩きつけると、荒々しく、大地を踏みながら忍亭の門を出て行つた。

「まアお役輿さん！有り難うござんした」

と、そこへ飛び出して來たのはしのぶ亭の内儀と見える丸髷の年増女。昔を忍ばせる小粋な風で

「本當に一時はどうなる事かと心配をして居りましたのに！お蔭さんで無事に納まり、こんな悦ばしい事はござんせぬ」

「ペツ！逃げ腰で醜態を吐いてく所など、侍の風上にも置けねえ野郎さ」といつか、加組の龍吐水持の愛嬌者、金次も顔を突き出してゐて

「ねえ妻木さん！ちよツ！さうだつたつけ？お役輿！お役輿と呼ぶんでしたね？お役輿！」と、まるでお役輿を賣りに來たやうに、鐵太郎を呼び立てた。

一若改め 奈良丸 愈よ來演決る

豫て來演が噂されてゐた現代浪曲家の第一人者である一若改め三代目吉田奈良丸一行は愈々來る八月廿六日神戸より乘船し廿九日來連三十日より開演すると〻決定した

東部滿洲背後地映畫試寫會

大矢進計氏が或る筋の援助の下に數萬金を投じて得たる東部滿洲背後地の實寫もの十卷これは吉林の寶庫を開展したもので容易に見られぬものその他馬賊生活の實寫もの等を加へ三十日夕滿蒙研究會主催にて商工會議所樓上にて試寫すると

都山流尺八演奏會

草崎主山師の司る大連曉風會の會員にして師の高弟川端主風氏は多年斯道研究に精進して居たが愈々都山流尺八師匠として社會に勇ましく乘出す事となつたので同門の樂友相集り、朝鮮に旅立ち行く氏に對し卅一日午後六時半より岩代町遊樂館に於て送別演奏會を開催する入場無料

噂

常盤座で明日から上映する筈だつたパートトーキー「愛慾の人魚」はうまくシンクロナイズせないので▲今まで好評を博して來たトーキー興行にけちをつけてはいけないといふので俄に中止▲その代りに喜活劇週間を來月一杯つゞけるとの事で大連では珍しい試み▲大衆興行に出て氣をよくしてゐる帝國館、全部の名作品再上映が終つたら▲更生の意氣込みでキートンの「キヤメラマン」を上映するが久振りのキートンが期待されてゐる▲常盤座から演藝館へ行つた長谷川櫻邦、今度は内地に歸るといふ噂から奉天行が傳へられる▲更生の演藝館いよ〳〵本日から先づ河合週間で蓋をあける▲キネマ旬報が夏休みに大河内夏川伏見の北海道行を報道してゐる、早速大日活から抗議を申込まねばなるまい

大連 JQAK

七月三十一日午後七時三十分

▲ラヂオ體操 ▲支那語講座「第五十課」滿鐵學務課秩父固太郎 ▲謠「松風」觀世流若村穆處 ▲ハーモニカ獨奏「サンチヤゴ隊」「蝶々さん」グレード大連ハーモニカソサイテイ部員佐藤勝郎、二重奏「荒城の月イーグルネス」同右、小川良平、獨奏「キスメットカルメン後篇椿姫」同小川良平 ▲筑前琵琶「義侠の鑑大野屋粂平」法祭山大賀魁粂

滿洲日報

社説

勞農露外相の更迭
對外農村赤化の傾向濃厚

ハルビン電報によればロシア共產黨第十六回大會の結果、多年ソウエート外交の重責に任じた外相チチエリン氏が罷免され次席リトウイノフ氏が外相代理に任ぜられたと報じてゐる、チチエリン氏はレニン、トロツキー、ジノウイエフ、スターリン等と共にロシア革命の立役者として聞くその名を知られてゐるが革命成就と共に外務人民委員長の重任を負ひ相容れぬ資本主義列國を向ふに廻し兎も角も日、獨、英、佛を始め世界各國をしてボリシエビキー政府を承認せしめた程の手腕家である。氏の在任中、最も特筆すべき事件はジユネーヴにおける軍縮會議に於て國法もない軍備全廢案の爆彈を投げかけ列國を啞然たらしめた一事である。

◇

氏はこれ程の重大任務を果した人物ではあるが共產黨内に於ては常に不遇の地位に置かれ殆ど發言の機會さへも與へられず、言はゞ外交の一エキスパートとして酷使されてゐた觀がある。氏はトロツキー一派の反幹部派事件にも、またブハーリンその他の右傾反幹部派事件にも何等の意見を發表せず黨内に於ては、その存在すら忘れられやうとしてゐたのである。チ氏は最近、强烈な神經衰弱にかゝりドイツに轉地してゐた程で、既に三年前から廢人同樣の身となつてゐたから今回の罷免はチ氏の健康が、その地位に留まるを許さぬからと見るのが至當であらう。チ氏の後を襲つて外相代理となつたリトウイノフ氏はチチエリン氏の下に第一次席として歐米を擔當してゐた關係上、リ氏の後任として歐米關係の駐獨大使クレスチンスキー氏を補したもので第二次席のカラハン氏は依然として極東を擔當するものと思はれる。

◇

新任外相代理リトウイノフ氏はこれまたチ氏同樣、黨内における勢力は至つて微々たるものであるから、リ氏がその地位に上つた結果、ソウエートの外交方針に殊さら變改が行はれやうとは全く信ぜられない。

◇

かくの如き狀態にあるからソウエート聯邦の外相更迭は、それが同國の對外政策變更を意味するものでないことが明かである。蓋しソウエート聯邦の對外方針は常に共產インターナショナル大會または全露共產黨大會に於て決定し外相は一エキスパートとしての役割をつとめるに過ぎぬ。故に吾人がより以上、注目すべきは去月二十五日から本月十三日にかけてモスクワに於て開かれた第十六回共產黨大會の決議である。共產黨大會の決議全文は秘密に附されてゐるから政府の發表したもの以上に知る由もないが、政治局委員モロトフ氏が席上、共產インターナショナル本部への提出議案として朗讀したところによつて東洋に對する今後の方針の一般を知ることが出來る。それによればインドおよび支那における革命に注意を促がし特に支那農村における共產土匪に積極的援助を暗示してゐる。共產黨が從來の都會プロレタリート偏重から農民本位となり、その世界革命誘導の主力を各國の農村に向けんとしつゝある傾向が顯著であることは大に注目に値するところといはねばならぬ。

九江でも共產黨軍に我が領事館燒拂はる
各國の領事館と共に
責任を何れに問ふか協議

【北平特電卅日發】九江を占領した共匪は勢ひに乘じ日本領事館を始め各國領事館を燒拂ひなどしつゝあるが、之に對し北平日本公使館及び各國公使館は之が善後策として孰れに共責任を問ふべきやに就き目下頗る間諜ついて居る

三相御用邸伺候

【東京三十日發電通】井上藏相は三十日歸京三十一日安達内相、俵商相と共に午前九時五十二分東京驛發葉山御用邸に伺候する筈

省政府や黨部機關外國敎會等總て燒かる
長沙は共匪の天下

【漢口三十日發電通至急報】長沙では既報の日本領事官の外省政府黨部機關等の建築物十二ケ所及び英、米敎會の建物、敎師住宅等悉く共產軍の爲め燒き拂はれ日淸汽船のヘルクだけはまだ殘つてゐる英、米の砲艦は軍艦二見の下航後長沙の下流四哩の地點に假泊してゐたが今日便衣隊が我が居留民引揚げ後中の島に入りたるを目擊したと、外人は奧地に在るもの五、六名を除き其他は大部分英、米艦に收容されたが、市内で人質となつたものや行方不明も尙數名ある模樣である、長沙は今暫くは共匪の天下らしい

漢口に暴動計畫
流言蜚語に人心不安

【漢口三十日發電通】漢口地方では八月一日を期し共產黨の大暴動計畫ありとの流言頻りで市民は不安に襲はれてゐる、尙軍艦熱海保護の下に當地から避難した邦人避難者は男子十九人婦人三十三人子供四十人合計九十二人である

邦人婦女子漢口引揚げ

【漢口三十日發電通至急報】長沙の共產軍占領に邦人救援の爲め派遣された小鷹、熱海兩艦は昨日午後五時靖港着直ちに現地視察を爲したところ長沙は遂に此處暫く秩序回復の望み全くなきこと判明、靖港に避難中の邦人婦女子五十八名は日淸汽船源江丸で熱海保護の下に漢口に引揚ることゝなり、今朝同地を出發した

共產土匪軍花園占領
正規軍擊退さる

【漢口三十日發電通】平漢線に有力なる共產軍現はれ漢口襲擊を目標として進みつゝあり二十九日午後一時共產第一軍許繼愼軍は平漢沿線花園を占領し共同第三師の二十二大隊を完全に武裝解除し大隊長二名を銃殺した急報に依り鐵甲車西平號は橫店より此土砲擊を加へたが土匪側の爲め擊退され正規軍は負傷者二百名を驛頭に遺棄し敗退した共產軍は北關城内を掠奪し今朝七時孝感を襲擊し避難民は徒步で續々漢口に避難中である

國民政府に取敢へず抗議
邦人保護は遺憾なきを期す
外務省て善後策協議

【東京三十日發電通】長沙に於ける共產軍の我領事館燒き打ちは重大問題なので、外務省では三十日午後二時より重要會議を開き永井吉田兩次官、有田アジア局長等參集情報を基礎として種々協議するところあつたが、帝國政府としては國民政府に取敢ず重大なる警告を發すると共に、在留邦人の保護のため遺憾なき手段を講ずる事となる模樣である

尼港事件以來の重大事件だ
英米と協調支那と交涉する
重光代理公使語る

【上海三十日發電通】長沙領事館燒打ちの報に對し重光代理公使は語る
長沙領事館が燒打ちされたことは非公式に確めたが公電に接せず詳細は少しも判らぬ急速に事實の調査をなし政府とも打ち合せの上國民政府に對し嚴重抗議することゝなるであらうが、在外公使館が燒き打ちされたのは尼港事件以來の重大事件である利害關係國たる英米と協調して支那側に交涉する事となるであらう

莫全權滯露費
二十萬元追加

【ハルビン特電三十日發】モスクワの露支正式會議に出發した莫全權一行が五月九日到着來早くも三ケ月を過ぎんとしてゐるが會議の終了は早くて今後三ケ月を要するだらうとの王煥文秘書の說明に全權一行が豫定した赴露豫算三ケ月分は既に費消されたので東北政權は南京政府に交涉し再び三ケ月の滯在費二十萬元を送附することに決定したと

樞府の行動と陰謀を虞る
政府倫敦條約の樞密院通過を確信

【東京三十日發電通】ロンドン條約の樞府に於ける下審査進行と共に政府側に於ては第一回精査委員會は來週早々開かれるものとの見込みで準備を整へつゝあり、而して今日までの經過より見て政府は審議進行に就ては二上書記官長の諒解を怠らぬ樣努める必要があるが、精査委員會の形勢に就ては下審査の進行のみを以つて豫斷するを許さないから、先づ近く決定すべき精査委員の顏觸れを見るべきである、而して精査委員に對し殊更らに諒解運動を行ふ如きは避くべきであるが、その機會を得れば政府の所信を述べて條約の成立に努力するは當然である、精査委員會に於ては勿論種々の質問が出るであらうが、大局に於て條約を不成立ならしむるが如き事ひはあるまい、只警戒すべきは右の審議過程中に起る陰謀と樞府側の申合せ又は警告等の如きものが政治的影響を與へる事であるとなして居り、政府も條約不成立は信じてゐないが、之れに隨伴して起る政局の波動に就ては確信を持つてゐない模樣である、殊に一般の注目を集めつゝある財部海相の進退は政府に執つて重大であり更に財部海相の樞府に於ける答辯が又問題の種を蒔くに至りはせぬかと憂慮してゐる模樣である

精査委員
一兩日中に決定

【東京三十日發電通】ロンドン條約案の樞府における下審査は三十日も續行してゐるが、大體順調に進捗しつゝあるので兩三日中に終了するものと見られ精査委員の顏觸れも一兩日中に決定すべく結局第一回精査委員會は來週早々開かれるであらうと見らる

カナダ總選擧
保守黨大勝
過半數を占む

【モントリオール廿九日發電通】カナダ議會總選擧の結果保守黨は議席二百四十五の中百三十と過半數を得て壓倒的勝利を得た

基督から老莊學へ排日から親日へ
馮玉祥氏鄭州の陣營にて語る
（下）―鄭州にて　一記者

記者は馮氏と對座しつゝ、なほも會話を進め

記者　誤解といへば打倒日本帝國主義とかゞ流行つてゐるとのことですが

馮氏　日本を打倒せよとは聞かぬ、打倒帝國主義は全國民の熱烈なる欣求だ、支那を自由平等の地位に安んぜしむるにはどうしてもこの運動をつゞける必要がある、私は日支共存共榮の先天的關係から日本國民のこれに對する同情と援助を希望する……誤解については私にも言分があるが即ち日本人の一部ではあらうが何ぞといへば私の敵人に買收されて、馮玉祥、馮玉祥、馮玉祥と凡ゆる機會を利用し私を日本の敵人のやうに惡宣傳する者があることだ、殊に私に關する貴國人の著書において甚しい

記者　これは意外なことを承はる、その買收された確實なる事實、及びその著書は何といふのでせう

馮氏　外交處で聽いて頂きたい

記者　傍らの日本課員李向恒氏に向つて、あなたが御存じでせう

李氏　床次氏が南京を訪問した時に蔣介石氏から五十萬元を受取つたといふことが頻りに傳へられてゐること、又山崎氏著（世界を動かす十二傑）布施氏著『國民革命と馮玉祥』における「未知數の馮玉祥」の章なぞは副司令（馮氏のこと）が最も不滿に思つてゐるゝ所だ

馮氏　何と惡宣傳されても構はぬ、その實馮玉祥は敵人の宣傳で毫も動かぬ、又眞實の馮玉祥は軈て貴國人に眞實に諒解さるゝことは時が解決して行く

記者　床次氏云々は貴國政界の謠言で私は一場の笑話としか考へませぬが

馮氏　イヤ宜しい眞實だとは言はぬたゞ斯ういふ工合に誤解があつては困るといふ說明の一例に過ぎない、袁世凱が盛んな時に孫文、黃興を滅ぼす爲め孫文小史とか黃興小史とかが造られて流行つたが結局、袁は革命黨の敵ではなかつた

とニヤリ私を睨み凄い眼を光らして再三馮氏に關する書籍のことを繰返へした

記者　よろしい御不滿のことを滿洲日報を通じて日本國民に傳へませう、今や貴國は黨の天下ですが孫さん、黃さんは日本人の良友でした

馮氏　さうです、孫總理北上の際の神戶における演說は全く私の對日意見なのです

記者　黨、政府の問題に對しては

馮氏　黨は今や擴大會議成立し吾等に兵力十萬の味方が出來たやうなものだ、政府のこと政治のことは閻錫山氏に聽いて頂きたい

記者　戰爭はいつ頃解決する見込ですか又その後の建設方案について承はりたい

馮氏　戰は順調に進捗しつゝある、いつ頃終るかといつて……廿日間で終るかそれとも二十五日かゝるか判らぬ、併し蔣介石の運命は時の問題です、蔣介石さへ倒せば建設事業の如きだん／＼出來る、倒蔣革命は民國最後の戰爭なのです

記者　昔のある名將は平生信仰を有たなかつたが苦戰の場合必ず太陽を拜して精神の慰安としたといふが、あなたは？

馮氏　アハ……私は眞理を信仰してゐるから太陽なぞを拜まぬ、眞理は不滅だ

記者　御多忙中有難うございました、記念のため一筆願はれないでせうか

馮氏　よろしい揃いが今日の話の總論ともいふべき「共存共榮」と書いて上げませう

侍兵に命じて筆墨を持ち來らしめ雜作もなく認めて私に與へた

馮氏　忙しいのでおもてなしも出來ないが唐外交處長に命じてをくからユックリ御滯在を請ふ

記者　有難ふ、時に酷暑の頃、切に御身御大切に

馮氏　多謝

氏は黑鼠色の洗ひ晒しの木綿着にヘヂ切れさうな六尺豐の巨軀をつゝみ三四合入の五郎八茶碗で香り高い茶を勸めた、テーブルの上には莊子一卷が置かれてあつた、クリスチヤンから老莊の學へ、排日屋から親日論者へ方向を轉換した氏については更に語るべきものがある（寫眞は馮氏と本社記者）

銀安と不況に祟られて關東廳は意外の歲入減か
阿片だけでも五六十萬圓減收
來年度豫算が問題

本年度に於ける關東廳の特別會計國費豫算は既に還般の行政合理化に依る實行豫算に於て約百萬圓を節減せられたので同廳では土木費の三割減を筆頭に各支出費目を夫々節減し遂に旅費の一割五分減額まで斷行したのであつたが、更に最近銀安、貿易不振等によりいよ〳〵深酷化しゆく經濟界の不況は阿片專賣收入を初め所得稅酒類煙草輸入稅等諸租稅及び遞信收入等に多大の減少を招來すべく豫想され、現に阿片收入の如きは租稅を除けば同廳收入の筆頭をなすものでその專賣總額は例年三百萬圓に上つてゐるのであるが、流石に顧客を支那人とせるその賣高は近時スツカリ銀安に祟られ既に四月以來の實績は前年に比しても多大の減收となりこの分では年度末に於ては尠くとも五、六十萬圓方の大減收となるべくみられ其他所得稅は年額二百四十萬圓中二百萬圓は滿鐵及る四十萬圓が其他の諸會社より納附せらるゝのであるが、滿鐵でさへ收入減の折柄その他諸會社の業績も當然不良を免れざるべく、從つて稅收入も到底豫算通りの收入は望まるべくもなく、玆許同廳本年度收入減の補塡を如何に切拔くる可きか、更に一層經濟恐慌を豫想されてゐる明六年度豫算の編成を如何にすべきは目下同廳に於ける重大なる問題として首腦部乃至財務當局では切角對策講究中であるといふ

政友經調委員會
調査方針を報告

【東京三十日發電通】政友會は卅日午前十一時五十分から經濟事情調査委員打合會を三緣亭に開き犬養總裁を始め床次、水野、元田、望月、久原以下各委員其他五十名出席、森幹事長より調査方針として
一、地方主要產業狀態
一、失業狀況
一、重要商品の商取引、その他に及ぼした影響
一、農業、漁業、林業、生產品の收支及び販賣狀況
一、畜產狀況
一、中小商工業者の實情
一、政府及び公共團體の事業中止若しくば繰り延べの影響
一、租稅公私負擔金の收入狀況
一、金融狀況
一、俸給生活者の狀況
一、子弟敎育に及ぼせる影響
一、家庭生活に及ぼせる影響
一、經濟不況の國民思想に及ぼす影響
等を報告したが委員は來月三日乃至六日に出發八月十日頃歸京する事に決定した

不況對策を東京商議が建議
けふ首相各大臣に

【東京三十日發電通】東京商工會議所は三十日財界對策研究委員會並びに役員會を開き財界現下の不況對策につき左の如き意見を決定三十一日濱口首相以下各大臣に建議する事となつた
全國商工會議所は既に五月特に大阪に臨時總會を開き之れが對策を樹て、政府に獻策したが爾來益々深刻なる財界不況の實情に鑑み、吾人は今日速かに政府が當時の諸建議を擇實施せられん事を希望すると共に改めて特に左の諸點につき政府の十分なる考慮を促さんとす
一、緊縮政策を適宜緩和し、人心の作興を圖る事
一、營業收益稅、消費稅等負擔の輕減を速かに實施せられ度し
一、陸海軍備の縮小を決定し、其餘裕財源を負擔輕減に當つる事
一、鐵道電話其の他官營事業の料金並びに專賣品の價格低下を圖る事
一、日本銀行特殊銀行郵便貯金等の金利低下を圖り一般低金利政策を助長すべし
一、一般に產業金融の疏通を圖ると共に特に中小商工業に對する低利資金の融通を簡易迅速にせられ度き事
一、道路港灣其の他必要な公共事業の實施促進
一、帝都復興促進
一、不當廉賣を防止する事

敎員の減俸に文部省反對
內務省は當人が承知なら或程度の減俸は承認

【東京三十日發電通】極度の不況に陷つた農村は續々として小學校敎員の減俸を行ひ文部省は敎育者の地位を不安ならしめるとの見地から反對の意嚮を持つてゐるが、內務省は必ずしも之れに反對せず、現在の俸給は之れを減額せず、增俸を停止するは可なり、但し敎員の同意を得たる上は此の限りにあらずとの立前を取り或程度の減俸は之れを認める方針で、地方長官の稟請がある場合はこれを受理する事となつた

頌德表や扁額贈呈も禁止

【鐵嶺特電三十日發】支那側では從來官公吏の更迭に際し頌德表或は扁額を贈つてゐたが遼寧省政府から縣長に對し右贈物は今後絕對に禁止すべき旨訓令して來たと

東北省の鐵道網總延長五千支里
三ケ年繼續事業として完成

【奉天特電二十九日發】支那側の情報によれば東北交通委員會では東北省における鐵路大擴張のため今後三ケ年繼續事業として總延長五千支里、總工費現洋八千萬元として完成に努め同計畫達成後更にその他の支線を敷設し以て東北省の鐵道網を完成せしめると

印度圓卓會議に野黨からも參加
英政府が非難緩和に

【ロンドン二十九日發電通】印度問題解決のため今秋開催さるべき印度圓卓會議に對しイギリス首相マグドナルド氏は保守、自由兩黨から夫々三、四名の代表を選出參加せしむる事を本日下院に提議した、此の事は最近數週間に亘り在野兩黨間に醸されてゐた政府の印度政策に對する非難を緩和するに相當効果があると見られてゐる

飮食店組合人が信用組合を組織
積立と金融機關に
きのふ創立總會を開く

大連飮食店組合では組合員相互の利益のため一定の積立金を爲し組合員に對し商業資金の融通貸付を爲しまた必要に應じて物資の共同購入を行ふ目的の許に大連昭和信用組合を組織すべく計畫中であつたが、いよ〳〵三十日午後三時から組合事務所に集合して創立總會を開いた、出席者二十名、委任狀三十名、最初百合口氏の開會の辭あり、次いで桑島組合長座長席につき規約の審議に入つたが、新役員は一任に一決、役員の選擧に移り寫德氏より飮食店組合と昭和信用組合は不即不離の關係にあるので桑島組合長を推薦したいとの意見出で滿場之れに贊成桑島氏を組合長に推し理事九名、監事二名は桑島組合長の指名により左の如く推薦された
▲常任理事（購買部）木ノ內卓三（金融部）瀧海松藏
▲理事（總務部）宮德丈平、野間重治（購買、金融兩部の補佐）福村義一、增田岩次郞（普通理事）竹谷好三郞、元吉康雄、大內春野
▲監事　淸水兵吉、稻津豐彥
尙續いて組合顧問幾井林藏氏の挨拶あり、同四時散會した、因に右組合の事務は來る八月一日より開始の由

大藏證券發行事情

【東京三十日發電通】國庫剩餘金の涸渴歲入著減の爲め國庫金收支は未曾有の窮乏を示し年度の僅か三分の一を經過せるに過ぎぬ七月廿九日に一般會計國庫金の遣り繰りの爲め三千五百萬圓の大藏證券を發行するの餘儀なきに至つた、國庫金收支狀況は昨年度は十月末に至り始めて大藏證券の發行を必要としたるに比し今年度は三ケ月前にその必要を感ずるに至つたものであるが斯くの如き收支の窮迫は剩餘金の減少に伴ひ昨年度より現はれた現象であるが本年に至つてはその傾向は益々著るしく新規剩餘金は全然出ないのみか却つて不足となる悲境に陷り歲入の著るしき漸減と相俟つて今日早くも大藏證券の發行の餘儀なきに至つたものである、而して今後の歲入は既に今日において六千萬圓の缺陷を豫想せられてゐるに對し豫算節約は遂に大藏當局最初の豫定八千萬圓より二千萬圓を減少し六千餘萬圓に止まつたので國庫金の收支は愈々窮屈となるべきは明かで今年度內においては議會の協贊を經た一億五千萬圓の大藏證券では到底不足となるべく大藏省の切拔け策は頗る注目されてゐる

上海爲替情報

【上海三十日發電通】ボンベー銀塊安きも金福昌元盛賣りに押す與增裕金約三千本恒興志豐永元茂永買ひ花旗銀行金塊物五八二兩五匁買つたとの說あり買方大手大康順買ひ一段高

昭和製鋼所の設置運動報告

昭和製鋼所內設置運動のため上京中の小澤委員は三十日午後二時半から大連市役所議員控室で運動經過の狀況報告會を催した

東鐵技術委員會

【ハルビン特電三十日發】八月五日東鐵管理局にては工務、汽車課運輸課の技術委員會を開催し運行上に關する協議を行ふ

住友銀行八步配當

【東京三十日發電通】住友銀行は三十日重役會を開き株主配當八步案（一步減配）を決定した

太田關東長官は唐詩の一句惟使主人能醉客、不知何處是他鄕を乘び起して、之に酬い、此間孫傳芳氏の、主客間に融洽これ努むるあり、終に彈られ、立つて戰說の非を論じ、潘復氏も亦やをら腰を上げて、日支親善は、親々と改むべしと叫び、臧氏大連、高柳滿日も立たされて各自所感を述べ洋卓には珍しき、談笑振りこそ、近頃になき打寬ろぎ、打解けた會合であつた

安樂子

今日此頃は、旅大の中國名士と我官商の交驩が、特に行はれる▲廿九日の晩は中國側が我官商を星ケ浦ヤマトホテルに招致した▲座長は李總芳氏である、獻立までにも苦心して其一皿の鯉飯こそ氏が我宮中で賜つたことあるを想ひ出したものやさうで、食半にして、氏は立ち即吟の村巷傳呼顯者來、主賓歡聚笑顏開、澄懷市遠無兼味、願上南山壽一杯なる意味で、南山の壽杯を擧げ、

錢鈔

上海標金（後場）

寄付	五七五兩五
高値	五八三兩〇
安値	五七三兩一
止値	五八一兩六

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 百八萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高［銀對金 二萬五千圓／銀對洋 十千圓］

神戶特產（卅日）

大豆現物	五五〇
豆粕現物	四五〇〇
先物	一五一〇
滿洲小麥	三二〇〇
豆油現物	四四五

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六二六〇	六二八〇
大株新	四九一〇	四九二〇
鐘紡新	一三〇〇〇	一三〇四〇
日郵船新	五六八〇	五七〇〇
郵新	不申	四二五〇
東新	九〇八〇	九〇九〇

東京株式（短期）

	五品	東新
寄値	不申	九〇三〇
引値	不申	九一二〇
高値	不申	九一〇〇
安値	不申	九〇二〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
八月	三二五三	三一九七
九月	三一五三	三一九八
十月	三〇二九	二九九八

大阪期米

限月	後場寄	後場引
八月	三〇〇〇	三〇七
九月	三〇六〇	三〇六七
十月	二九六〇	二九七一

神戶期米

限月	後場寄	後場引
八月	三〇〇	三〇九
九月	三〇七〇	三〇六九
十月	二九六六	二九六五

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
八月	七二三〇	七一八〇
九月	七〇四〇	七〇五〇
十月	六九〇〇	六九一〇
十一月	六八九〇	六八九〇
十二月	六八八〇	六八八〇

添聽報及聽報附錄

滿日地方版

奉天

州外聯盟野球戰 來八月二日から 奉天軍必勝の意氣

州外聯盟野球大會は愈々八月二、三、四の三日間奉天新グラウンドにおいて安東、撫順、長春、奉天のリーグ戰が行はれることになつたが試合は一日に一回宛擧行される筈であるなほ昨年は撫順チームが優勝してゐるが今年は奉天が必勝を期してゐるので花々しい接戰が演ぜられるものと期待されてゐる

商議旬報を 月報に變更決定

奉天商議では廿八日午後一時から委員會を開き問題の旬報改善案に對し種々協議をなしたが結局經費の點から旬報と黨報を廢しこれを一括して月報となすことに決定して二時頃閉會引續いて三時より議員會に移り先づ月報發刊の説明あり次いで昭和製鋼所滿洲設置に關する大連の大會經過報告をなし續いて奉天獨自の市民大會開催に關する打合せをなした結果二十九日夜民會、區長、地委、商議の四團體と新聞通信記者懇話會と大會準備の打合せ會を開くことになり午後六時頃解散した

麵類一割强値下 奉天署に許可願出

奉天飮食店組合では過日開かれた臨時總會において時潮に鑑み自發的に麵類の値下げを行ふこととなり廿九日奉天署に許可願を提出した奉天署では目下審議中であるが多分許可となるべく近く實施されるやうにならうと尙その二、三を示せば左の如くで平均一割强の値下げ率となつてゐると

かけ(うどん、そば)九錢▲しのだ十三錢▲もり十二錢▲ざる十八錢▲冷むぎ、冷そうめん、玉子とじ、花卷そば各廿錢▲けいらんそば廿五錢▲鴨なんばん廿五錢▲親子丼四十錢▲天丼並に木の葉丼各四十五錢▲支那うどん十三錢

赤痢コレラ 豫防錠劑 無料で配布す

奉天區衞生委員會は廿八日午後二時からヤマトホテルにおいて開催され左記諸事項につき協議決定したがその中赤痢及びコレラ豫防に關しては從來の豫防注射を廢し新製の錠藥を使用することになり既に滿鐵本社から當地に三千人分(但しコレラ錠藥は來月來る)を送附して來てゐるので希望者は開業醫又は消防隊に行けば無料で與へられる筈

兩教會設立許可

六月十二日奉天聖公會設立許可願を提出せる稻葉町六番地根岸卯太郎及び五月十五日神習教奉天教會所設立の許可願を出せる平安通り廿二番地橋本作治の兩氏に對し廿八日附を以て關東廳から設立許可の通知が奉天署に來た

九月以後の 勤務演習召集者

本年九月一日以來勤務演習に召集せらるべきものに對しては特別大演習、師團對抗演習、師團秋季演習等のため召集せらるべきものを除く外本年に限り勤務演習の召集を行はざることになつてゐるが奉天署管內において九月一日勤務演習に出づべき歩兵廿四名その他十五名合計卅九名に對しては既に本月九日乃至は十日夫々召集令狀を發してゐるが右によると或は勤務演習もお流れになるであらうと

巡警隊が 闇中で交戰 兇賊五名逮捕

廿八日夜十二時頃滿鐵と北寧線のクロス地點(管外)にて擧動怪しい數名連れの支那人を巡邏中の巡警隊が發見し誰何するや彼等は突然發砲したので應戰し茲に暗中入り亂れて物凄い大交戰となつたが巡警隊はひるまず戰ひ遂に賊の五名を逮捕し公安局に引致して目下嚴重取調中であるが彼等は管外荒しの馬賊の一味と觀られてゐる

一萬圓拐帶

奉天小西關井上誠昌堂藥房方の店員支那人李迎春(二〇)は廿八日主人の命を受け支那側軍務處に現金一萬圓を受取りに行き同日午後七時頃一旦歸宅したが歸宅の際「お金は一文も貰へなかつた」と稱し暫くして姿を晦ました調査の結果一萬圓を一旦持ち歸り現金は貰へなかつたと欺き逃走の準備を整へ該金を携帶行方を晦ましたことが判明したので目下犯人嚴探中である

人事

▲安保海軍大將 二十八日夜長春より過奉安奉線にて內地へ
▲近藤大佐 同上
▲川崎東京鐵道局旅客課長 同上
▲森醫大幹事 二十八日夜赴連
▲青木車輛事務所長 二十九日歸奉
▲門間新任勸業係長 二十九日家族同伴着任
▲王家楨氏 二十九日京城より歸奉

町の便り

奉天寫眞俱樂部では過日醫大記念館にて第十三回七月例會を開き出品印畫四十點今月特別課題夜景十數點につき會員互選の結果左記の通り入選しついて作品に對する相互の批判感想談あり夜十一時頃散會した

第一席 塔灣風景 市岡光葉
第二席 曠野 同
第三席 德利と桃 中野逸禺
第四席 風景 髙松麗光
第五席 畑へ 同
第六席 草取る人 岡田氏
第七席 靜物 同
第八席 西塔風景 桑田樂洋
第九席 水蓮 荒木氏
第十席 夏の日ざし 岩崎義雄

◇

八ケ代奉天領事館司法領事は佐藤領事着任後令孃の見舞旁々賜暇歸朝をなす筈である

◇

女流書家として知られてゐる隅山松琴女史は六十七歲の老齡の身を以て遙々渡滿したが近く來奉する筈で奉天においても展覽會を開催すると

安東

各階級を網羅し 秘密結社 ＝檢擧既に六十名に達す＝ 寧邊署の中心教手入

寧邊警察署においては去る二十日より異常の緊張振りを以て大活動を開始してゐる、探聞するに同郡延山面における中心教と稱する團體の陰謀事件が暴露したるに端を發したものにして、中心教は何等宗教的內容を有せず唯外部の目を晦ますための假名で其の關聯者は頗る廣汎に亘り寧邊郡內のみにても判明せる一味は二百名と稱せられ既に寧邊署に引致されたもの六十名に上つて居る、此の秘密結社員は農民、富豪、知識階級などあらゆる階級を網羅して居る模樣なるが今後芋蔓式に續々檢擧さるゝ見込で重大視せられて居る

全安軍敗る 對全新義州 庭球試合

恒例に依る全安東對全新義州の對抗庭球試合は二十六日營林署コートにおいて開始されたが安東側長谷川、宍戸の力鬪空しく終に敗れた、當日の第三回戰以後の成績左の如し

▲第三回戰 安東 新義州
(長谷川 宍戸)四－二(岡田 李正柱)
▲第四回戰
(長谷川 宍戸)四－〇(山之內 金道乙)
▲第五回戰
(長谷川 宍戸)〇－四(崔貞興 張相熙)

加藤會頭歸新

昭和製鋼所問題のため上京運動中の加藤新義州商議會頭は二十八日歸新、出迎へに安東側より荒川會[illegible]

兩氏更任挨拶

安東地方事務所新任勸業係長阿比留、[illegible]二氏並びに新出書記長が赴新した[illegible]係長は二十八日安東に榮轉の門間[illegible]奉天各方面を歷訪更任挨拶をなす處があつた

人事

▲山本憲一氏(前社會主事) 二十八日十一時四十分新任地本溪湖へ赴任
▲門間堅一氏(前勸業係長) 二十九日十一時四十分發新任地奉天へ正式赴任
▲山內憲孝氏(滿銀支店長) 支配人會議出席のため赴連中の處二十七日夜歸安

鐵嶺

いよいよ來月三日＝ グラウンド開き 對抗陸競の鐵嶺豫選會を擧行

滿鐵によつて鐵嶺に新設されるグラウンドは大洪水後排水工事と共に諸施設が急がれてゐたが愈々茲二三日中に竣工し來る三日の日曜日にはグラウンド開きを兼ね四地對抗陸上競技全鐵嶺軍選手の豫選大會を擧行する由

馬賊の 大集團 東豐縣下で 掠奪を恣にす

二十三日東豐縣下石灰窰子附近に馬賊頭目金山、長江の率ゆる聯合馬賊四十名の一團現はれ掠奪を逞しうしつゝありとの報に接し大肚川公安局では空前の大討伐隊を編成、宋局長以下二百七十餘名の公安局軍隊聯合して現地に急行したるが賊團は斯くと知つてか討伐隊の到着前に逃走し約四十支里を追跡せるも遂に發見するに至らなかつたといふが、前記二頭目の部下は最近著るしく數を增し現在約六七十名を擁し主として柳河子附近にあり、屢々同村落を襲擊しつゝありといふが最近は各地とも討伐出動に忙しく大肚川の如きも市中の警備頗る手薄なるため駐屯の騎兵隊は早朝討伐に出で夕刻歸り市街警備の任にあたつてゐると

新臺子に街燈

電燈施設の完成で新臺子は面目一新し今後の發展を豫想されてゐるが鐵嶺地方事務所でも市街美を保たしむるため市內重要地二十三ケ所に街燈を設置するに決し近く着工する

赤十字巡廻施療

鐵嶺赤十字社支部では去る二十五六の兩日新臺子において無料巡廻施療を試みたが患者は四百十五名で延人員千八百人、病氣は消化器病とトラホームが最も多數であつた

哈爾賓

吾等の町を語る

三十年前の思ひ出 日支協調した時代が懷しい

共濟會幹事 山本六太郎氏談

人口四十萬、この先どれだけ發展するか判らない特殊地帶の傳家甸も今から三十年前の昔は寂寥たる寒村だつた――この町に日本總領事館が生れるとすぐ開店した草分時代の先達山本六太郎氏は[illegible]の先驅加藤米吉氏と共にこの村の双璧であるが、山本さんの鳥瞰圖に映つた町の大勢の一節

◇

「古い話ですよ私のこゝに根を下ろしたのは、川上音彥さんが初代總領事として初めて日章旗を揚げられた時、今から恰度廿五年前ですが奉天の本店から月給五十圓で支店經營を委任されてやつて來たのでしたが、それ以來一歩も外に出ず全くの越後の蛙でネ……ハヽヽ」

◇

「當時町は電燈も電話もなく、自動車如きは勿論姿さへ見られない泥濘の土地でしたが、今では立派な石畳の文化都市となつたのですから全く夢のやうです、世の中は斯ういふ風に進步してゐるのですが、私はこれ十年一日でネ、世の中からとり殘されたやうな氣持がします、然しこの町はその頃は二階建の家といふものは一軒もない位ので、それに土壤の平家が多くこれまで立派に面目を變へやうとは思はなかつたのですが――恰度明治四十一年の醜いペスト流行の時罹病者の家屋は片ッ端から燒き拂ひ殆ど不潔な民家はこれがため一掃されましたのでその後新築の家屋はいづれも煉瓦建に改築され次第に二階建も出來、大正七、八年の好況時代、歐洲大戰で俄に景氣が出て來て建つ、立つ、次から次へと擴がり今日の大廈高樓が浮び上つたのです」――とペストと好況時代が町の新生命の活力素を注入した原因であつたと六太郎さんの追憶の糸がくり擴げられて行く恰度町の伸びたやうに

◇

「其頃(今から廿年前)我々の自治機關として共濟組合を組織し日本人會と稱した居留民會の前身の――民會から分離してお互に救濟の方法を講ずることになりこの機關は今も尙現存してゐるが、會員は當時に比べると十分の一の數に過ぎない、第一泥の巷どころか問題とならぬ三十餘名となり、孤影寥々寂寥にたて籠つてゐるに過ぎないのです、これらのものも現狀から行くとやがては陣營を退かねばならぬ時期が來ると思ふのです、實に心細い話ですネ」――四十萬有餘の大都市に邦人僅かに女小供を合して百餘名が居住してゐるのに支那官憲はこれらの人々をも家主を壓迫して退却せしめやうとしてゐるのである、不平等條約の撤廢を絕叫する支那自身が、過去の慣例を無視し且つ直接間接に壓迫を加へて少數邦人の生活を脅威し根こそぎ居住權を剝奪しやうとするの態度は――何であらう――關東州內における完全なる行政權を有する我法權治下において支那居住者が自由平等の待遇を受け、しかも文化施設のもとに生活の安定を得てゐる事實と比較して果してどうであらう?極端なる不平等政策をとつてゐるのはその罪いづこにあらう?――と筆者は言ひたくなる

◇

「支那官憲の理由ある規則には私共は別に反對するものではありません、四角四面な理窟は必要はないのです、直接かうした環境にあるのですから出來るだけ服從し協調して行きたいと考へてゐます、この點では傳家甸領事と稱された根津書記生時代の圓滿な日支官憲の親睦が想ひ出されるのです、根津さんは大酒呑みでしたよだが縣知事とは殆ど兄弟のやうにして何事があつてもお互に胸襟を開いて交涉され大正二年のあの事件の際でも縣知事は我々に對して充分保護の責任を盡すから騷いで貰つては困ると制止した位ので、其れは非常に圓滿なものでした」と感慨無量

◇

町は開けるが日本人は住めないこれぢや解け行く夏の氷である、發展の一端である、然し何がさうさせたか?支那人の排他主義功利主義日本人の共存共榮の精神が缺けてゐるの?對立するものは相うつため?支那官憲にしても特に排斥する意志はなからう、問題は硝子に引懸つてゐる

◇

三十年のこの愛する町の生活もこの儘では捨てねばならないのだらう?……明暗いづれに行く(寫眞は山本氏)

ゴルフ競技 哈軍勝つ 長春軍振はず

オール長春と哈爾賓のゴルフ對抗試合が廿七日の直射百廿度餘の炎天下において開始された、長春軍の陣容は石關、田邊、則生、寺內、栗原、石崎、手島、島名の八氏哈爾賓軍は宇佐美、石原、前田、井川、古田、平田、堀江、佐賀の人々で試合の結果九對三で哈軍が斷然快勝した、八月十日には哈軍が長春へ遠征する

ハルビンの特殊病は 小兒の百日咳 「病院は至極閑だ」と 日本病院の城野臨時院長語る

日本病院長增田博士の歸省中奉天醫大から臨時院長として來任した城野寬博士はハルビン地方の病勢について語る

私は奉天の醫大を卒業後京大に派遣されたが滿洲生活十有餘年中一度もハルビンには來なかつた、京大では皮膚の細胞核について研究し漸く論文は通過し、文部省に廻つてゐる、ハルビンは奉天とひどく變つてゐるとは思はぬが

小兒科 の方では百日咳が多く、傳染性のため子供は殆ど罹病してゐる樣子で、急性肺炎となるから各家庭では注意する必要があらう、これも氣候の關係かどうか詳しいことは研究してをらぬが傳染する病氣であるから子供が集つて遊ぶため感染しやすいのである、內科方面では十名ばかりの患者を診察してゐるが、奉天にゐると手のすく隙がない程だが少ない――別に變つた病症の人はない――こちらの病院には最初から

診察を 受けに來る患者が殆どないと云ふ位で、市內の醫師に診斷され最後に入院する人が多いやうである

日本病院としては大體において醫師の匙をなげた病人を引受けてゐる形で自然入院者に死亡率も多い譯である、因みに氏は一ケ月後になつて若し增田博士が歸哈せぬ場合は奉天から他の博士が來哈し歸奉する豫定であると

學生團の實習 近く東鐵へ

ハルビンの法政大學、北平大學其他の學生二百四十二名は近く東鐵にも實習のため來ることになつてあるが、半數はソウエートの學生で他の半數は支那學生で五名は二重國籍を有するもので二ケ月間練習をする豫定である

東鐵沿線調査

東鐵南部線に於ける列車顚覆事件に刺戟され工務課ではシュミキン、ブルレリニスキー、ダレウイチの各技師は廿三日長春間の線路を視察したが、廿七日は一面坡、廿八日は穆稜方面の東部線の線路を調査すると

被害者から抗議 列車顚覆事件に對し 東鐵の態度注目さる

五家、雙城堡間の列車顚覆事件に乘客中の負傷者は東鐵局長に宛て事件發生の地點はハルビンから僅かに四〇キロ米突であるのに救助列車の到着したのは四時間を要し其の上茶もパンも無く且つ雙城堡からの旅客車が到着するまで待合し漸くハルビンに送つたのは何と云つても失態であると公開狀を出したものであり、この事件のため手足を失ひ生命を短くした者もありこれ等を如何にするかと述べてゐる、然し事件は鐵道側の過失ではなく故意に顚覆を計畫した不可抗力のものであるから東鐵としては果して如何なる解決を興へるか注目されてゐる

米人一行馬賊 に襲はる

廿七日午後五時半頃ヤフトクラブ前方の十路島でニューヨークシチー銀行支配人マクライ、副支配人メーソン、チカテレド銀行支配人グレー、スタダード會社支配人モールの四名が四名の拳銃を所持した支那馬賊に襲擊されモータボウトを抑留のうへ金時計、指輪其他貴重品全部を掠奪し悠々と舟により對岸の草叢中に逃亡した、恰度多數の水浴者が游泳中であつたが、モーゼルを發射した音を聞いて婦人子供等は大騷動をした

哀れな幼女逝く

哀れなる母子として仁和寮に救助されてゐた福岡縣三池郡三池町與太郎の孫梅谷ツマの女兒アイ子(二)は遂に榮養不良とチブスのため廿七日死亡した、民會では行路病者として埋葬した、何處までも不幸に生れた子供であつた

濱江雜俎

白髮小學校長は滿洲里方面の視察のため廿六日出發

◇

石原重高氏は廿九日午後洮南に向ひ事務を引繼直に歸哈も正式赴任の由

◇

歐洲の各國で日本女子のため氣を吐く人見絹江孃一行の選手は三十日の歐亞連絡で京都市立二條高女教諭井尻忠雄氏と共に出發

◇

本年一月一日から七月十七日の間に東鐵各沿線で信號燈の電線纜が十九回盜難に罹つた、それがいづれも三千米突程竊取してゐるので其の都度警察に屆け出てゐるが一向に發見されない、信號所では十二分注意をしてゐるが、闇の結び目から切斷し竊取するので殆ど手掛りがない

◇

訥河の氾濫で東支商業代辦所は浸水したので東鐵からは直に技師を現場に派遣し軌條の流失を防禦中浸水はかなり廣い地域に及んでゐる

◇

二十三日午前一時半頃東鐵獸醫局の向側にあつた小舍から失火し乾草百俵を延燒して鎭火した

撫順

全撫水泳大會 來月三日西公園プールにて

水泳選拔年中行事の華で大小河童連の待ちきつたオール撫順水泳大會は八月三日西公園プールにおいて擧行に決定した、當日は大衆的興味本位とし參加選手は正選手はもとより女學校、中小學校、一般市民等範圍頗る廣く各方面寄贈の賞品も盛澤山で未曾有の盛況を豫想されてゐる、プログラムの主なるものは大略次の如し

△自由型 二十五米、五十米、百米、二百米、四百米、千五百米
△平泳 二十五米、五十米、百米、二百米
△青年團の各分團對抗競技
△背泳 五十米、百米、二百米
△ウオーターポロ 團體の水中水瓜爭覇戰その他
△各種曲飛
△女子自由型 五十米、百米、平泳、五十米、百米、二百米

伍堂部長は 本社勤務

鞍山製鐵部長兼炭礦部長伍堂理事は歸社後は撫順乃至鞍山の何れかに在勤、且つ居を構へるものと一般に想像されてゐるらしいが、二十八日附で、伍堂理事は大連本社在勤し必要に應じて撫順乃至鞍山を巡視されるとの入電があつた、從つて炭礦部長の實際的仕事は主に築島次長が處理する事となる譯である

德山精蠟工場 來月作業開始

撫順頁油工場の延長とも云ひ得る德山精蠟工場の諸機械の据付も既に全く完了し、愈々八月十日頃から作業をなすことゝ決定した、過般大連より初移入の粗蠟は同月五、六日頃陸上げし直ちに前記の如く精製に着手される譯である

鞍山

弓道の＝ リーグ戰 來三日井井寮で

鞍山弓道部では來月三日井井寮裏大弓場において優勝旗爭奪戰を開催し製鐵所各課及び地方等約六組のリーグ戰が行はれると

作業中に墜落 鳶職の奇禍

鞍山製鐵所工作課鳶職石橋一郎は二十九日午前十一時頃選鑛工場增築工事作業中誤つて高所より墜落し胃盤の骨折れ重傷を負ふた直ちに滿鐵醫院に入院應急手當を施したが生命には別條なしと

久布白氏講演 卅一日開催

婦人矯風會幹事久布白落實女史は大連旅順等にて宣傳に努力して居たが三十一日來鞍し午後七時三十分より實業會室において一般婦人のため講演會を開催、多數の來聽を歡迎すると

醫藥學集談會

鞍山滿鐵醫院醫藥學集談會七月例會は二十九日午後二時より本院三階廣間において開催されたが演題左の如し

一、日常遭遇する主要なる急性中毒に就いて 國分信雄
一、レ線診療の近況(三) 岡本運太郎
一、經口免疫に就いて 間野山松
一、脚氣療法とワ氏反應 國分信雄

地藏尊の 開眼式 ＝九月上旬に

有志の發起で建立される地藏尊は先夜石川委員長宅の委員會で內地の有名な專門家に依賴する事となり、鑛工は來月下旬、九月上旬には盛大なる開眼式を擧行に決し之が準備に着手した

優勝盃の 庭球戰 來月三日擧行 申込は卅日迄

鞍山製鐵所工作課長矢野耕治氏寄贈の庭球優勝カップ爭奪庭球戰は來月三日小學校前コートにおいて個人試合を開催する、出場希望者は前後衞一組を造つて大谷(社內五〇)、古田(鐵魂)、庭球幹事の何れかへ三十日までに申込まれたしと

電報に印字機

鞍山郵便局では八月一日より和文電報の受信方法をタイプライターに變更することになつた

商店協會役員會

鞍山商店協會では八月二日實業協會室において役員會を開き重要事項を協議すると

店員慰安活寫

鞍山滿鐵社會係では八月三日午後七時三十分より演藝館において社員慰安活動寫眞大會を開催するが映畫は「血煙荒神山」九卷「大洋兒」十卷で大人三十錢小兒十錢だと

「いろは標語」の賞品贈呈

鞍山實業青年團では去る二十二日衞生宣傳いろは標語を募集したが應募者七十七名の多數に達し審査の結果正解者は三名、一等より七等まで等級を定め八月二日實業會において投稿者全部に對し賞品を授與するから出頭されたしと

富永次長歸鞍

本社において部次長會議に出席中であつた富永製鐵部次長は廿八日六時十分着列車にて歸鞍した

德永博士視察 けふ來鞍

早稻田大學教授工學博士理學博士德永重康氏は三十一日六時十分着列車にて來鞍し製鐵所を視察し午前十時發運鑛電車にて大孤山採鑛狀況を視察すると

營口

河北驛の新施設 五十萬元を投じ三年間に竣工 營口埠頭擴張に對抗し

滿鐵線營口埠頭擴張に對抗すべく北寧鐵路局長高紀毅氏は豫て河北驛の擴張を謀つたが最近漸く具體化し去る九日高氏自ら來營し實地調査の結果近く起工の豫定であると、工事期間は三ケ年總經費現大洋五十萬元を投じ紅草溝と現河北驛間の河岸工事、埠頭倉庫の建設、軌道敷設をなし附近の空地には市場を開設するものである、尙營盤鐵礦出の鑛運搬のため輕鐵を敷設し之を河北驛に吸收する計畫なりと

水泳の初大會 來月四日新プールで

營口水泳俱樂部は來る八月四日午後三時より第一回競泳大會を新築プールにて擧行するが、競技種目は左の如し

▲成人の部 (一)自由型三〇メートル(二)同五〇メートル(三)同一〇〇メートル(四)平泳三〇メートル(五)同五〇メートル(六)同一〇〇メートル
▲婦人の部 (一)自由型一八メートル(二)背泳五〇メートル
▲兒童の部 (一)自由型一八メートル(二)平泳一八メートル

牛家屯に馬賊

二十九日午後五時半頃牛家屯村落附近に馬賊らしき五、六名の怪しき支那人が徘徊し居る旨急報に接したので營口署から林署長、窪田堤兩警部以下現場に急行し捜査に從事したるが暮色既に迫り且つ賊の行方もはつきりしないので一先づ引揚げたが尙極力捜査中である

僞造の銀貨

從來の邦貨五十錢僞造銀貨は鉛、錫に銀を鍍金したるものなりしが最近の銀安で純銀を材料とするやうになり最近營口驛出札係員が金中に二枚を發見した、因に僞造貨は彫刻淺く多少不鮮明だから一般に注意されたしと

苦力來營減少

商業會議所では支那人苦力が北寧線に依つて北行する者漸次增加し滿鐵線による者激減の狀況により六月分苦力集散狀況を調査したる處、昨年同期と比較し滿鐵線四等票乘客が約三分の一に減少して居り尙入港華人船客も約半減した此の現象は三月以來の傾向で六月に至り著るしくなつたと

長春

藤原貨物主任赴任

長春驛貨物助役から遼陽驛貨物主任に榮轉した藤原龍一氏は卅日八時三十分發急行で出發赴任した

人事

▲木村銳市氏(チェッコ公使) 夫婦廿八日哈市より來長大連へ
▲大岩峯吉氏(長春地方事務所長) 廿八日四平街往復
▲得丸龍太郎氏(長春地委副議長) 廿七日大連より歸來

北關夜話

地方事務所庶務係のタイピスト矢野さんのお宅に去る廿六日の晩九時卅分頃何處からともなく流彈が飛んで來て矢野さんの傍にあつた茶碗に命中した▲驚いたのは矢野さんばかりではない、母親とお友達、全くキヤッしさうだつたと▲この流彈は城內方面から飛んで來たらしいと危險な事で御座るわい

遼陽

工兵隊演習 鐵嶺へ出張

遼陽駐都工兵隊金原中隊長以下約一百名は八月四日から九月六日まで鐵嶺における渡河演習のため出張すると

土曜會例會 送別を兼ね

遼陽土曜會では近く異動發表さるべき陸軍關係會員の送別を兼ね二日午後七時半から滿洲ホテルにおいて例會を開催する、出席希望者は三十一日までに當番幹事憲兵隊(電二八)郵便局(電四〇〇)へ申込まれたし

師團長招宴

遼陽駐都第十六師團長松井中將は一日午後六時半から偕行社に官民有志を招待すると

人事

▲石岡武氏(地方部庶務課調査係[illegible]

四平街

不當な賃金を 貪る支人俥夫

四平街市街の交通機關は支那人の洋車、馬車のみであるが、彼等は一定の賃錢が制定してあるにも拘らず婦人又は支那語を解せざる者には不當の賃金を强要し、之に應ぜざれば雜言を放ち侮蔑を與へるのが常である、先日も奉天から來た某店員が郵便局前より鐵道事務所合名會社までの往復して金票三圓を强要せられし事實があり、一般に取締方を希望してゐる

瓦房店

四車掌新任

瓦房店列車區野村藤太、白石七郎、川口喜三、大石榮一の四氏は今回新に車掌に任命せらる

野風呂氏の歡迎句會

京都鐵道の重鎭として有名なる京鈴鹿野風呂氏の來瓦を機とし三日午後二時より社員俱樂部において氏の講演會、同四時より歡迎句會を開催、持寄句課題「瓜」五句以內、二日午後五時までに提出の事會費一圓五十錢夕食其他に充つる筈

地方委員會と 區長會

地方事務所にては二十九日午後三時より地方事務所會議室において委員會及び區長會を招集し午砲其他の問題に就き意見を徵した

劍道優勝刀爭奪試合

瓦房店滿鐵運動部にては二日午後一時より土用稽古を兼ね劍道優勝刀爭奪戰を行ふ事となつた

優勝旗爭奪 庭球戰 機關區捷つ

瓦房店機關區及び地方事務所に於ける優勝旗爭奪庭球試合は二十六日午後三時より事務所コートにおいて施行したが機關區側の優勝に歸した

普蘭店

小學兒童聚落 杏樹屯海岸に

普蘭店小學校生徒尋常三年以上二千餘名は教員附添二十六日より八月一日まで金福沿線の杏樹屯海岸に聚落海水浴を行つてゐる

社會教育映畫 來月は金福線に

普蘭店社會教育會にては社會教育及び地方居住民慰安の目的を以て先般普蘭店會外十一會に對し巡回映寫を行ひ盛會を極めたが、更に八月中旬よりは金福沿線の各會に巡回上映する由

武道土用稽古

普蘭店民政署にては去る二十日より八月二日まで武道土用稽古を施行し居るが當地は最近柔劍道共有段者多數に上り每日火の出るやうな稽古を續けて居る

▲[illegible]主任)十九日各所歷訪告別挨拶
▲中村俊夫氏(遼陽地方係長) 同上新任挨拶

絹布は海外へ 國民は綿織物で

世界的不況を餘所に

堅實なフランスの綿業界

世界的不景氣の折柄、フランスの經濟界は比較的好景氣で、同國中央銀行の金準備が益々增加しつゝある、本邦の產業界と密接の深い綿業に關し少しく左に解說を試みよう

世界の第四位

日本やイギリスに較べ、フランスの紡績がどれだけの大きさを持つて居るかといふに、次の通りである(單位千錘)

イギリス	五六、二七七
アメリカ	三四、六三一
ドイツ	一一、二六〇
フランス	九、八九一
日本	六、八三七

(萬國紡織聯合會本年一月末調查)

即ちフランスの紡績錘數は、我國よりも遙かに多いのである。其他織機・捺染機においてもフランスは頗る優越な地位を占めてゐる

	織機	捺染機
イギリス	七四、九四〇臺	一、一〇〇臺
アメリカ	七四七、三八〇同	三六六同
ドイツ	二三〇、〇〇〇同	
フランス	一九二、六〇〇同	二六五同

更に棉花の消費高を見ると、次の如くになつて居る(單位千俵)

イギリス	二、七七五
アメリカ	六、九〇四
ドイツ	一、三三〇
フランス	一、二〇三
日本	二、九六九

(萬國紡織聯合會發表本年一月三十一日を以て終る一ケ年の統計)

戰前に較べると、イギリスの棉花消費高は殆ど半減して居る、然るにフランスに於ては、戰前と同じ位の消費高になつて居る、更に紡織一千錘當りの消費高を見るとイギリスはざつと五十俵、フランスは百二十俵位になつてゐる

需要は國內

イギリスの綿業は、七、八割までが輸出に依つて持つて居る、日本の綿業も亦半分の海外市場を目宛に生產してゐるのである、ところがフランスの綿業は內地市場が主たる販路で、輸出は二割位にすぎない、その二割も大部分けフランス自身の植民地に行くのである、此處が頗る興味のある點で、一寸考へるとむしろ不思議に思はれる位である、日本人中にはフランス人を非常に華美な國民と誤解してゐる者もあるが、實際はさうでない、從つてフランス人、殊にフランスの婦人が綿製品を身に纏ふことは非常に多いのである、それであるから僅に四千萬人の人口を以てして、フランスの綿業の生產品の殆ど全部を國內で消化し得るのである

絹織物は海外

序に今一つフランスの女が如何に衣服に綺羅を張らないかといふ證據を示さう、それはフランスの絹織物の輸出がこれを物語る、フランスは絹織物の生產が盛んな國である、けれども此の方は、外國市場を主たる目的とし、半額以上は海外に輸出される、つまり國內では安い綿製品を用ひ、高價な絹製品は海外に輸出するといふ譯である、然しフランスの綿製品は頗る藝術的である、色彩や模樣の美しさ、新しさに於て大いに學ぶべきところがある、又織り方の工夫に於ても優れて居る、織業は世界的に不況である、フランスと雖も御多分に洩れない、けれども、國內市場を主としてゐるだけに樂なところがある、そして其の國內市場は關稅の障壁で守られてゐる

驚異的に殖えた 勞農各紙讀者數

勞働者農民自ら執筆

モスクワでの發表によると社會主義的建設の途上にある勞農聯邦で最近特に顯著な現象は教育の普及に伴ふ文盲の減少と、新聞讀者の驚異的增加である。一九二九年六月一日現在の勞農聯邦內の新聞發行部數は總計一日千二百六十三萬五千だつたが一九三〇年六月一日に二千四百七十二萬二千に達し一九一三年帝政ロシヤに於ける總發行部數の七倍半に及んだ。殊に著るしいのは各地方語に依る新聞紙の增加で二年前には四十九の地方語で發行される新聞數二百を出なかつたが現在では五十八の地方語及び發行新聞數三百四十九に達した。雜誌も百三十から三百五十七に激增した。これを一九一三年主として宗教雜誌數十を出なかつたのに比すれば非常な相違と言へよう。モスクワに於ける主な新聞紙の發行部數は左の通り

プラウダ(共產黨機關紙) 百五十萬
イズヴェスチヤ(勞農聯邦政府機關紙) 百萬
ラボチヤヤ・ガゼタ 五十萬
コムソモルスカヤ・プラウダ(青年共產黨機關紙) 三十五萬
クレスチンスカヤ・ガゼタ(農村相手の新聞) 二百萬

この外に大工場及び農場で發行される日刊紙の數一千に近く然も勞働者及び農民が自ら執筆してゐるのが多い。なかには二萬五千の讀者を有するものもあつて此の種工場紙だけでも一日平均發行高二百萬に達するといふ。そこで勞農聯邦內で印刷發行されて居る新聞の讀者總數は二千四百萬に昨年に比すれば殆ど十割の增加を示して居る

投書歡迎

中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

在滿商人自覺せよ

住 痴 庵

近來露島廣場或は奧町方面の市內に於て比較的支那人の多く密集する地帶において小さな屋臺で支那人相手に氷やアイスケーキを賣つてゐるのを見る、それは殆ど日本人であるのを見て自分は非常に嬉しく思ふ勿論その動機においては近來の不景氣が互に邦人同志の共喰ひを不可能ならしめて、どうにも、からにも行けなくなつての結果ではあらうが然し邦人が斯く目を彼等につけた事は非常に賢明と云はなければならぬ

數年來より邦人商人間に滿鐵消費組合の撤廢が大なる問題となつてゐるが自分にいはすれば、まことに取るに足らざる問題であると思ふ、若し消費組合が撤廢されたと假定し、果して邦人商人がその購買力を從前通り維持し得るか、撤廢により果して邦人商人なぞの賣上を期待通りに增し得るか頗る疑問である、自分は恐る、撤廢によりその購買客の多くが薄利にして勤勉なる支那商人に吸收されるであらう事を

在滿邦人商人よ、目を大きく開け、而して淺狹なる共喰根生を改めよ、消費組合の撤廢を論ずるより前に何故目を彼等支那人の購買客に向けないのだ、何故彼等の趣味、嗜好に適せる商品を販賣しないのだ斯くてこそ始めて在滿邦人商人發展の無限の進路が見出されるのだ、斯くてこそ始めて吾等の不況が打開せられるのだ。

紅い夕陽

支那側では省政府の命令により六十年以前の木版書籍並に宋時代前の古書類一切の海外搬出と個人の賣買を嚴禁する旨布告した、右は寶保存の意味から南方政府より遼寧省政府に達し各縣に轉令されたものらしい▲遼陽縣長文若氏は前任者が收賄其の他不正事件の爲め罷免された跡を襲ふて就任した關係上縣治に鋭意努力中であるが▲管內多數村長中には國土盜賣、阿片吸飮、自衞團の組織に從はざるもの村民と結託して賦課金の上納を怠るもの等十七名を引致し第二監獄に投じて取調中だと、縣民中には文縣長の處置は誠に公明正大であると賞讚して居る者も尠からずと【遼陽】

南アルプス縱走記 (九)

東京 大野恭平

◇暴風雨と吹雪◇

恐ろしいのは夏は暴風雨、冬は雪である。秒速二十米突以上の風では人間は立つて居られないと言ふが、高山の上では三十、四十米突の風も珍しく無い。更に惡いのは、それが突風であつて、ドッと來てバタリとやむ場合である。

刀の刃のやうな瘦尾根、千仞の斷崖ではこれは禁物だ。大正三年一月富士の七合五勺の所でこの突風に吹飛ばされて墜死した某小學訓導が、日本最初のスキー登山の犧牲だとされて居る。大正十五年白根間ノ嶽で墜死した某銀行員もこの突風の爲らしい。

風だけならば岩蔭か偃松の中にもぐつて頑張れば助かる。併しそれに雨と從つて烈しい寒氣を伴つて來る事が、盛夏に多くの凍死者を出す所以だ。大和の大臺ケ原山などで其例が多いのは南國だといふ土地柄本來防寒具の用意に油斷があるのだらう。明治三十八年七月乘鞍での六名の學生の凍死、大正二年八月の木曾駒で某小學校長以下十名の小學生が算を亂しての凍死など皆暴風雨の爲だ。昭和二年七月私は國師岳で暴風雨に逢つたが、それまでは荷厄介だつた毛布と、小さい爐壇と何んなに有難かつたらう。

夏の暴風雨は冬の吹雪である。日本アルプスでは五月ごろまで吹雪が來ることがある。大正七年十月宮城第二中學の教師三名と生徒六名が犧牲となつたのを初とし、雪庇と風の通路に當る關係だらう山形縣境の藏王、吾妻の附近では年々二三組の遭難事故を出して居る、大正十二年一月板倉君の立山での遭難も勝れたアルピニストの一行の事故として永く忘れられぬであらう。

◇山の犧牲者◇

冬山の危險は吹雪と、雪崩の外に、雪庇とクレバアスによるものも有る。それは七月の事だが穗高の又四郎谷の雪溪のクレバアスは大正五年三名の學生を呑んだ。雪崩は昭和三年一月針木峠で早大山岳部の一隊を犧牲にし、今春又立山で田部君一行五名を犧牲にした。喜作新道の開拓者、殺生小舍の喜作父子も田部君達の場合と同じやうに小舍の中で雪崩に仆れたのであつた。

岩からの墜落としては昭和三年三月、穗高で最もすぐれたアルピニストの一人大島君の事故を始めとし、非常に多い。大島君の場合はその原因未だに判明しないが、他の多くの場合は疲勞や夜道の不注意に基いて居る。

徒渉では今春川村伯爵の令息三名の黑部での事件がある。その外病死や行方不明や、山は每年その生贄を求める【寫眞は雲霧捲く鳳凰三山】

探偵小說 女妖 (155)

江戸川亂步作 横溝正史 伊藤幾久造畫

疑問の家(九)

廊下の外からこつ〳〵と近附いて來る跫音——

千家篤麿か、それともその仲間か、成瀨子爵と牛松は息を嚥んで待ち構へてゐる。窓から跳び出すにも、隱れるに場所はない。咄嗟の場合、彼には何の用意もないのだ。跫音は次第に近づいて來た。と、思ふと、扉の外へピタリと止まる。續いて、コツコツと叩をする音、牛松と成瀨子爵は息を嚥み込んだ。千家篤麿なら、叩をする譯がない。默つていきなり入つて來る筈。一體誰だらう。

「はてな、誰もゐないのかしら」

と外で不審さうに呟く聲がする。部屋の中の二人は、一體この場合どうしていゝか分らなかつた。何も知らぬ人間にこの場を見られたら、何といつていいわけをする事が出來るだらう。彼等二人はとりも直さずこの恐ろしい殺人事件の犯人と思はれて了ふ事だらう。ましてや、彼等は、二人とも目下お尋ね中の人物なのだ。

「可怪しいな。確にこの家ときいたが、誰もゐないのかしら、ゐないにしては電燈がついてゐるのが不思議だ」

と外で呟く聲。

「若し〳〵、誰もゐないのですかお手紙を見てわざ〳〵やつて來たんですが、ゐないのですか」

さう言ひながら激しく扉を叩いてゐる。

成瀨子爵はその聲をきくと、何處かで聞いた事があるやうな氣がしてならなかつた。

扉の外の人物は、それでも尚立ち去りかねると見えて、ごと〳〵と廊下を行つたり來たりしてゐたが、やがて思ひきつて把手に手をかけたと見える。ガチリと金具の鳴る音がした。

續いて、靜かに扉が開かれる。今はもう、どうすることも出來ない。成瀨子爵と牛松の二人は、まるで作りつけの人形のやうにじつと立ちつくしてゐた。やがて、扉の外から、

「あつ!」

といふ鋭い叫び。

續いてつか〳〵と部屋の中へ入つて來た人物——おゝ、それを見た時、成瀨子爵を始め牛松も、まるで髮が白くなるやうな恐怖を感じた。

今この部屋へ入つて來た人物、人もあらうに、それは檢事、蛭田紫影ではないか。

蛭田檢事は、そこにゐる二人に氣もつかず、つか〳〵とお粂の側へ歩み寄つたが、たゞ一言

「死んでゐる、殺されてゐる」と叫んだ。

と、その時牛松がそつと扉の側へ寄らうとした跫音に、初めて振り返へつた蛭田檢事は、

「あつ……」

と、思はず聲を立てた。

珍しや成瀨子爵。あの雪の降る夜の春榮街で別れたきり遂に顏を合せる機會のなかつた成瀨子爵だ

二人は思はず石のやうに固くなつて顏を見合せた。

酷暑と寶丹

今夏はレコード破りの酷暑續きで暑氣當りに惱される人の多いは勿論恐しい傳染病が流行してゐる。寶丹は昔から夏季必携藥として大なる信用を得てをるが殊に今夏の如き酷暑の際は欠くべからざる護身藥として各家庭に常備され又海へ山への避暑旅行に携帶され一層需要多く本舖は各地からの註文殺到し大多忙を極めてゐると。

痔疾療法と食物關係

根本的な問題は先づこれ!

ち疾の療法は色々ある、切つて取る方法、燒く方法、注射する方法、藥を用ひる方法、溫浴などそれぞれの症狀に應じて行はれる、が一番根本的な問題で豫防的の意義を有するのは食物に注意するといふ事である、痔疾は見方によつては便通の良否から生ずる病氣なのであるから便通を惡くする傾向ある食物や患部を刺戟する飲食物は一樣に痔疾の禁物である。

新鮮な野菜は最も良い食物

日本人は米食である、米食人の糞便は量に於て歐米人のそれに比して遙かに多い、これが痔疾には第一に惡い、殘滓の多い食物は即ち糞便となるものが多い食物はぢ疾に最も惡い、であるから痔の氣のある人は平生からこの事に注意して消化し易く便通を正しくする食物を選むべきである。新鮮な青い野菜、果物、牛乳、魚類、パン類、海藻類の如きものは何れもよい。之に反して肉類、強い纖維の多い動物性食物、濃厚な魚類、調理し過ぎた食物などは便通を惡くするから好ましくない。又アルコール分や辛いものはその刺戟によつて充血を起し病症を著しく惡化せしめるから禁ずる必要がある。斯かる不適當な食餌を平氣で腹一杯に攝取し一方に痔の手當を施してもそれは毒を飲んでは藥を飲むのと同じで百年河淸を待つと同じである。

痔疾の藥物は止痛藥が多い

ぢ疾には特効藥といふものがないそれ故に平生の攝生が大切なのである、藥として手に入るものは大體皆一樣に痛みを止める藥である要するに比較の問題で甲より乙の方が多少でも効力が強いか弱いかの差異となる、であるから患者が自分で治療し樣とするには實際の効力を標準として藥を選ばなくてはならぬ、實驗の示す處によると一種獨特の優秀なる作用ある藥として知られてゐるものに小松ぢの藥がある、この藥は普通の痔疾藥と全然主成分を異にして居り一時的に痛みを押へるのみでなく連續して用ふると患部の組織新生を助ける効があるので自然治癒の機轉を速かにする特色がある、簡單な軟膏と座藥と內服藥との三種で何れも無刺戟性であるから使用上にも便利が多い。

要するに斯ういふ藥を使ふ一方に食餌の關係を知り病症の惡化を防いで行けばぢ疾はそれ程に重くなつて入院や手術の苦痛に泣くことがなくて濟むものである。

家庭欄

夏の教育座談（二）休暇中の子供の指導

A・B・C・D

B　一ヶ月の夏休みの間にはどうしても怠け癖がつくやうだね

D　それは親の適當な指導がないからさ

B　親は夫々仕事があるのだからさう／＼子供の世話ばかりは出來ないよ

C　同感だね、家庭に於ける指導といふのは中々言ふべくして行はれ難いものだ、家庭教育に關する書物などを讀んで見るといろ／＼細かい注意が載つてゐるが家庭教師でも置かないことには出來ないやうなことが多い

B　どうも理論と實際は一致し難いものだね、僕の知つてゐる某教育者で中々確りした教育上の意見を持つた人があるが其の人の意見の通りに行けばよほど立派な家庭教育が行はれなければならない筈であるのに、我々素人が見てもどうも感心しない點が少くないのだ、これなどは理論と實際の一致しないことを如實に示したものだと思ふ

D　さう言つてしまふと家庭教育などは出來なくなるが、兎に角理想は理想として、その理想に近づくべく出來るだけの努力はしたいものだ

B　まあ家庭教育のことはすべて家内に任せて置くんだね

C　さうやつて置けばいつも「お前の教育が悪いからだ」と言つて置いて自分は涼しい顔をしてゐられるからなあ

D　無責任なお父さんだね

A　ところで學校が休暇中家庭に要求する指導といふのはどんなことだらう

B　子供が持つて歸つた印刷物を見ると朝は早く起きろとか食べ過ぎをするなとか言つたやうな注意が書いてあつたやうだが、そんな形式的なことならまことに簡單だね

D　學校で要求することは其の程度より仕方がないだらう、家庭に於て子供を如何に伸ばしてゆくかは親の頭一つだ、子供ばかりにかゝつちやゐられないと言ふやうな意見もあつたが、指導といふことは朝から晩まで子供のそばにくつゝいてゐて「あゝしろ」「かうしろ」と命令することではないと思ふ、子供の好きさうなよい書物を買つて默つて與へてやることも指導ならば手藝の好きな子供に其の材料を與へてやることも指導だ、夏季休暇に於ける子供の指導をさうした方面から眺めて見たいと思ふ（未完）

創作　神聖なる惡戯（五）

五十嵐稔

これには部屋の中の者も、さすがにぎよつとしたのでした。が、何しろ血氣にはやる人達です。何でじつとして居ませう、一人は突差に匕首を振りかぶるが早いか、颯……と躍り懸つて居ました。

「天鬼め！」

然し、曲者はものも言はずに、目に止まらぬ早さで横に避いで居ます。血煙りと叫喚と……あゝ、其處には、味方の一人が最早一刀の下に斃されて居たのです。中々侮れない使ひ手でした。殘つた者はもう手向ひたくとも、それがむざむざ命を捨るやうなものであることは火を見るやうに明らかでした。皆が齒ぎしりして手向はないのを冷やかに見てとると、曲者は初めて口をきいて居ました。

「天鬼？」然も、いぶかるやうな口調で、かう反問したのです。

それだけでも、待ち構えた人達にとつて充分な驚きでした。

「世間では俺だちのことを、飛將軍とか呼んで居るやうだが」

これだけ聞けばもう充分です。幹英と孫山とは、がたがた震へながら、窓の下を離れると、命から／＼一散に驅け出して居ました。

それでもやつと邸の前迄來た時、息をはづませた孫山が、

「幹英、君聞いたか？」と蚊のやうな聲で囁きました。

「聞いた、聞いた。命が縮まる想ひがした」と、幹英も土色の顏をして答へました。

「確に、飛將軍と云つたな」

「うん」幹英は、只うなづくばかりです。

「あゝ……何て强い奴だ」孫山は溜息をついて、こわ／＼邸の方を振り返りました。二人とも、先刻の元氣は何處へやら、それこそ青菜に鹽の態です。

（此處で、飛將軍と聞いて皆の恐れたわけを、簡單に説明致しませう。二月程以前から、城内と城外とを問はず、現はれると思へば忽ち姿を隱し、それこそ變幻出沒を極める怪賊がありました。而も、その現れるや、必らず名寶を奪ひ黄金を掠め、その爲には、抵抗する者を斬て捨ることを何とも思はないと云ふのですから、人々の之を憎むこともさりながら、恐れることは亦非常なものでした。その上、怪賊達は天を翔けるのか地に潛むのか、未だに捕はれないのです。飛將軍と云ふのは、この怪賊に人々がつけた綽名なのでした

しかしながらものゝ二分間と立たぬ中に、先づ孫山が落着きを取り戻すと、憤然として居たのです

涼味豊かな『海芋の花』　生花にも盛花にもよい

大連華道學院　三好洞石

▽…此頃切花屋の店頭を見ると白いラツパのやうな形をした花と鮮かな緑色の葉とが非常に異彩を放つてゐる、此の花は生花にも盛花にも使はれるもので南京とか高麗とかいふやうな古雅な瓶にも調和するしペルシヤや南蠻の色に配しても面白い、此の花は「海芋」といつてゐる海草の花は勿論花道界には早くから知られてゐるやうだが一般には餘り知られてゐないのみならず名さへも知らぬ者が多い、此の花は佛焰狀といふ花冠の形が面白いばかりで無く花の來歴から見ても面白い處がある

▽…海芋は植物學上から云ふと天南星科に屬し俗にクワズイモ、ドクイモ、オランダカイウなども呼んでゐる、有毒植物なので手に觸れぬ人もあるが捨て眺めるには何の差支もなからうと思ふ、イモと名の付くのは多年生の宿根草で其の地下莖の形や或は葉の形から來てゐるのであらうと思ふ、歐洲ではリチャーディアと呼んでゐる、今日本に分布されてゐるのはオランダカイウといふが實は米國の原産で、明治維新前後に渡來したものだから

▽…外國舶來と云へば何でもかでもオランダにしてしまつたのである、即ちウマゴヤシにもオランダがあり、イチゴにもオランダがあると云つた調子である日本に此種の花の類を求めると「ウラシマ草」があり、矢張り花は佛焰狀で中から蕊が、夢のやうに立つ、之を浦島の玉手箱の煙に見立てたものでせう、海芋には遺憾乍ら斯うした風雅な名が付いてゐない、歐洲にも海芋がある、英國ではカラと云つてゐるが矢張り日本と同じ意味の名の付けやうで此時エジプトナイルクリーといふ別名もある

▽…此の語源を識て見るとアフリカのナイル川には澤山の野生があつて、春ナイルの水が氾濫する頃になると水は其の根をピタ／＼に浸し其の緑の葉の中から夢のやうに花が浮き出す、花が終る頃、水は引いて古い葉は次第に枯れ根の上にかぶさつてしまふ之は根が赤道近くの猛烈な日光熱を遮るためである、花は此の期間に十分休息する空の星座は此期間に漸次變つて行く、北斗のめぐる大熊星座や小熊星座が頭と尾の位置に轉ずる頃水は再び岸を叩いて花は再び夢のやうに咲く

▽…我々は天文學が最も早く開け曆法が最も早く作られたエジプトを知つてゐる藝術の萌芽は茲に發し文化の波は先づナイルの兩岸に溢れて一つは東して歐洲に入り、他の一つは西してアジアに入つた事を數へられてゐる、其のナイル河を原産地とする海芋の花の其の形の如何にも神祕的なのは感慨無量を禁じ得ない、海芋の苞は白を以て普通とする、而し近頃は黄もあり紅もあり又黒味を帶びたものもある、莖や葉には夏の夜の空のやうに多くの星の現はれたものもある、之を星の文學に結び付けて考へる事も意味頗る深長である

▽…海芋の花が歐洲の花言葉では何を意味するか私は此の花を「藝術の起源」の象徴としたい【寫眞は海芋の花＝電園温室でうつす】

連續漫畫　彼の職業（三）

次朗作畫

「三公？そんな人はこゝにはゐませんよ」樂屋で衣裳や小道具の整理をしてゐた老人はトン吉にこんな返事をした。

「おかしいなあ、おかしいなあ」

トン吉は呟きながら樂屋を出た。三公が嘘を言つてゐるのかあの老人が嘘を吐いたのか、トン吉は三公が果してこのサーカスの中から出て來るか否かを確めやうと、その附近を散歩しながらサーカスがはねるのを待つてゐた。

公開狀　接骨業島田氏の反省を求む（一）

大連常盤小學校訓導　國東正路

七月二十六日本紙夕刊に「骨接ぎの荒療治で哀れ小學生犠牲となる」の見出の下に私の愛しい教子が悲慘な災厄に罹つた事件が公報されてゐた。事件の内容眞相は紙上所載の通りだが事件に深い交渉を持つ私は私の主觀を公開せねば氣が濟まぬ樣な責任觀が起つてくるので敢て筆を採ることにした、以下は私の日誌の斷片を綜合したもので勿論々説や論説では無い、子を持つ親に一夕の御話ともなり「仁」を以つて立つ醫師併びに其の同職業者に深重な反省を求むるまでゞある。

◇

六月二十五日優君は武田訓導の下に柔道練習中ワザに體力が負けて相手のT君と共に倒れたが運わるく左上膊骨を挫折したT訓導は直ちに優君を附近の接骨醫島田氏方に運んで手當を乞ふた。私は丁度ランニングの指導中であつたが急をきいて島田家に馳つけた時は既に應急の手當も濟んだ後であつた。T訓導の話では優君は成績の優秀なだけあつて。嚴しい治療の時も切齒して我慢したといふ。治療に立會つて蒼くなつてゐるT訓導に引き替へ當の優君は至極平氣で苦痛の樣でも無かつた。其所に優君の兩親が駈つけたが島田氏の言葉や態度が如何にも自信ありげに見えたので一同は愁眉を開いてまづ／＼良かつたと安心をした。此時施した手當が優君の終生を誤るべき恐ろしい結果をもたらさうとは兩親も私共も想像だにしなかつた。

◇

島田氏は接骨技術に於ては可なり評判も良かつたので兩親と相談の上同家に入院して治療することに決めて私等は引き上げた。枕頭に付添ふ優君の父が愛兒の將來の不吉な想像に脅かされては終夜まどろみもしなかつたことは私のその夜の夢と大した相違は無かつたであらう。

◇

翌二十六日私は級の代表者を連れて見舞つた、優君は苦痛の疲勞に深い夢を辿つてゐた。二十七日の夕刻見舞つた時島田氏はレントゲンの寫眞を見せて腕に副木をし繃帶を巻いた……と云へば頗る穩かだが……同氏の患者に對する言語態度は妙に私の胸に不快を與へたのである。

◇

自分の可愛い教子を私は自分の愛を蹂躙された悲痛と優君の體刑的苦痛に頭の痛さを感じた。それはそれでよろしいとして寫眞をよく見ると骨は大きく判然喰ひちがつてゐるのに「之で大丈夫も一接つた」と傲語する不合理な言葉が飲みこめなかつた。それから三四日過ぎて見舞つた時優君の手の甲の部分が赤紫色に腫れ上つてゐるので私は常識的に不安を感じて「永く緊縛し血管を縛れば手先の部分は榮養作用が絶たれて筋肉の繊維が腐るであらう」と島田氏に訊くと「それは誰にも起る症狀で心配はいらない」と島田氏の平然たる態度であつたので私も二の句がつげなかつた。

◇

それから暑い／＼日が續いた。或日患者が八度七分の熱が出たので優君の母は檢溫しようとしたら「何でもない熱である此の熱は手から出るので無い手の毒を吸收するから自然と發熱するのだ放つておけば治る」と島田氏は云つた偉大な天才や技術屋は變人が多い常識ばなれのした島田氏の態度にも偉大な自信のあるものだと諦らめ解らず信服せねばならなかつた私も一人であるが

◇

暴虐と不合理な島田氏の態度に飽きたらぬ樣な優君の母も大事な我が子の身體を任せる主治醫の宣告を、御無理御尤もと拜聽し腫れ物に觸れる樣に從順な態度に出ねばならなかつた優君の母も我が子可愛さから來た已むを得ぬ成行であらうと思つた。私は優君の兩親と等しく不安の中にも始めから島田氏に信賴した信仰を動かす事が出來なかつた。强制された信仰を强制された儘に信じ切らうとした骨肉の痛と師弟の情は今となれば盲昧なものであつた（未完）

實用支那語會話　第五十課

秩父固太郎

1 昨兒隔壁兒鬧賊了
2 聽見狗咬了
3 夜裡甚麼時候兒
4 三點來鐘罷
5 是麼我沒醒
6 我解手兒去了
7 誰都沒理會有賊
8 失了盜了麼
9 賊偸了東西了
10 偸了甚麼東西了
11 說是鐲子和鐲子
12 沒拿錢走麼
13 也許拿了走了
14 賊是怎麼進去的
15 打碎窗戶玻璃了
16 算是小毛賊兒
17 强盜那可了不得
18 報了官了麼
19 當時就報了
20 盼望快拿住罷

一切の凉味を
一箇の中に潜めたる

◎ミツワ石鹼

海水浴後の、鹽氣を洗ひ落し、
登山の汗を清め、キャンプ生活
の朝夕に、溫泉に、湖邊に、林
間に、旅の汽車中に」

◎ミツワ石鹼なくば

その不快如何ばかりぞ。

猛夏一日の活動後も
此石鹼を用ゐて一風呂せば
疲勞と汗と共に流れ去つて
凉風膚に湧來る。

到る所に此國産石鹼あり
到る所に凉味あり

精密な質
工程の、周到から、此の石鹼には分子の列びに無理がない。

適度な溶解
溪川の水にも溶け、湯にも溶過ぎず、要るだけ溶けて、無駄がない

微妙な泡立
大きな泡は刺激が伴ひ易い、泡立の悪い石鹼は除垢が悪い。之は細かに豊かな泡。

緩和な作用
作用が緩和で、膚をあらさずに汚垢を十分に落す。

清爽な用ひ心地
懷かしい思出を誘ふ芳香、毛孔に潜む垢も見逃さず、洗去つた後に石鹼分が殘らず、用後が清爽。

三倍以上の保ち
溶崩れがなく、終りまできれいに用ひきれて、三倍以上保つ。

此の良質の石鹼をよく此の廉價で提供できますのも、大量生産の結果で偏に皆様の御愛用の賜と厚く御禮を申上げます。」

◎ミツワ石鹼不斷の品質向上の爲に、日夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士　小平勳氏
藥學士　河村正鑑氏
農學士　三雲次郎氏
工學士
工學士　野中正夫氏

本舗　東京　◎丸見屋商店

7.33

炎熱の下……玉の汗湧く

五人組支那兵のため邦人斧で慘殺さる
長春領事館警察署から急行
昨朝吉長線九臺で

【長春特電三十日發】吉長線、下九臺居住邦人雜貨商保田要之助方へ卅日朝八時ごろ突如五名連れの支那兵闖入し、保田の内縁の妻安永とめ（二七）を支那式斧を以て頭部胸部を滅多打ちにして逃走した、急報に依り長春領事館警察署より堀内警部補外數名の警官現場へ急行した、原因その他は目下のところ不明で堀内警部補は今夜八時歸來の豫定で被害者は午前九時頃絶命した

『肉彈』の櫻井氏陸軍へおさらば
來月一日の異同期に少將に昇任して優退

十五年間働いて來たのは自分でも意外な位です御覽の通りの身

【東京特電三十日發】名著肉彈によつて世界的軍人文學者として令名ある陸軍の名新聞班長櫻井忠溫氏は八月一日發表の定期異動により少將に進級と共に永い陸軍生活を離れる事となつた、各方面より陸軍のこの名物男の引退は惜まれてゐるが、櫻井氏は周知の如く日露役に旅順攻圍軍に加はり重傷を負ひ九死に一生を得てその實戰記を物にしたもので、その左腕に託して書かれた靈的戰爭文學肉彈は今や世界各國語に翻譯され、忠勇なる日本魂がもつ魅力は世界人の驚異の的となつてゐる、櫻井氏はその後選ばれて新聞班長となり最もうるさいこの重任を鮮かにやつてのけてゐるのである、又同氏は時勢の動きを洞察し「赤城の夕映え」「草にいる」等得意の才筆をもつて脚本又は紀行文に軍事の民衆化につとめてゐる同大佐を市外砧村に訪ねると語る

◇いよ〳〵引退する時が來ましたよ、騎兵のやうな僕が現役で二十五年間働いて來たのは自分でも意外な位です御覽の通りの身體でしてね、あの時受けた十一の彈丸と三ケ所の骨折は今でも時々痛むのです――右手が駄目なので左で物を書いてゐますが肉彈を書いた時などにはロール引の卷紙に毛筆で一寸角の文字を走り書したものでしてね、その原稿も隨分の嵩で家移りの時には大きな風呂桶に詰めて送りました

◇私は元來書家志願で杉浦非水君と同門にゐたこともありましたなほ先年私が歐洲の古戰場を訪問した時にも聞いたことですが、カイゼルが肉彈のドイツ譯を大戰直前全ドイツの聯隊にカイゼルの名において配布したといふことがあつたさうですが肉彈はやはり私に取つて生きた記錄といつていゝでせう、いよ〳〵陸軍を去るとなると人一倍想ひ深いのですがこれまで知合ひにな

七人組馬賊の流彈に邦人斃る
警官隊守備隊出動す

【開原特電三十日發】三十日午後五時頃開原大街四十一番地楊興臣方へ七人連の馬賊闖入し目下歸宅中の次男楊秀張（二〇）を人質として拉去に際し同人母の腕輪二組指輪三個を強奪逃走せるが發砲しつゝ逃走せるため開原大街四八番地辻糀次郎妻が見物に戶外に乘り出したる稀那賊の流彈の爲め右乳上を打たれ即死、辻糀は左手を打たれ負傷した一方賊は滿鐵俱樂部前を迂回し發砲しつゝ石家臺方面へ逃走せるを警官隊追跡交戰中守備隊よりも出動し目下石家臺北方において交戰中なりと

馬賊五名を射殺
人質をも奪回

【開原特電三十日發】馬賊追跡の官隊、守備隊憲兵隊支那公安隊は馬賊と開原河附近において交戰の結果賊五名を射殺し人質を奪回し午後七時半本署に引あげた

遭難者の荷物爭奪
緣者が黑山のやうに集り

つた多くの方々に感謝の情で胸一杯になります

去る廿四日大連東港口附近で沈沒した千鳥丸はその後浮揚と共に西崗子に繋いだが船長榎本文彌は水上署海務局の手によつて取調べられてゐる、しかして千島丸から浮き上つた乘客の荷物中さきに發見された山中省萊州府吳鴻陞（三七）外三名の品と覺しきものを水上署で保管中のところ、卅日午後死者の親戚友人に引渡す事になつたが、水上署に僅かの荷物を得んと黑山の如く緣者が訪れワイ〳〵騷ぎ立て如何にも支那人らしき光景を現出して係官連を失笑せしめてゐたなほその後死體の浮き上つた情報はないが今尚附近一帶搜索中

暑中見舞と中元贈答品激增
東京と反對の現象を示す
大阪郵便局の取扱

【大阪特電三十日發】激甚なる不況の反映として近來東京に於ては暑中見舞の賣行が減少しつゝあるが大阪にては全くこれと反對の暑中見舞は五割增の大激增を示してゐる即ち大阪中央郵便局の調査によれば昨年に比較して五割增といふ小數字を示してゐる、昨年七月二十六日十二萬通二十七日十五萬通同日二十二萬通二十七日十六萬通二十八日は正午までに十九萬通突破といふ勢ひである、また昨年のレコードは七月二十九日の十六萬通で大體平均一日受付十萬通だつたのが今年は約十五、六萬通平均である、同局の觀測では八月に入るともレコードを破りつゞけて日例年のレコードを破りつゞけて二十五萬個までは上るだらうと腕を撫して待ちかまへてゐる、市內各局でも同樣七月一日あたりからほゞ二割增し各地局とも同じ勢ひである、中元贈答品は毎年八月十日前後が一番多いが、六月下旬大阪中央局では平日の取扱數二萬七、八千個が一躍四萬個に飛び上り七月半ばに入つても平素の一割五分の增加を示してゐる、贈答がかく激增するのは不況のドン底に呻いてゐる商人が何とかして捌け口を見出さうとする「悲壯なる投資」とみられ送られる小包の中味は商品切手が一番多い

大商野球團激勵試合
卒業生軍と

全滿中等學校野球大會に優勝の榮冠を獲た大連商業野球部選手は來る一日內地遠征の途に上るが、同校卒業生チームは卅一日午後四時から滿俱球場に於て母校選手と送別野球戰を催し其の行を盛んにする

R百號の位置

【ロンドン廿九日發電通】アール百號のグリニツチ標準時午後八時の位置は北緯五十三度四十分、西經十七度三十分であると航空省より公表された

滿鐵運動會の色別け種目變更
從來より大衆的に
運動會の歌を近く懸賞募集

恒例滿鐵運動會は既報の如く九月二十一日大連運動場に於て擧行されるが、三十日午後一時より社員俱樂部に於て委員會を開催した結果左の如く決議された

▲色別け競技種目變更　從來選手競走と同種目を以て色別け競走を行つて居たが、それは餘りに單純で大衆的でないから、左の九種目を以て色別け競技種目となし、その採點を以て團體競技の勝者を定め、ただし選手競走は從來の競技種目で行ふ

（１）直經六尺のボールを地上にころがす競走（大玉ころがし）（２）三ボールを空中で送る競走（メデシン、ボール）（３）體育ボール（４）觀覽スプーンと提灯競走リレー（５）百足競走（６）盲啞競走（７）二人三脚リレー（８）重荷競走（９）陸上ボート競走

▲選手競走は從來の種目通り、ただし千六百米繼走を千米繼走に變更すること

▲運動會當日滿鐵の歌合唱のこと

▲運動會の歌は懸賞募集する等、（規定及び賞金等は追て發表）

▲假裝行列を盛にすること

訪日フ號の贈呈式
立川飛行場で

日伊親善に大飛行の輝かしい使命を果したロンバルヂー、カンパメリの兩氏はいよ〳〵今二十八日歸國の途につくに當り愛機フイアツト號を日本航空聯盟に寄贈する事となり二十八日午前十時より立川飛行場で各關係者出席贈呈式を行つた【寫眞は右よりロンバルヂー氏、カンパメリ氏、來賓小泉遞相】

接骨業の島田つひに告發さる
司法係りでは重大視
結局公判に附さるか

常盤小學校第五年生横田偶（一二）の接骨治療に失敗した西公園町二五接骨業島田清次（四七）は遂に廿九日大連署衞生係より告發され一件書類は司法の手に移されたが、司法係でも大體において衞生係と略意見を同一にはしてゐるが一層重大視して刑法上の過失傷害罪に問ふ可く、刑法二百十一條業務上必要なる注意を怠りよつて人を死傷し致したる者は三年以下の禁錮または千圓以下の罰金に處す

あすの國際反戰デーに一大總罷業の掛聲
極左全國勞働協議會の行動に
警視廳の神經尖る

【東京特電三十日發】國際共產黨が第一モツトーとする帝國主義戰爭反對運動は來る八月一日の第二回國際反戰デーを期し最者の示威に出でんとしてをり、我國極左傾內の全國勞働協議會、その他ビラに機關紙にあらゆる方法を盡して產業合理化、恐慌、不景氣深刻、勞働爭議頻發などの折柄一大總罷業の掛聲を一にし反戰デー記念の爲め一つの組織的計畫にまで進んで居るが、之を不穩と認め重視する警視廳は、東京憲兵隊とも連絡して昨今專ら關係團體を監視して豫備的警戒に努めて居る、たまたま去月十五日以後モスコーに開催されたプロフインタン（赤色國際勞働聯合）第六回大會には前記協議會などの極左方面から選ばれた七名の日本代表が潜行入露して居ること先月末判明、最近その人名が判然すると共に潜出入露の經過と日を突き留た警視廳高等課は異常な緊張を示して是等の對策に腐心し差當り八月一日の警戒に力を盡して居る

俄然人氣を博し珍しい大入
日本大相撲三日目

大相撲の第三日目は久し振りの快晴と連日の好取組とで俄然人氣を呼び正午を過ぐる頃にはすでに各等とも滿員の盛況、正面棧敷には田中市長を取りまき宮崎、仙波、笠原氏等市議連の總見、東棧敷には玉錦、若瀨川、幡瀨川の各後援會員が約七百名ばかり手に手に小旗を振り裏棧敷には沖ツ海の後援會が約三百名ばかり揃ひの團扇で聲援を與へ大嶽三田尻の美形連がそへ、二十名ばかりの外國人が相も變らずの黃色つぽい聲で景氣をそへ、幕下力士の人氣の中心たる國見山も珍しく見物し白扇の波がゆらぐ、人決勝は二日目の優勝者柳關と巨漢大入洲が殘つたが柳關すくひ投げの一手見事きまつて勝ち又人氣力士の沖ツ海朝光を見事下手投げを食はして勝ち沖ツ海蕪初日以來の溜飲を下げ嘯月のおかみがわが事の樣によろこぶ御好み相撲も例の如く數番總べ人氣を呼ぶ、四日目は大半滿鐵部總裁の來場とある

沖ツ海（下手投げ）朝光　鐵砲でしばし沖ツ相四つで朝苦戰朝小手投げで一擧に沖ツを葬らんとしたが沖ツこゝぞとばかり逆に下手投げで朝に勝つ後援會熱狂す

中入

池田川（寄り出し）太郎山　若瀨川（押し切り）吉野山　若立つや左差しで敵を壓し土俵際まで押し寄つたが吉野頑張つてこらへ一時苦戰と見へたが得意の押切りで吉野を倒す

雷の峰（打ちやり）大蛇山　兩者自重してなかなか立たず後雷の聲で立ちしばし激しくつき合ひ大蛇左差し後手をかへて二本差しとなり雷上手投げをかけんとせしも大蛇もさるもの土俵の眞中でしばし、大蛇まわしとけ、しめなほしの後大蛇寄つたが雷堪へ大蛇まわしをとらんとせしも雷とらさず千變萬化遂に大相撲となり水入る、後雷西土俵際まで押し切られたが敵の力を利用して見事うつちやる

錦　洋（上手投げ）寶　川　錦右差しの後中央で仁王立ち寶押し寄るところを錦上手投げで勝つ

劍　岳（寄り切り）若　葉　山

玉　錦（上手投げ）朝　潮　本日の好取組合で場內熱狂すきり二回後朝蹶をかけたが玉自重たず後氣合あつて立つや玉右四つあつけなく巨漢朝を上手投げで勝つ

豐　國（小手投げ）幡　瀨　川　大物食ひの幡瀨も人氣力士の豐國との對戰しきりなほし三回幡瀨素早く蹶をかけて立つたが豐立たず、相氣合あつて立つや猛烈な鐵砲で攻め合ひ後幡瀨左をさしたて一時豐あやふく見えたが強引な下手投げで相撲巧者の幡瀨を破る

宮　城　山（上手投げ）眞　鶴　眞鶴立つたが宮城輕く受けながして立たずしきりなほすこと四回突き合ひの後相四つとなつたが後兩者離れて仁王立ちしばし中央でにらみ合ひ相四つとなるや宮城上手投げを食はして勝つ、打ち出し七時四十五分

四日目の後援會

▲豐國後援會　二百五十名
▲朝潮後援會　三百名
▲高知出身力士後援會　二百名
▲海光山後援會　二百名

手拭一本で
子供の綴方え知らずやエプロンなど色々作れる新方法が婦人俱樂部八月號に掲載され至る處重寶がられてゐる。

とて協會側大よろこび、重なる取組左の如し

勝　負

潮ケ濱（寄り出し）東　潟
つき合ひの後東土俵際まで押しよつたが潮に押しかへされしばし土俵中央。潮手をかへて二本差しとなりそのまゝ寄り出す

高　浪（下手投げ）晴　の　海
晴急いで立ちしも高自重して立たずしきり直し四回高立つや二本差して優勢、西土俵際でしばし鏡合つたが下手投げの一手で極まる

寄附を強要し酒色に溺れる

原籍埼玉縣大里郡久下村當時住所不定無職雪淚こと島村與（五七）は去る五月以來皇室中心主義のパンフレツト「警醒」と題する出版物を發行すると稱し三室町二水島欣十郎ほか六十三名から百六十四圓五十錢の寄附を得全部自己の生活並に酒色のため消費したほか市中各方面を歷訪し出版物に藉口して金錢の無心を爲し二十八日若狹町滿洲消防新聞社宇野治八かたへ立廻つた處を大連署岸高等特務に逮捕され拘留取調中であるに依つて取調を進める模樣であり從つて公判に附せらる可く附帶私訴も提起されるやの狀勢にある

排日宣傳文
配布對策講究

【奉天特電三十日發】遼寧國民外交協會では「田中內閣上奏」の極端なる排日宣傳文を發行し各方面に配布したので總領事館では支那側當局に對し嚴重抗議をなすと共に配布を禁止せしめたしかしその後同協會では官憲の目を盜みこれまで數百通に亘る排日文を發送してゐることが判明したので我當局においてもこれが對策につき考究する筈

大阪大連線で通信開始さる

長崎大連間海底電信線は改修の爲一時不通となつたので通信では右工事期間中日滿間電報の遲延を慮り內地及朝鮮側と協議の上臨時大阪大連線を構成し今朝七時から通信を開始した

詐欺の囮で犬が迷惑
不景氣が生んだ悲喜劇一幕

【東京特電三十日發】不景氣が生む新手詐欺の一つ、東京府下のある屋敷で飼つてある小犬を追ひかけて來た勞働者風の男、手にボロ〳〵の風呂敷と空の辨當箱をもつて息せき切つて居る家人が「どうした」と聞くとその男「この先の電柱を工事中お宅の犬が辨當を喰ひ荒され、おまけに風呂敷までこの通り」ととても困つた樣な顏をする、犬に眞情を聞き出すわけにもいかず仕方ないので若干の金と風呂敷を與へて歸したところが後になつて聞くと幾軒もその手で詐欺にひつかゝつて居る事判明

戰鬪機墜落
操縱者は奇蹟的に助かつた

【八日市三十日發電通】八日市飛行第三聯隊は明卅一日から一週間明野ケ原で吹流的空中實彈射擊演習を行ふため參加機十五機は卅日午前八時八日市から明野ケ原迄空中輸送を行ふ途中田少尉操縱の戰鬪機は鈴鹿山麓上空で故障を生じ墜落機體は大杉に引掛り大破したが少尉は奇蹟的に無事なるを得た

汐見博士講演

滿鐵社會施設係りでは目下研究のため來滿中の財政學の權威者經濟學博士汐見三郎氏を聘し八月一日午後三時半から社員俱樂部第二集會室に於て講演を乞ひ演題は日本の財政で一般の來聽をのぞむと

山本教諭

大連伏見臺公學堂教諭山本保氏は腸チブスに罹り二十九日午前一時死去した、葬儀は滿中行列を廢し三十一日午後三時半東本願寺に於て執行すると

渡邊琥珀堂

撫順驛前に於て琥珀石炭細工の卸商を營む渡邊琥珀堂では今回連鎖商店街本町通りに支店を開設、去る廿七日開店した、滿洲の鄕土色を現はした恰好の土產品として喜こばれて居る

理髮

東京にて多年實驗を積みたる手腕家理髮師を今回數名招聘し御客樣各位の御希望に添ふ樣致します
尚理髮師は御客樣の御望みに從ひまして御指命下されば同人に勤めさせます
理髮及び顏剃の御手數のかゝる御方を特に御待ち致します

大山通正隆銀行前
衞生軒
電二一三三七

海の唄

「八」

仲木貞一作　一木寧画

白河の里（三）

訪ねて來た女は、大阪堂島の島木屋といふ家の娘だつた。名を京子と稱つた。

秋月和雄——今、訪ねて來た此家の息子とは、幼友達であり、深い懇仲である。

「和雄のたよりなら私等より貴女の方が、よう知つとゐやすと、思ふてましたが、ぢや貴女の處へもか……」

和雄の母親は、半信半疑といふやうな顏付に、京子の方を見た。

「はあ、私の處へも……ちよつともたよりがないさかい……然うして出られるピンではないんですけど……和雄さんの、今、お出になる處だけ報せて欲しいと思つて……」

と、云つたが、京子は、ふと氣付いたやうに立ち上つて、上り框の處に置いてあつた風呂敷包を持つて來た。

「あの、私忘れてきましたの、態んなもの……」

それは、ずら〱として東京で云つたが、風呂敷の中から丸い鑵入りの昆布菓子や、洒落れた竹籠の鰻瀧鮓の見事なのを、そこに並べながら

「おぢさんのお口には何うかと思ひましたけど、……これはおばさんのおふだんにでも……」

も一つ、そこに差し出したのは大阪の三越のかけ紙した、半襟らしい體。

「まあ、京ちやん、そない何かお具れやして困つて了ひまんがな」

母親は、然う云つて、人の好ささうな笑ひを見せながら、品々を一つ〱戴いて、自分の方に引き寄せた。

襖の向ふでは、をり〱忍ぶやうな咳をしては、寢返りでも打つやうな氣配がした。

「おぢさんの御病氣は……？」

京子は、だん〱落ちついて來た容子で、其處に出された冷たい麥茶を啜りながら訊く

「なアに、……矢張り耐要も思ふやうになりまへんしな。そないなことで、辛氣臭い云ふてな。えらう難いことはおまへん……まあ、今夜は京子さんも悠然してゆきなはれや」

と云つて、母親は起ち上ると、今買つた品々を、大事さうに持ち上げて、ぴしやりと閉めきられた襖を、やう〱身體が通れるだけに開いて、其方に這入つて行つた。

京子は、ちらとその方を見たが、また飽ぬ風に背を向けるやうにして、指輪のきらつく細い手を長火鉢の上にかざしてゐた。

其方では、何か小さな聲でボソ〱と、話し合つてゐるのが聞えて來たが、やがて、

「うむ、解つた……大事ないがな……」

と云ふ叔父の聲がすると、直に母親は引返して來た。

「京子さん、何がお好きどす？……何か貴女のえいものをお振舞ひしまへさ」

と、京子は、ちよつと火鉢から離れる

「まあ、そないなことを……私がこれからお炊事をしてなア……」

然う云つて、母親は甲斐々々しさうに、黒い毛襦子の襷をかけると卸土の臺所の方へ下りていつた

外は何時か薄暗く暮れてゐた。

京子は頭の上の電燈が點くと、その薄暗い光をぼんやり眺めてゐたが、ふと、さびしい何やらもの思はしさうな顏つきをして起ち上つた。

新刊紹介

▲トルストイ全集（十卷）米川正雄、中村白葉共譯）本卷は彼の作品の後期中短篇物ですべて宗教的轉回後に書かれたものが集錄されてゐる、從つて全編の諸作が道德的敎化的意義を第一目的とし純な人生觀照と再現は少なく共表面上影を潛め、いかに生くべきかといふ人生第一の問題に對して何らかの意味で暗示なり解答なりを與へてゐる、しかもこれ等の作品は兎角こうした作品が陷り勝である概念的な道學臭に充ちた無味乾燥なものでなく、讀者は高い藝術的感興をもつて描かれた作の世界に己れ自身を引き込まれ作者の欲する理想的目標へ知らず知らずに導かれて行くのは流石に文豪杜翁であると、しみ〲と感じさせられる、本著には「アンナ、カレーニナ」完成後十年間の沈默を破つて宗教的に甦生した杜翁が死を主題とした小說を公にし當時の文壇社會に大センセイションを起した「イワン・イリツチの死」或ひはベートーフエンに作曲され、男女關係、結婚問題、性慾問題を根本的に批評し、殺人者の心理を明快に說いた名作「クロイツエル・ソナタ」又は彼の代表的宗敎觀「光りあるうちに光の中を歩め」等中短篇物總て二十一篇を集めてゐる（七百六十三頁豫約本東京神田一ツ橋通町岩波書店發行）

▲婦人倶樂部（八月號）口繪グラフは關東關西美人くらべ等、小說は「姉妹」（菊池寛）等、其他の讀物では「姙婦の衛生と安産心得」「食慾をすゝめる榮養病人料理」「よい子を儲ける座談會」等々例によつて豐澤山四百五十四頁の大册（定價五十錢東京本郷駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）▲警世（七月號）（定價四十錢大阪天王寺堂ケ芝町其社發行）▲電氣之友（七百卅五號）（定價四十錢東京京橋銀座八其社發行）▲大阪パツク（十四號）（定價二十錢大阪東區備堀二其社發行）▲書の光（一號）定價十二錢東京麻布本村町書壇社發行▲法律時報（百十三號）定價四十錢大連西公園町大内成美發行人▲少女畫報（八月號）「スポーツグラフ」「寶塚カゲキアルバム」「變の新珠」（三木貢澄）漫畫、「生ける畫像」（富田常雄）涼しい接待法（中野正治）を始め特選少女小說、通俗小說等々何れも夏向き暑中休み向きの美くしい編輯である（定價五十錢東京京橋區疊町東京社發行）▲祖國（八月號）アメリカ主義克服池崎忠孝他七氏）戰爭の哲學（北昤吉）等（定價五十錢東京市外千駄ヶ谷學苑社發行）▲水甕（十月號）定價廿錢大阪住吉區濱口町其社發行▲願ひ（七月號）錦扇の一對に女波男波かな（鳥不關）等（定價四十一錢）京市外大崎谷山同書房發行）

滿洲俳壇　募集規定

次回課題「早」「籐椅子」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各紙に雅號姓名記載のこと▲締切七月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

懸賞詰聯珠發表（二）

題名「青簾」　上木三山調

本案も前案と略ぼ同一であるが、（十七）の伸び方が違つてゐる。之は素敵な良策ではあるが黑（十五）後（十七）なる時に於て白（十六）を一先づ「い」に防ぐ手を何故考慮の中に入れなかつたであらうと思ふ。即ち「い」に伸びる事に依つて黑は尙ほ多珠を要するのである、此點を考慮したのが唯一通あつた——が後の珠順に尙ほ調べが不足してゐた。以下正解案と照合玩味されたい。

夕刊 滿洲日報 七月三十日

長沙の日本領事館も遂に共匪に燒拂はる

全くその跡形を止めず

わが砲艦小鷹危險を冒し偵察

【上海特電卅日發】長沙を占領した共產黨軍は入城と同時に掠奪放火を擅にして居るがわが豆砲艦小鷹が昨朝危險を冒して視察に赴いた結果、市內目拔の場所は燒拂はれ我領事館も放火によつて跡形も無く燒失して居り漸次黑煙に包まれて人影も無きことが確められた

長沙占領の共匪軍 勞農政府を樹立

各種施政要綱を發布

【漢口廿九日發電通】長沙に入城した彭德懷等の共產軍領袖は昨夜宣言を發し長沙にソウエート共產政府樹立を布告し直に政府組織に着手し左の如き長文の共產政府組織施政要綱を發布した

一、紅軍第五軍農工革命委員會主席彭德懷、常務委員鄧乾元、李焯・何長功等を以てソウエート政府を組織す
二、帝國主義的一切の財產を沒收す
三、各大企業銀行交通機關を接收し共產政治機關とす
四、友邦露國と提携す
五、農工階級を開放す
六、蔣介石、閻錫山等の軍閥を打倒す
七、不平等條約取消
八、租界を回收す
九、全國の物價を政府の力で引下ける、その他

支那に共產政府が樹立されたのは一九二七年に倒れた武漢政府以來のことでこれが成功せば南北兩政府と三ッ巴の形となるべく中央軍の手薄に乘じ暴風の如く湖南、江西を赤化した彼等今後の行動は極めて注目に値する

共匪に放火掠奪された長沙

張學良氏の身代り擁立

北方政府を組織

【北平廿九日發電通】擴大會議委員側消息によれば張學良氏は暫時北方政府に參加せざることを表示した、このため北方側の受くる打擊は相當大なるべく八月七日の正式會議までに辦法を講じ張學良氏の身代りを立てゝ飽くまで政府組織の既定方針に邁進するに決したと

韓軍青州放棄

【青島二十九日發電通】山西軍に退路を衝かれ三方から包圍された韓軍は遂に昨夜淄河、青州の前線を放棄し第一線を昌樂に、第二線を濰縣に、總司令部を高密に移したが總司令部の在る鐵甲車北平號は今朝に至り更に膠州に退いた、山西軍の濰縣入城は一兩日中ならん

安保大將京城着

【京城二十九日發電通】軍縮會議に對する軍部代表顧問としてロンドンに派遣され引續き高松宮殿下の御附として暫くロンドンに居殘りその役目を終へた安保淸種大將は七月十四日パリー發一路シベリア經由八ケ月ぶりの歸朝の途廿九日午後八時五十分京城驛着列車で入城、兒玉政務總監、森岡警務局長等の出迎へを受けて天眞樓に旅裝を解いたが三十日は滯在、卅一日午前十時發一路歸京の筈

倫敦條約案可決

きのふ英上院にて

【ロンドン二十九日發電通】本日イギリス上院は政府提出のロンドン條約案を可決した

マ首相辭職誘致運動

勞働黨內に擡頭

【ロンドン三十日發電通】勞働黨內にマクドナルド首相、スノーデン藏相の辭職を來さしめんとする運動が起つてゐると噂されてゐる右運動の目的は兩巨頭を辭職せしめて失業救濟策の徹底を期せんとするにあり若しマクドナルド首相にして辭任せば後繼首相候補は現外務大臣ヘンダーソン氏が確定性を持つてゐるといはれてゐる

保守黨優勢

カナダ選擧戰

【モントリオール(カナダ)二十八日發電通】目下當地に行はれつゝある總選擧戰の形勢によれば議席總數二百四十五の內保守黨に於ても百二十五の議席を獲得するに至るであらうと見られてゐる、因に一九二六年九月に行はれた前回の總選擧の結果一般の豫期に反して保守黨は議席總數二百四十五の內僅に九十一を得たるに過ぎず自由黨は百十八を獲得して大勝し爲めに保守黨內閣は辭職し次いで自由黨首領マッケンジー、キングに出馬して自由黨內閣を組織今日に及べるものである

けふ着任した十河新滿鐵理事

韓氏遂に下野通電

山西軍に追ひ詰められ

【青島二十九日發電通】全軍總崩れとなつて退却した韓復榘軍は武器彈藥糧食の缺乏と暑熱のため全く戰意なく急速に退却を續けてゐるが、全軍は一路高密附近に集結する模樣である、しかし山西軍は淄浦線方面との連絡のため深く追擊せぬらしいから膠濟沿線の在留邦人は幸ひ戰火の洗禮を免れる模樣である、韓復榘氏は青島近くまで追ひ詰められ中央よりの應援も當てなき有樣で山西軍に追ひ詰められ膠州に退いた韓復榘氏は進退谷まり遂に昨夜下野の通電を發したこと判明した

東方文化事業の施設拒絕を命令

南京政府から奉天に

【奉天特電三十日發】わが東方文化事業委員會の事業を對支文化侵略と曲解して阻止的態度に出でゝゐる南京政府は今回東北各省政府に對し **東方文化事業の施設及び補助を拒否すべし**と命令した、同委員會は東北においては未だ何等の施設を爲してゐず單に東北各省の留日學生の學費を補助してゐるに過ぎないが東北政權が國民政府の命令に從ひ果して **留學生補助費を拒絕するか**否か注目されてゐる

走馬燈

滿鐵(其十七)

荻川

革命露國は、どうも外に向つては友好を缺く、とりわけ支那に對しては、外蒙古を奪つた、尤も露國からすれば、是れ外蒙の支那に飯き、露國に靡きたるものにして、何も奪つたなんかの汚名を被ぶされる筋でないと云ふのであるが、それは辯疏に過ぎず、革命露國の企圖する、世界の共產化は、其處にありくと、革命露國政府の人によつて營まれ、今は外蒙も、其手に乘つた苦さに惱みつゝありと傳へらるゝではないか。

◇

亦革命露國は支那を共產化するに腐心し、一時は其成功を、今の南京政府、其前身たる廣東政府に收めて、危ぶなくも南支一帶が赤色に染まらんとしたのである、併し蔣介石在り、廣東政府を南京政府に改めて、漸く其害毒から脫れしものゝ、其餘燼は尙支那全國に瀰漫して、匪者南北抗爭のことあるや、湖南地方は直に之が災禍を蒙り、斯る事態の發生は、依然として革命露國が、魔の手をそこに延ばしあるなりと噂さる。

◇

されど露國からすれば、廣東のこと、亦縦し目下のことが假なりとも、并は恐らく第三インタアナショナルの所爲にして、革命露國の關知するところにあらずとせん、而も第三インタアナショナルが、乃ち革命露國政府なりとの事實は、其申譯の立つべきでない、だが斯る革命露國も、日本に對し全く横着なしとは云はぬが、案外に大人しきは何ぞや、支那と違つて、日本はそこに正々堂々の陣を張つて德らざればなり、こゝに到ると支那は求めて乘ぜらるゝ如き傾向なきにあらず。

◇

之を最近に徵するも、北滿東支鐵を中心として相互の爭鬪などがそれで、而も此爭鬪に、露國が爲し得るに拘らず、容易に積極行動を敢てせざりしは、北滿に續く南滿に、日本の權益あるを知つて、之を尊重せしが故ならずや、正々堂々なるかな、之の前に敵はなし、外交に於て然り、經濟關係に於ても同じことそれで滿鐵も、南滿を出でて北滿に進み、更に露國にも入るべし、そうして其處で現在以上に相互の融和を求め、此融和を支那にも及ぼすべし、こゝで云ふ東支鐵は今や露國の侵略鐵道ではない。

電信電話民營案

資產評價等の調査捗どらず

來議會に提出は困難

【東京三十日發電通】小泉遞相の提唱せる四大政策中、電話事業半官半民會社案は電信事業と共に研究する事となり遞信省內に電信電話調査會を設置して經理、工務、業務三局の關係者連日調査を進めてゐるが現在までの處では調査の基礎方式が成つた位で資產の評價收支の狀態等に關する詳細なる計數は未だ何等の決定を見ない有樣である從つて來月上旬開催さるべき明年度豫算省議には勿論中野政務次官が當初言明せる如く八月一杯に調査を完了するが如き事は到底不可能で專門家の間では來議會に間に合はす事も絕對に困難と見る向きが多い依つて同調査會は明年度豫算とは別個の問題として飽く迄も調査を續行し若し來議會に提案する事を得るとなれば改めて追加豫算として計上する意嚮である

伊震災復興費

一億リラ支出

【ローマ二十九日發電通】イタリー內閣は今二十九日閣議の結果震災地方復興費として一億リラ(約四千萬圓)を支出する事を可決した

『充分な仕事、充分な給與』之が俺の方針ぢや

減收は滿鐵社員を強くするよ

西下車中にて 仙石總裁語る

【京都特電三十日發】二十九日午前十一時四十七分、東京驛發身御殿場に西園寺老公を訪問した仙石滿鐵總裁は歸任挨拶その他約一時間に亘り懇話したる後、同地より箱根にドライヴを試み午後七時ごろ箱根より國府津に來り國津館に少憩せる後、同十時五十六分國府津驛發神戸行急行にて鐵島秘書役夫妻、給仕などと一緒になり西下したが三十日朝、朝食を終へくつろいでその日の新聞を讀みつゝある總裁に刺を通ずると快よく自席に引見して窓外に展開する靜かな琵琶湖の朝景色に眼をやりながら漫談的に左の如き談話を試みた

條約問題は新聞で見るとナカナカ喧しいことをいつてゐるやうだなア、もうワシは現役ではないからそんな問題にタッチしたくない、然し海軍の人々のいふことはどうもワシには判らぬ、

兵力量の 缺陷といふことが一番喧しく、條約批准の難關だといはれてゐるが、一體今度の會議は軍備縮小會議であつたのなら兵力量の缺陷といふことは何も日本のみに限つた問題でもなく、結果において從來の兵力量の縮小となつてゐることは理の當然だ、それに反對だつたらはじめから會議をやらなければよかつたのだ、會議も終り既に條約を批准しやうといふ頃になつて今更こんな問題を喧ましく論議するなんて凡そ天下にこれより愚なることはない、國防といへば軍艦と軍人だけのやうに考へ、時勢の推移を知らざる軍人にも困つたものだ、傍系會社の整理は歸つて見ないと全く見當がつかぬ、調査の

結果如何 によつては大にやるかも知れぬ、諸給與規定の改正、人事の採用方針などもさうぢや、たゞ漫然と滿鐵社員の給與が良過ぎるといふやうな論は問題にならぬ、エナフ・ワーク、エナフ・ペー(充分な仕事充分な給與)だ、人の採用方針も能力の低い人間を幾ら入れても駄目ぢや、働ける人物を集める、これが眼目ぢや、七月二十二日現在で五百萬圓からの減收だといふのか、少しは藥になつてよからう、苦勞する程賢しこくなり強くなるものぢやよ、滿鐵には今迄それが無さ過ぎたよ多獅島の築港に關してどんな點が問題になつてゐるかそれはいはれぬ、來月專門家が來て實地踏査すると少しは具體的なことが判るやうになると思ふ

今後野武士的に無限軌道を進む

之から滿洲研究を始める

十河滿鐵新理事語る

仙石總裁のおめがねに叶つて「是非に」と所望された滿鐵新理事十河信二氏は卅日入港はるびん丸で白の背廣で灑落な野武士らしい姿を見せた、昭和製鋼所問題で上京中であつた州內設置委員小澤氏、滿鐵より社用を帶び上京中であつた渉外課長山崎元幹氏等と甲板上で種々談笑を交はしてゐたが記者團の包圍を受けボツリくと話し出す

大連にはこの二月ブラリと來て奉天迄行きついでに上海まで足を延ばしたよ、その時分既に仙石總裁と話が出來てゐたかつて?無いそんな噂も無かつた全くの浪々の際つぶしに來たのさ、今度は當分一人さ、家族は落ついてからの事だ、僕の

理事說は 仙石さんから直接あつたものでその折僕は「僕なんか理事の柄ぢやないから出來ない、それに商賣をする材ぢやないから」と一應斷つたんだが總裁が例の調子で「何、難しい事なんかあるものか、商賣なんてものは少し勇氣があれば何でもないさ」とそれに先輩友人が是非にと勸めたので一番買つて出たまでだ、僕のする仕事や分擔事務なんかについては何も聞いてゐない、何れ總裁が歸つてから相談があるだらう、元來僕は鐵道に十八年も關係したもので

無軌道に 有軌道を生み出す仕事をしてみたものだが、一飾まで無限軌道から彈き出されてしまつた譯である、從つて僕としては無限軌道を進むつもりでゐるのだが今更軌道に還るのは餘り快しと思はないのだが、來た以上やり通すさ、滿洲に對して何か知識でもあると又話にもなるんだが滿洲になぞ來るつもりでなかつたから餘り研究してないよ、まあ皆さんに教へて貰ふんだね、一體何をしたら好いだらう?、滿鐵はこの際何をすべきか?これは寧ろ僕の方から皆に質問するよ、とにかく浪人もので野武士氣質で

野放圖な 僕の言だから諸君によく指導して貰はなければならないさ、內地の不景氣は恐ろしい位だ、この儘では何か大きな事件が突發しないとも限るまいね

傳へ聞くところによると氏は大正十年に昭和木材防腐會社が新形式で設立されたがこれが發起人として氏の事務手腕に期待されてゐるが右につき 僕の友人で第一回の勞働會議に勞働代表として出席した堂前、大島なんていふ連中が何か仕事をしたいといふのでかねて防腐事業に經驗があるところから資金十萬圓五千株の株式會社を組織したので僕も一株の株主になりこの會社の創立に力を藉しただけに過ぎないのだ、二重人格者のやうなことをいふが自分はこれから仕事をして行く上に安く取つて高く掬く主義で進んだらどんなものかと思ふ

十河新理事挨拶

十河滿鐵新理事は卅日午前十時滿鐵本社に到り大平副總裁に着任挨拶をなして後理事室にて大藏理事の紹介で藤根理事その他と顔合せを行ひ次いで大藏理事の案內で社內各部に挨拶廻りした

期待に反し殘念

更に猛運動を起さう

製鋼所運動委員の歸來談

「皆樣の期待通り運ばなかつたのが殘念です、また全然絕望じやありませんが……」上京の時の華々しさに引かへ卅日入港はるびん丸で昭和製鋼所上京陳情委員小澤太兵衛氏が悄然と歸つて來た、敗軍の將兵を語らずで刺を通ずると

「自分達としてはかねての計畫通り着々運動を進めたんだがイザといふところで新義州說が有力になつたので何といつても閣議が巧くいかねば困りますからね大藏關係が巧く行かないので隨分焦燥を感じた、だが結局、專門家に多獅島を再調査させるといふ事になつたのです、何れ歸つてから今日午後市役所で經過報告をするつもりですが、まだ決定した事ではないが今一度猛運動を起さずばなりますまい

トルコ軍隊

國境に出動す

【アンゴラ廿九日發電通】トルコ政府は曩にペルシヤ政府に對しペルシヤのクルド族の叛亂がトルコ國內に侵入することについて嚴重な抗議の文書を發つたが、右抗議を實力を以て支持するため目下國境方面に約五萬の軍隊と百臺の飛行機を出動せしめてゐる

二上翰長報告

【東京三十日發電通】連日開會中の樞府におけるロンドン條約下調べ會議は兩三日中に終了の豫定であるが、二上書記官長は三十日午後平沼副議長の避暑地一宮より歸京するを待ち訪問した、審査の經過を報告するはず

仙石滿鐵總裁

けふ神戸出發

【神戸三十日發電通】歸任の途中御殿場に西園寺公を訪ひ挨拶を終へた仙石滿鐵總裁は三十日午前九時大阪通過正午神戸驛着ウラル丸で村上新理事同伴歸任した

人事

▲津村雅量氏(本派本願寺支那開敎總長)哈爾賓へ出張中のところ二十九日夜急行にて歸任
▲岩本海量氏(同支那開敎々務所要事) 同上
▲遠山正導氏(同特派布敎使)八月一日より關東別院に開催の曉超修養會講師として三十日はるびん丸にて來連
▲十河信二氏(滿鐵理事) 卅日入港のはるびん丸にて着連
▲山崎元幹氏(滿鐵渉外課長) 同
▲隅積哲三氏(滿鐵參事) 同上歸連
▲枝松靜氏(大日本製氷重役) 同上來連
▲金谷鑑一氏(海軍主計大佐) 同上
▲丘襄一氏 同上歸連
▲小澤太兵衛氏 同上
▲チエルナブスキー氏(東京駐在ソ聯邦商務官)今回本國よりの招電に接し卅日入港はるびん丸で來連

大觀小觀

山東へ遁竄の韓復榘、いよく窮し、最後の手段として下野を發表す。

◇

支那に下野といふことあり。昔は惡事を犯して佛門に駈け込むやうな恰好。

◇

下野で一切の前惡罪障が帳消し除されるとなれば、これほど結構なこともなく、たゞ「野」の如何なるものなるかゞ問題。

◇

江西、湖南の共產土匪、ロシアの第三インターと特別な連絡あり省城南昌に占據す。

◇

江南の地、長髮賊の殷鑑もあり、早きに摘まずんば、後世、臍を噬むも及ばざらん。

天氣豫報

卅一日(南西の風)晴時々曇り

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二六、九	二五、六
旅順	二七、三	二六、七
營口	三〇、〇	三五、〇
奉天	二八、六	三一、六
長春	二八、五	二八、二

	午前	午後
滿潮	一時卅五分	二時卅五分
干潮	七時五十五分	八時卅五分

ベンゾイリン密輸事件 本日豫審終決す
白川友一と川合又一の兩名は愈よ公判に附さる

ベンゾイリン密輸事件は大連地方法院川畑豫審判官の手により嚴重取調中一部の被告は既に豫審終結決定せしも昭和三年六月二日以降前後十四回に亘りベンゾイリン二千四百キロ及びヘロイン六百キロ價格合計金九十九萬圓の密輸に成功した首魁元代議士白川友一一派に係る事件は前記の分と分離し川畑豫審判官が殆ど寢食を忘れて愼重に取調中の處漸く今回豫審の終結決定を見、三十日午後二時公判に附せられた、その豫審終結決定書の内容に暴露された彼等の密輸手段方法は左の通りである

豫審決定書

決定

本籍香川縣中多度郡南村大字柞原三七六
住所香川縣丸龜市六番町
下津井鐵道株式會社々長
白川友一　當五十八年

本籍石川縣能美郡苗代村字三谷イ一七番地
住居大連市八幡町二番地
元關東廳事務官
川合又一　當三十五年

右被告人白川友一に對する麻醉劑取締規則違反及贈賄被告人川合又一に對する收賄被告事件に付豫審を遂げ決定すること左の如し

主文

本件を關東廳地方法院の公判に付す

理由

第一、被告人白川友一は犯意繼續して

一、被告人は關東州に於て昭和二年九月二十八日麻醉劑取締規則發布同年十月一日より施行せられ爾來モルヒネ、コカインその他類誘導體等の輸入は一般に禁止せらるゝに至るも同規則附則第三項に依れば本令公布前買附契約を爲したることの證あるモルヒネ、コカインを除く麻醉劑にして本令施行の際現に輸送の途にあるものは第三條所定の關東長官の許可を受け居らざるに拘らず之を輸入することを得る旨の規定あるより小松茂等が昭和三年三、四月頃前記附則第三項を利用して盛にベンゾイリンを輸入しつゝある事實を見聞するや河村統治及川上虎雄と共謀の上小松茂等と同一方法に依りベンゾイリン及びコカインを輸入せんことを企て偶々川上虎雄の手許に該規則公布前ドイツ漢堡ヘツジユ、ヒンリクゼン商會より來りたる右物品の價格等に關する照會返電ありたるを奇貨とし被告人友一は之を以て先づ關東廳の諒解を得んと欲し之を携へてその頃數回に亘り當時の關東長官木下謙次郎警務局長久保豐四郎衞生課長川合又一同課勤務技師黒井忠一及同課勤務技手近森監助等を訪問し之を示して恰も該電報は前記規則公布前既に該物品を買付け且つ輸送の途にありたるものゝ如く申向け金策並に關係者に交渉の必要ありと懇談して遂に警務局長名義を以て同規則施行前右麻醉劑が製造會社より發送せられたる事實を證明するに足るべき證據あるものはその輸入差支へなきものなる旨の公文書の交付を受け之れを携へて昭和三年五月上旬獨逸に赴き右ヒンリクゼン商會と交渉の結果同商會よりベンゾイリン二千四百キロおよへロイン六百キロを買付け且つ該ベンゾイリン及ヘロインは前記規則施行前既に瑞西のロツシユ會社より買付け漢堡の右ヒンリクゼン商會迄輸送せしものゝ如く事實を虚構して獨り公證人にその旨を公證せしめ之に漢堡駐在帝國領事をして奧書を爲さしめて之を關東廳に送附提出して同廳をして右ベンゾイリン及コカインが前記規則施行の際既に買付け且つ輸送の途にありしものと誤信せしめて輸入の諒解を得たる上右ヒンリクゼン商會をして昭和三年六月二日以降前後十四回に亘りベンゾイリン二千四百キロ及ヘロイン六百キロ價格合計約金九十九萬圓相當のものを小包郵便に付して大連市川上虎雄宛に發送せしめ同年七月二十二日より同年十二月十八日迄の間前後十四回に亘り大連郵便局に到達せしめて之を輸入し

二、被告人友一は前記の如くベンゾイリン及びヘロインの輸入に關し豫め關東廳の諒解を得たること前記の如くなりしも同年七八月頃その第一回の注文に係るベンゾイリン及びヘロインが大連郵便局に到達するや當時小松等の最終の輸入に係るベンゾイリンの數量相違の點よりその交付方を差止められ居りたる爲之と同一方法に出でたる被告友一等の輸入品も亦その餘波を受け遂に交付を受くること能はざりし處より被告人友一は又復關東廳の諒解を得る必要ありたるよりその頃數回に亘り木下前關東長官以下前記の諸氏を訪問し遂に同年八月末に至り漸くその交付方を許さるゝこととなりて引續き同年十二月十八日頃迄全部の輸入を了したるが被告人友一は前記の如く本件ベンゾイリン及ヘロインの輸入に關し關東廳衞生課員に勘からざる手數を煩したるより之が御禮の意味に於て金品を贈與せんと欲し

イ、昭和三年十二月三十日旅順市中村町十一番地關東廳官舎に於て當時同廳警務局衞生課長たりし相被告人川合又一に對し瑞西ナルダン時計會社の製造に係る白金片硝子側十六型懷中時計一個及び白金製時計くさり一條在中の小箱一個價格合計金二百七十八圓相當のものを交付し右河合又一をして之を收受せしめ

ロ、同日同市青葉町八番地關東廳官舎に於て同廳衞生課勤務技師黒井忠一に對し三越商品券五十圓券四枚合計金二百圓相當のものを受納方を求めて之を提供し

ハ、昭和四年二月二十四、五日頃同市鎭遠町十三番地の一關東廳官舎に於て同廳衞生課勤務技手近森監介に對し一ノ瀬商會の共通商品券五十圓券四枚合計金二百圓相當のものを受納方を求めて之を提供し

第二、被告人川合又一は關東廳事務官として當時同廳警務局衞生課に課長として勤務中昭和三年十二月三十日當時自己の住所たりし旅順市中村町十一番地關東廳官舎に於て相被告人友一より前記ベンゾイリン及びヘロインの輸入に關し盡力し貰ひたる謝禮の意味を以て交付するものなることの情を知りながらその提供に係る前記白金側懷中時計一個及白金製時計鎖一條の交付を受けて之を收受したるものなり

法律に照すに被告人白川友一の所爲中ベンゾイリン及ヘロイン輸入の點は麻醉劑取締規則第三條第八條刑法第五十五條にその贈賄の點は刑法第百九十八條第五十五條に各該當し右は刑法第四十五條前段の併合罪なるを以て同法第四十七條第十條を適用して同被告人を處斷すべく被告人川合又一の所爲は刑法第百九十七條に該當するを以てその刑期範圍内に於て同被告人を處斷すべきものなるを以て刑事訴訟法第三百十二條に依り公判に附するの言渡を爲すべきものとす

仍て主文の如く決定す

昭和五年七月三十日

關東廳地方法院
豫審判官　川畑源一郎

明治天皇御例祭 聖上御親拜

【東京三十日發電通】三十日は明治天皇崩御の日につき宮中ではこの日午前九時より賢所皇靈殿に御例祭を行はせられ天皇陛下親しく御拜遊ばされ十時近く御終了になつた、陛下には午後零時五十五分宮城御出門一時五分東京驛御發車再び葉山御用邸に行幸遊ばされた

落雷で火事
機械置場全燒し損害三千圓 ゆふべ撫順の大雷雨

【撫順特電三十日發】廿九日午後七時頃より撫順近郊に雷鳴り二石碉の豪雨あり數ヶ所に落雷し、發電所近傍の連絡所前も落雷のため機械置場を全燒した、此の損害三千圓、その他各所の損害多額の見込みで、ケーブル線等にも故障を生じた、落雷による火事は當地では近來に無い事である

折襟の内地の郵便屋さん

遞信省では郵便配達人の服裝改善について考究中であつたが暑くて不體裁な詰襟洋服を廢して寫眞の如き麻地卵色の折襟ネクタイ付のシヤツに改めることゝなり先づ四、五日中に東京市内を始め衣更をすることゝなつた

高松宮兩殿下 ブラッセルへ

【ブラッセル廿九日發電通】高松宮同妃兩殿下には二十九日は西フランダース、ノデムード並にイープルの兩市を御見物の後同日夕刻當ブラッセルに御到着遊ばされる筈である尚兩殿下には前駐日ブラヂル大使にして現駐白大使のブリエンヌ、デフエイトサ氏主催の晩餐會に御出席遊ばされると

また魔の山東角沖で 長平丸が危く衝突
萬國衝突豫防規定を無視して 突如諾威船が現る

奉天丸とダムプト號衝突事件、引續いて廣發丸、エネアース號衝突と矢繼早に起つた海難事故に船舶業者の神經が尖つてゐる矢先、卅日午前當地海務局へ目下上海、青島、天津間定期航路就航船長平丸船長化野武市氏より大要次の如き注意書が廻送されて來た、即ち長平丸が七月廿三日午後二時廿分天津へ向け青島を出帆航行中廿四日午前二時頃よりガスが立こめたので霧中信號を續けつゝ進行し午前四時山東角燈臺の霧笛信號の聞える箇所まで辿りつきそのガス中の難航を切拔け同卅二分針路を轉ぜんとした際右舷約二點四分一浬の地點を開灤チヤーター・ノールエー船(さきに奉天丸と衝突した相手船ダムプト號と同型船)が進行中なるを發見幸ひ本船は左舷に轉舵中であつたので衝突は免れたがかゝる船舶輻湊の箇所に萬國衝突豫防規定の信號をださず漫然として進行し然も通過後唯一聲も汽笛を吹鳴せず南方に航走したと云ふのでかゝる船舶の爲め他船の迷惑危險甚だしければ監督に當る海務局においても充分警戒されたいと云ふのである

警告する 岡本局長談

右に付き岡本局長は

さきに日本船と衝突のあつた同箇所で同じく、ノールウェー船が萬國衝突豫防規定を無視して航走してゐるなぞとは國際的に見ても甚だ遺憾の極みである、何れ代理店を通じ警告を發するつもりであるがもし萬一の事でもあつたら取返しのつかない事になると云ふもので奉天丸ダムプト號衝突事件も或はこの事實によつて見るにノールウェー船に過失があつたものと見做されても仕方あるまい

渡日決定 布哇水泳選手

【ホノルル二十九日發電通】日本水上競技聯盟よりの招待を受けたハワイ水泳選手は學校側の都合で實現困難とされてゐたが、學校側との諒解漸く成り八月七日出帆の淺間丸で渡日することに決定した一行は左の六名である

監督　チヤウクリン▲選手　クラツブ、ライレー、ゾリラ、カリリ兄弟

意外な男心

娘時代に想像してゐた男心と結婚後に知つた意外な男心!名流夫人數氏によつて語られた體驗談が婦人倶樂部八月號に掲載され目下女性間噂の中心となつてゐる。

内地の不景氣話を どつさり積んだ入港船

不氣氣、不景氣、内地の不景氣ばなしを幾つも積んで三十日定期船はるびん丸は入港した、十河滿鐵新理事丘襄二、山崎元幹氏、小澤大兵衞氏の談片を採録すれば

殺人的不景氣に東京邊りの人の目の色は變つてゐますよの感觸ですね

興行界等も夏枯に加へて不況が祟り一流劇場でもガラ〱の入り、又一頃は百貨店なぞの食堂はいつも滿員で席の開くのを待つてゐた位だつたのにこの頃では何日も空椅子だらけと云ふ有樣である、學校教員、銀行會社員も長野あたりでうるさく云はれてゐるがやがて全國的な運動になるんじやないだらうか心配な事だ、大學を出て十人に一人の就職者じや、一人當り一萬圓からの採算を計上してゐる大學に對して無用論さへ吐きたくなるじやないか

滿鐵社員を裝ひ 蓄音機專門詐欺
擧動不審から捕はる

大連署吉岡司法刑事は七月十三日以來寺内通り四七下宿業尾張屋に宿泊してゐる自稱大分縣下毛郡大江村、滿鐵社員足立昇三(三七)の擧動頗る不審なので取敢ず警察犯處罰規則により本署に拘留取調べた處、自稱する原籍、氏名は詐稱で本人は神戸市東尻池村字金平山、當時住所不定無職堤淺一(三四)と判明

六月三十日夜八時ごろ滿鐵社員の制服を着し浪速町四七平田洋行に至り大連埠頭事務所計畫係に勤務する日出町一〇山崎好男であると詐稱しコールドリング四十九號蓄音機一臺時價百五十圓に手附金十三圓を支拂ひ殘金は十ケ月々賦で支拂ふと約束して蓄音機を詐取し、その足で吉野町九九質屋鎌野義雄かたへ宮本好夫と僞名して二十七圓で入質し酒色に消費したのを始めとして

以來同一手段を以つて七月一日浪速町二四近江洋行からコロンビヤ蓄音機一臺時價百二十五圓及レコード五枚時價七圓五十錢、同五日は同じく近江洋行からビクターレコード五枚時價七圓五十錢翌六日は對島町六〇鶴岡精工堂からビクター蓄音機一臺及びレコード四枚時價百三十圓を各詐取し同十四日には伊勢町二七慶飯洋行からメーローゼー蓄音機一臺時價八十圓を同樣詐取せんと計畫中逮捕された者で尚西公園町一三七下宿業蘆州館では金九圓の宿泊錢金を踏み仆してゐる

昨年十月頃市内各蓄音機商で七件の詐欺被害事件あつたがそれも堤の行爲ではないかと引き續き取調べられてゐる

現役兵が 不穩計畫
外部と連絡し

【旭川三十日發電通】旭川憲兵隊では嚴秘裡に大活動を開始してゐるが右は東京憲兵隊よりの移牒に依るもので初年兵中谷良吉(二一)(假名)は第七師團に現役兵として入隊し外部と連絡を取り來る八月一日を期して全國的に不穩の行動に出づる或種の計畫に參畫してゐたもので右活動に依り逮捕されたものである

暑中見舞に 不景氣風
代議士も節約申合 葉書賣行減る

【東京特電三十日發】不景氣も色々な世相に現はれて來るが今度は暑中見舞の「はがき」の賣行きにもピンと響いて來た東京遞信局でさへも、この六月の賣上高は昨年同期に比し二萬圓近くも減り七月に入つてからは更にグッと賣行の減退を示してゐる、なにしろ衆議院各派の懇談會でも、暑中伺ひを選擧區に差出すことは選擧準備として違反の疑もあり、と暑苦い理由をつけて廢止の申合せをなしたほどで四百六十餘名の代議士がこれで普通平均二萬枚のところを一萬五千枚、節約するにしても七百萬近く少なくなる譯だ、また商人にしても、官廳廣告の意味で暑中見舞を出してゐたのも、この不景氣では效能も響きも少なからうと口繪つてツイ經費節約の意味において中止するといふので不景氣な世相はこゝにも深刻さを示してゐる

ヴ火山活躍
悩々たる住民

【ナポリ三十日發電通】昨日來二十四時間に亘りヴエスヴイヤス火山の活動俄然強まり住民等に多大の驚きを與へてゐる、夜に入りての光景は殊に物凄く紅蓮の焔の舌は高く天に冲し恰も地獄の火を見るやうな心地がする、噴火のため孔丘が幾つにも裂けたので噴火の光は從來よりも一層大きく立昇り、濛々たる煙りは今や更に一段とその量を增し激震に打碎かれ住民の心に脅威を與へてゐる

頭山滿翁の 令息來連
夏休を利用し

頭山滿翁の四男坊、翁の血をうけてゐる丈けあつてその性の剛膽ぶりで早くも都學生仲間で名を賣つてゐる頭山乙次郎君がこの夏休みを利用して一つ貧乏旅行をしようと卅日入港のはるびん丸で來連、這回これには天行會常務理事の本間憲一郎氏それに學友の天野博氏リユクサックに輕い麥稈帽姿で「學校の休みを利用して大陸を振り出しに奧地の方に入つて貧乏と困苦と戰ふ練習に來たんです」と簡單に一言埠頭には頭山翁關係の出迎へ人で賑はつた

東亞一周徒歩 旅行家來る

東亞一周徒歩旅行を企て去る五月十日郷里長野縣上田上野を出發した加藤加橘(二一)氏は卅日入港の臺山丸にて天津より來連したが、氏は郷里出發以來下關より朝鮮經由蒙古北平を經て天津に出で濟南方面に向ふ筈であつたところ途中戰禍に遭ひ旅程を變更し一先づ來連したものであるが近く出帆揚子江沿岸より雲南、廣東、香港を經て歸國する筈であると

過失致死で 馬夫取調
子供を轢殺した客馬車

大連大和町二十六番地先きにおいて停車休憩中櫻町七朝吾二男南山麓小學校二年生藤村俊雄(九)が子供用自轉車に乘つて馬の前脚に衝突したため馬は驚いて狂奔し遂に俊雄を轢殺して了つた、その恐ろしさに行方を晦ました荷馬車に就いては大連署に於て嚴重搜査中であつたが、右は白雲山馬車收容所内闖祥順かた客馬車夫戚長突(三三)の實弟戚長德(二九)と判明、既に郷里復縣に逃走してゐるので署では實兄を呼び出し同人をして連行せしめ三十日午前十時同行の上出頭したので直ちに過失傷害致死として身柄を拘留目下嚴重取調中

支那人店員 一萬圓拐帶

奉天小西關井上誠昌堂店員李道春(二三)は廿九日午後六時ごろ現金一萬圓を拐帶逃走し大連方面に赴いた形跡があるので奉天署より同日市内各署へ手配があつた

東海道地方に 颱風襲來警報

【東京三十日發電通】二十七日南洋方面に發生した颱風は三十日午前六時七百三十六ミリに發達し八丈島南々西約百八十キロの海上に達し東海道關東地方に驟雨を來し中央氣象臺は南海道東海道方面に警報を發した

慶應軍北平へ

【奉天特電二十九日發】慶應野球團一行は廿九日十九時十五分發北寧線にて天津に向つた

四日目取組

大日本大相撲四日目取組は左の如くである

(高浪)池田川(晴ノ海)朝光
(海光山)蔦ケ濱(沖ツ海)太郎山
(寶川)劍岳(眞鶴)朝潮
(瀨川)雷ノ峰(幡瀨川)錦洋
(豐國)大蛇山(吉野山)
(若葉山)玉錦(宮城山)

大連神社の月次祭

來る一日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町西公園町區の氏子役員等參列の上午前十時より月次祭典を執行する

會葬御禮
男 神田稔
妻 ツル
兄 神田嘉次郎

俠艷一代男 (10)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

神田祭の夜(十)

「無、無法な所爲を致すと、そ、その分には捨置かんぞ」

加州藩の大塚源十郎、口だけはさすがに横柄なもので、加賀藩の鐵太郎に利き腕をねぢあげられたまゝ、長い廊下を玄關口の方へ押されくてよろくと歩きながら矢鱈に頭を後へ捻るやうにして怒鳴つてゐた。

「矢釜しいお方ぢや！靜かになせえましよ。人里離れた山里ぢやなし、神田祭りの明神下、盛り場のしのぶ亭でございます。騒ぎ立てると、反つてお身分柄に關はりましやうがな」と、鐵太郎は玄關口まで來た時、源十郎の耳元に口を寄せて

「大塚殿、昔の誼みにこゝ迄、見逃つて進ぜた。このうへ、騒ぎ立てると、妻木鐵太郎、此度こそは本當にお相手仕る。な、よいか？貴殿は士分、拙者……あつしは一期半期の仲間小者、はした人足同然で、今の身分は違ふが、腕に違ひはございませぬ。何も申さずにこの場はお戻りなせえましさ」

ねぢあげてゐた腕をポンと離した。

「えいッ！いまくしい奴ッ！よくも拙者へ邪魔立て致し居つたな」

鐵太郎に堅く掴まれた腕首を撫りながら、血と燃える怒りの瞳で睨み据ゑた。

「何でございますか？まだ何か御用でございますんで？」

鐵太郎も、キッとなつた。

「大小を持てッ！」

吐き捨る調子で、奥へ叫んだ。

「ほう！これは粗忽千萬、失禮致しやした。武士の魂大小をその儘にお戻りを願はうとしたのはあつしが氣が附きませんでした」

「愚圖々々吐さず、早う持てッ！」

「へえ」と鐵太郎はニヤリと薄笑ひを漏らして、遠くからこの場の悩様を氣遣ひながら覗いてゐる女中たちへ

「誰か？早く大塚さまのお腰物を取つ來てくれ！お歸りをお急ぎと見える」

源十郎は酔と怒りに眞赤な顔をしながら、眼ばかりギロくと光らし、玄關の敷臺に仁王立に突立つてゐる。

奥から間もなく、源十郎の大小と見える花塗鞘の腰の物を、仲居が捧げるやうに持つて、そこへをづくと出て來た。

「こちらへ寄越せッ！」——

自棄に噛みつく聲で、それを引奪つた。

仲居が履物を揃へるのさへ、いかにもどかしさうに突つ掛けて「お籠でも……！」と、後から呼かけるのを、耳にも留めないで、くるりと身を翻へしざま、憎々しい調子で

「鐵太郎！今夜はよくも拙者に辱しめを與へたな。卑しい仲間風情の身を辨へずして、少しばかり出來る腕前を誇り顔に差出口……」

「これは迷惑なお言葉！みんなお前さまの爲めを思ふてしたことでございますよ」

「默れッ！仇も同じ八番組の町火消、か組の奴等と料理家に濁酌み交すさへ不都合であるのに、一家中の拙者をさんくな目に遇はし居つた」

「と、お仰有る筋合のものぢやありませんや」

「覺えて居れッ！」

捨臺白を叩きつけると、荒々しく、大地を踏みながら忍亭の門を出て行つた。

「まアお役僧さん！有り難うござんした」

と、そこへ飛び出して來たのは、しのぶ亭の内儀と見える丸髷の年増女。昔を忍ばせる小粋な風で「本當に一時はどうなる事かと心配をして居りましたのに！お陰さんで無事に納まり、こんな悦ばしい事はござんせぬ」

「へッ！逃げ腰で悪態を吐いてく所など、侍の風上にも置けねえ野郎さ」といつか、か組の龍吐水持の愛嬌者、金次も顔を突き出してゐて

「ねえ妻木さん！ちよッ！さうだつたつけ？お役僧！お役僧と呼んでしたね？お役僧！」と、まるでお役僧を賣りに來たやうに、鐵太郎を呼び立てた。

一若改め 奈良丸 愈よ來演決る

豫て來演が噂されてゐた現代浪曲家の第一人者である一若改め三代目吉田奈良丸一行は愈々來る八月廿六日神戸より乗船し廿九日來連三十日より開演することに決定した

東部滿洲背後 地映畫試寫會

大矢進計氏が或る筋の援助の下に數萬金を投じて得たる東部滿洲背後地の實寫もの十卷これは吉林の寶庫を開展したもので容易に見られぬものその他馬賊生活の實寫もの等を加へ三十日夕滿蒙研究會主催にて商工會議所樓上にて試寫すると

都山流尺八演奏會

草崎主山師の司る大連臨風會の會員にして師の高弟川端圭風氏は多年斯道研究に精進して居たが愈々都山流尺八師匠として社會に勇ましく乗出す事となつたので同門の樂友相集り、朝鮮に旅立ち行く氏に餞し卅一日午後六時半より岩代町遊樂館に於て送別演奏會を開催する入場無料

常盤座で明日から上映する筈だつたパートトーキー「戀慾の人魚」はうまくシンクロナイズせないので▲今まで好評を博して來たトーキー興行にけちをつけてはいけないといふので斷然中止▲その代りに喜活劇週間を來月一杯つゞけるとの事で大連では珍しい試み▲大衆興行に出て氣をよくしてゐる帝國館、全部の名作品再上映が終つたら▲更生の意氣込みでキートンの「キヤメラマン」を上映するが久振りのキートンが期待されてゐる▲常盤座から浪速館へ行つた長谷川櫻邦、今度は内地に歸るといふ噂から奉天行が傳へられる▲更生の浪速館いよく本日から先づ河合週間で蓋をあける▲キネマ旬報が夏休みに大河内夏川伏見の北海道行を報道してゐる、早速大日活から抗議を申込まねばなるまい

大連 JQAK

七月三十一日午後七時三十分

▲ラヂオ體操
▲支那語講座「第五十課」滿鐵學務課 秩父固太郎
▲謠「松風」枉若流 岩村穆處
▲ハーモニカ獨奏「サンチヤゴ蝶々さん」グレード大連ハーモニカソサイテイ部員 佐藤勝郎、二重奏「荒城の月」「イーヴ・ネス」同右 小川良平、獨奏「キスメットカルメン後編 榛姫」同 小川良平
▲筑前琵琶「義俠の艦 天野屋利平」法祭山 大賀旭栗

錢鈔取引人は結局泣寢入りか

手數料引下げ問題に關しきのふ邦人側協議

錢鈔信託手數料値下げは信託側に拒絶されたので邦人取引人は昨二十九日組合樓上會議室に參集してその對策を協議したことは既報の如くであるが

同協議會に於ては信託よりの拒絶に對し硬、軟兩派に別れ相當波亂ある場面を呈した模様であるが、結局信託は斷然値下げをしないと強硬に主張してゐるから如何なる手段を以てしても値下げは到底望まれないことであり又取引人側では値下げをしろといふ權利はない以上値下げは斷念せねばなるまいといふ意見に一致した模様である

尚華商側取引人も本日午後三時より同問題に就て協議をなしたが信託では現在期末に取引額の多い取引人に對し記念品を寄贈してゐたが、それを現金にかへ取引額の割合に應じ配當をなすことを信託に要求することに話しが進み別に委員等を派出せず取引人中の信託重役をして重役會を開かしめ陳情をなす模様である、しかしこれは邦商取引人のみの意見であつて華商側は相當強硬意見をもつてゐる模様であるから本日の華商側協議會の結果により最近又邦商、華商の合同協議會を開き組合としての意見をまとめる筈である

委託手數料統一問題 行き惱み

二三年前からの懸案であつた錢鈔取引人の委託手數料を十圓に統一することは信託手數料半減問題につれ相當進展し信託が手數料値下をなす様であれば取引人も委託手數料十五圓を十圓に値下げし統一することにほゞ内定してゐた模様である、しかし信託では手數料を値下げしない以上取引人側でも十圓に値下げし統一する必要はあるまいとの意見が多い様であるからこの問題も信託手數料と同様に行き惱み状態と觀られてゐる

生果出荷組合目下行惱みの態

從って中央倉庫も滿鐵へ賴みつ放し

滿洲に於ける生果業の合理化とその發展を目標に昨冬來關東廳殖產課並に州内果樹組合が主體となつて企圖中の滿洲生果出荷組合の創設及び同共同倉庫の設置問題はその後數度の關係業者、滿鐵、關東廳各當事者の會合にて、大體において前者については各組合員の責任出荷實行、後者は中央倉庫は滿鐵地方倉庫は關東廳に於て夫々建設することゝなつてゐたので今夏出荷期よりはいよ〱共同出荷の實現と市價の安定に依り近年兎角缺損續きの果樹園業者も浮び上るであらうと觀測されてゐたが、實はこの種生產者の共同出荷は販賣との連絡も必要であり、殊に責任出荷の勵行に就ては一部先覺者を除いては甚だ不確實にて勵行至難とされてゐるので目下の處組合の組織方法を如何にするかといふので先づ行惱みの態であるが從つて中央倉庫の開設も滿鐵に依賴せる儘となり到底今出荷期までは實現不可能で生みの惱みに苦慮されてゐる

度量衡取締施行

度量衡器定期取締施行は左の如く行はれる管

▲大連警察署管内 八月一日より同二十二日迄
▲水上警察署管内 同二十二日
▲小崗子警察署管内 八月十五日より二十二日迄
▲沙河口警察署管内 八月二十一日より九月十一日迄

見本市の契約噸數

大阪が最高の四百二十二噸

滿洲見本市における約定品の數量は大略一千三百四十五噸に上つたが府縣別の内譯を示せば左の如し(單位噸)

△大阪四二二△東京二〇二△廣島一〇〇△兵庫九一△山口二五△愛知二四一△鹿兒島一八△三重一八△埼玉六四△島根一一△北海道九△岡山一一△岐阜二△愛媛四△福岡一四△神奈川一九△福井一六△德島一五△和歌山一二△靜岡一三△奈良一八△熊本二△石川三△栃木三△京都一二△合計一三四五

西瓜甜瓜の品評會を開催

廉賣も行ふ

滿洲蔬菜生產組合では來る八月七日より三日間大連伏見臺公學堂に於て西瓜並に甜瓜の品評會を開催するが、出品區域は關東州内一圓で出品點數千五百點限り、優良品には九日午前九時褒賞を授與する事になつてゐる尚會期中はトマト胡瓜、茄子、甜瓜、西瓜その他一般蔬菜の廉賣を行ふと

一億圓の鰹節 狙ふ二匹の猫

◇…世の中がせち辛くなるに從つて人間は益々小悧口となり、自分の意見を開陳せず、他人をダシに使つて自分一人良い子にならんとする傾向がとくに濃厚となり、そしてそのダシもなるべく高値なものを用ひよく利く様に腐心してゐる様だ。

◇…こゝに一億圓もする鰹節のダシを用ひた尖端的な話がある……それは最近大連財界で注意の目を向けてゐる錢信手數料値下げ問題に關してゞある。

◇…錢信專務高崎君は手數料値下げはたゞ一部取引人がことさらに要求せんがための要求であつて、彼等は三井が値下げ大贊成だと公言してゐるが、それは三井をかついでゐるだけである、僕が津久井さんに會つて意見を聞いたら「値下げなんかせんでもよいよ」といつた……と、資本金一億圓の三井をかつぎ出してゐる。

◇…これに反し取引人の云ひ分は「三井、三菱、日清等の大手筋では値下げ大贊成である、そして三井等が先頭に立つて値下げ運動をリードしてくれてゐる」と。

◇…さて〱どちらの云ひ分を信用してよいものやら、一本一億圓もする鰹節を廻ぐる二匹の猫の爭奪戰、今後の展開が見物である。

歐洲向け小荷物期限つき取扱ひ

東鐵商業部で開始を準備 托送者に甚だ便利

東鐵商業課ではロシヤを通過して歐洲へ發送される小荷物の期限取扱を開始する準備を整へた、これは鐵道の使命として且つ托送者の大なる利便となるのである、ロシヤを通過する歐亞連絡最初の取扱は一九二六年であつた、その年は單に旅客のみであつたが、次で小荷物が討議されソウエート聯邦はこれを承認した、然しプラーグにて行はれた第四回の歐亞直通運絡會議には小荷物直通問題は討議されなかつた、第四回會議には單に東部ロシヤ及波蘭よりの連絡が議題となつたが漸く第五回會議に於て實現し東鐵としては重量各箇五〇キログラムを超過せざる歐亞連絡小荷物の取扱を開始することを承認した、該小荷物は歐亞急行旅客にて發送し、稅關檢査は到着の地點に於て行はれるものである、其オデッサの第五回會議には參加各國間の直通小荷物取扱の協定を遂げたのである、東鐵としては先づ哈爾賓モスクワ間直通の小荷物取扱を試み、次で協定各國への取扱をするであらう、其方法はオデッサ會議では直通小荷物が任狀を添附し各都市の驛にて代金を領收し計算するが、東鐵では商業部がこれを代理する、既に東鐵商業部ではシベリー經由哈爾賓からパリに直通小荷物を發送し試驗した結果發送日から十三日半で到着した、現在ではハルビン、パリ間の運賃率は作成されてゐないが西ヨーロッパ諸國からソウエート聯邦通過の運賃率は左の如くである(米弗建)

哈爾賓——コウノオ五・一二、リガ五・〇一、タリヤンカ——ゼトニヤ四・九二、モスクワ四・三三

…の發送小荷物はサフトルグフロート(ロシヤ商船)代理店が取扱ふ豫定である

大豆高粱受渡

大連取引所特產市場に於ける大豆高粱の七月末日限受渡しは三十日前場を以て納會を告げた、大豆は受渡高二百三十四車で前期に比すと六車の減少、受渡し標準値段は七圓九十八錢で前期より六錢の上値である、當期中の高値は八圓三十三錢、安値は六圓八十三錢であつた、主なる手口を示せば左の如し(單位車)

▲渡方 裕昌源二五、公濟棧八
▲受方 福順厚五〇

次に高粱は賣買總出來高四千九百車前期より二百七十一車の減少受渡標準値段は四圓七十錢で前期より四十五錢の下値であつた、當中の高値は五圓二十八錢、安値は四圓三十錢であつた、主なる手口を示せば左の如し(單位車)

△渡方 寶隆六八、恒昇六二、瓜谷二八、三井五一
△受方 福和盛一〇、福聚昌一九、丁新昌二二、裕昌源四九、亘成祥一四、三菱八九

五品の振興策(三)

伊藤久太郎

凡そ取引所事業の確立と市場の繁榮を策むるには該地に於ける取引事情と及び必然の要求とに對應すべき施設を必須要件とします、而してこれが市場の運用に就いては絶へず資金の市場集中を離散せしめざるに努めねばなりませぬ、蓋し資金は市場の活素であり人氣は活力なるが爲めであります。

如何なる大資本を擁して取引所事業を營むとも土地に必然の要求なく若くはこれに超へたる企業は頓挫します、今五品取引所が一千萬圓の公稱資本を内容缺陷切捨のため半額減資したといふことが今後の大連財界に如何なる影響を及ぼすや、將其減資々本額が大連財力に剴切なりや否やは未知數としても五品が會社の減資整理を遂行したと言ふこと丈けでは直に市場の確立と言ふ譯には行きませぬ、今後理事者の考慮に依る市場施設の刷新と取引人の一段の努力を要するものと考へますが要は取引所も取引人も一團となりて前陳の如く市場に向つて一般資金の吸收と人氣の收攬乃至取引慾の增進に適すべき市場施設に深甚の考慮を拂ひ誠實を以て市場信用を高めねばなりませぬ。

斯く觀じ來れば現在五品市場の運用乃至施設制度に改善刷新を要するものなきや否やは自ら瞭然たるものがあるであらふ、是等點に就ては機を見て理事者に進言もし、若しくは異日稿を改めて大方の批判を乞ひたいと思ふものである

中小商工業の振興策(四)

經調第二分科會の答申書

三、商店經營の合理化

商店經營の合理化問題に就ては大體に於て指導機關設置問題の項に於て述べましたから略しまして此處に於ては、店員の待遇と養成問題に觸れて見たいと思ひます。

店員の待遇方法に就て

イ、營業費内譯科目中の賄費及被服費を廢して店員の給與を月給又は旬給とする事

ロ、利益金の分配を店員に及し且つ其分配方法として左の方法を採用されては如何と思ひます

利益金−資本金に對する銀行利子=純利益

十分の三の純利益金を店主又は出資者に配當す

十分の二を其商店の積立金とす

十分の三を店員一同に適當に配分す

十分の二を店員退店積立金として商店と別の計算にて、確實に預金する事

店員退職積立金及利益配當金は適當に勤續年限を以て配分するものとす

四、運賃諸掛の低減

運賃諸掛の低減は鐵道運賃或は汽船運賃等の値下を要求する事が根本問題でありますが只値下を目的としての、値下の要求は不合理であると同時に相手方に於ても容易に應じ得る問題ではありませんが寧ろ吾人の問題とする點は、如何にすれば運送期間の短縮が出來得るかと云ふ問題の方が重用であります。商品仕入の時機と運送期間の長短が非常に密接な關係があるのであります。此問題に關して特に御注意を喚起したいのであります。

五、銀建の利用

現在の如く銀の暴落に據る不景氣に付ては、支那人の購買力の減少はやむを得ざる事であります。而して現在我等の取扱商品の仕入が金建である以上賣價を銀建にて採用することは幾分の投機性を含むことになります。然し日々の換算と兩替の手數をいとはないものとしましても、幾何の賣上增加を得るや否やは小賣商店として疑問であります。猶支那人向卸商側に於ては此の銀建の問題は重用なことは勿論でありますが、此點は私の範圍外であります。(完)

大連における綿糸布の取引(二)

繁榮の絶頂から不況のドン底へ

大連株式商品取引所が開設されて其の商品市場で綿糸布や麻袋の取引を開始することになつたのは大正九年三月であるが實際上商品市場が綿糸布取引に利用されるやうになつたのは翌十年十月以來であつて爾來滿三年間は商内頗る繁盛を極め關東州内は勿論營口、奉天其他沿線各地並に山東方面の如き遠隔地からも顧客が蝟集して來て大連綿糸布市場の黃金時代を現出し大正十一年の九月には綿糸出來高一ケ月三萬五千二百梱と云ふ開市以來のレコードを作るに至つた

◇

今この全盛時代とも云ふべき大正十年十月以降約二個年間に於ける商品市場綿糸取引出來高を掲げると(單位梱)

月別	先物	現物
十年十月	三一三	五六三
同十一月	五四五	一、〇八三
同十二月	三、八一二	六八六
十一年一月	一、九四四	二一二
同二月	五、三五九	六七二
同三月	二二、二五〇	八〇九
同四月	二五、五五五	五八九
同五月	一四、〇九〇	七七一
同六月	三一、二二〇	六二八
同七月	一八、八五〇	六一七
同八月	二四、三一〇	六一九
同九月	三四、六七〇	五三一
同十月	二四、四五〇	三六七
同十一月	七、九七五	三四五
同十二月	二一、六七五	七〇六
十二年一月	二九、一七五	四一〇
同二月	七、一一〇	一四五
同三月	二六、三〇〇	九二四
同四月	九、五二五	七二五
同五月	八、一五〇	二一八
同六月	五、八七五	ー
同七月	三、五七五	ー

◇

以上二十二ケ月間に於ける出來高は實に二十九萬梱に上り全く異常の發達振りを示して居るが這は關東州の實需が旺盛であつて、其間思惑取引が加はつた外輸入業者が大阪三品市場との掛繋ぎに利用したこと並に輸入業者及華商等が手持綿糸布又は綿糸布の買付賣繋上の保險繋ぎに利用し或は錢鈔賣買の保險繋ぎに利用せる等の原因によるもので營口を首め滿鐵沿線各地は勿論遠く山東方面の顧客の注文が非常に多かつたことは左表を見ても知ることが出來るであらう、即ち大正十二年上半期に於ける商品市場所屬綿糸布商中主なる華商十八軒、邦商二軒に就いて其の賣買高の内容を見るに左の如し(單位梱)

十二年	商内高	州外注文	州内注文
一月	三〇、一〇〇	二、三一〇	一、一九九
二月	七、三五五	二、五九五	六七〇
三月	二九、〇四五	五、六九一	二、三五五
四月	九、三三五	三、一六〇	二、九三三
五月	九、八〇五	六、八四〇	二、六九六
六月	五、四〇〇	一、〇四〇	一、四九九

◇

前表の如く商内高に對し州外及州内の顧客の注文數量は四割一分に當り其前年(大正十一年)には更に其以上に上つて居ると云へば當時取引所利用の程度が如何に盛であつたかと云ふことを推測するに難くないであらう、然るに繁盛のたらひに洩れず財界の不況と銀價の低落等の爲め華商の疲弊著るしく、就中當地華商の疲弊困憊により折角大連市場に引寄せた顧客を四散せしめ各需要地との直接取引が多くなるに至つたので其後年を逐ふて當地の市場取引は不振に赴き大正十四年度には綿糸出來高僅かに一千六百五十梱に過ぎずして往時の一ケ月出來高にも遙かに及ばざる有樣となつたのである

◇…上げないと云ふこと、下げないと云ふことは大變な相違だが、よく〱考へて見りや上げることでもなけりや、下げることでもない。

◇…そこで豆信の田村さんが手數料を上げないと云つても、錢信の高崎さんが手數料を下げないと云つても、要するに現狀維持と云ふだけの話で、見やうによつては何の變哲もない。

◇…民政署が支那人の飲食店を料理店に格上げ稅率を引上げて常業者を仰天させた、何處まで引上げられたかを見るための仰天でなく、驚いての仰天だ。

◇…客席を設けて飲食物を供するのが料理店で、客席を設けないのが飲食店なら、飲食店のお客樣は足のない幽靈ばかりと見える、それとも出前專門か……それなら一層のこと飲食物通信販賣店とでも業名を變更したがよからう。

市況

特產 材料薄にて一般平調

今朝の市場は差したる新規材料もなく各品共に平凡なる場面を辿り豆粕先物は出來不申、今日の油坊生產高は五千枚で操業工場は四軒である

◇定期前場(銀建)

▲大豆(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	八〇一〇	八〇三〇	七九六〇	七九八〇
八月末	八一一〇	八一三〇	八〇八〇	八〇八〇
九月末	八一七〇	八一九〇	八一五〇	八一五〇
十月末	七七六〇	七七六〇	七七三〇	七七三〇
十一月末	七四一〇	七七三〇	七七九〇	七四〇〇

出來高 百七十四車

▲普通大豆 出來不申
▲豆粕 出來不申
▲豆油(強調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇
九月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇
十月限	一三〇〇	一三〇〇	一三一〇	一三一〇
十一月限	一三八〇	一三九〇	一三八〇	一三八五
十二月限	一三六五	一三七五	一三六五	一三七五

出來高 一萬五百箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	四六六〇	四六六〇	四六一〇	四六一〇
八月末	四七六〇	四七六〇	四七二〇	四七二〇
九月末	四八四〇	四八四〇	四八〇〇	四八一〇
十月末	四六三〇	四六三〇	四五三〇	四六三〇
十一月末	四六六〇	四六六〇	四五六〇	四五六〇

出來高 五十七車

▲包米 出來不申

◇現物前場(銀建)

品名	寄付	大引
混保(袋込)大豆(裸物)	八〇七〇	八〇五〇
出來高	四十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二五九〇	二五九〇
出來高	一千枚	
豆油	二一八五	二一八五
出來高	三千五百枚	
高粱	四六五〇	四六五〇
出來高	三車	
包米	出來不申	

定期喰合高(卅日限入)(前日對比較△印減)

品名	喰合高	前日對比較
大豆	二七七七車	四三車
高粱	七三一車	△八車
豆粕	二五〇丁枚	▲六千枚
豆油	八七五百箱	一五百箱

錢鈔 銀塊安で鈔票弱氣配

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十六片十六分の一と(十六分の三安)先物は十六片丁度と(十六分の三安)紐育は三十四仙八分の五と(四分の一安)孟買は四十七留比丁度と(同事)滙兌は七十二〇、滙中は七十三兩八五、大洋は九十七圓九十錢、日米は四十九弗四分の一と(十六分の一高)米日は四十九弗十六分の五と(同事)米英は八十七仙丁度と(同事)米支は三十七弗八分の七と(八分の一安)上海標金は五百七十三兩五と寄り七十八兩丁度と止め當市の銀價は軟弱商狀を呈した

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	五六四五	五六七〇	五六二二	五六六〇

出來高 三百八十四萬圓

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五六四五	一二七四〇	
十時	五六五〇	一二七三五	
十一時	五六六〇	一二七二五	
十二時	五六四〇	一二七五五	

出來高(銀對金)十二萬(銀對洋)一萬七千

商品 前場

●麻袋(保合)產地鐵四十六分五高、爲替四分一高なるも銀塊反落銀票軟弱ならず

●綿糸布(保合)米棉現先十錢安、銀塊十六分三安、大阪三品前場は存外堅りを報じ銀票弱保合に常市て見送り勝にて閑散

定期取引

銘柄	約定期	値段
福助	十二月限	一一三〇

出來高 十梱

株式

内地株軟弱 當市弱保合

今朝北濱寄は大株三十錢安、大新…

株 今朝内地の主力株はさしたる材料もないのにいづれも軟弱を入れ東新も辛ふじて九十圓臺に寄つた▲政府でも民間でも商工業振興、貿易助成、農村救濟等々鳴物入りで賑やかなことであるが株に生氣を添へるには間遠くてピンとこない▲譯の分らぬ悲觀病は確かに薄らいだが矢張り何かの機みに底入れするやうな氣がして兎かく材料待たるゝ商狀である▲五品株の定期取引新甫十月五日限(八月六日立會新甫先限)は一時賣買休止になつた▲(綿糸)米棉も銀塊も一寸安いが三品前場は存外堅りを呈した▲例によつて品薄による受渡前の堅りを呈したもので奇とするに足らぬ▲來月上旬は二、三日頃の綿糸生產高發表や八、九日頃の米棉作柄發表といふ大材料が現はれるので値巾大きく動いて面白い場面を見せ、これが一轉機をなすのではないかと思はれる

豆 昨日銀價の小緩みに各品共に強調を呈しとくに大豆は六錢から十二錢方の昻騰を示して夏枯閑散期としては割合に場面も活況を呈した▲しかし今朝は差したる材料もなく無味閑散なる場面を辿り大豆は銀の弱氣配を眺め強保合▲豆油は添ひ強調を呈したが豆粕は出來不申▲高粱相場は昨近大豆に添つてゐた様であるが今朝は買氣なく軟弱商狀に推移した▲大豆は差したる材料が現出しない限り銀の動きによつて支配されるであらうから月先き強氣配と一般に觀測されてゐる▲高粱は買氣がなく又材料も良好豫想であるから底意弱氣配と觀られてゐる▲現物大豆は油房十車、福聚昌、文成裕、三菱で三十車、豆粕瓜谷で一千枚、豆油は三井で三千五百箱の各手合はせがあつた。

銀 海外材料としての銀塊は支那、印度の買ひが一服狀態を呈したるため一齊に低落を呈した▲爲替は日米十六分の一高米日同事を報じ又上海標金は強氣配に推移した▲地場鈔票は以上の銀安材料を眺め概して弱氣配に推移し…

前場

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
五品 寄	ー	ー	ー
新豆 寄/引	ー	ー	一〇・二一
錢鈔 寄/引	ー	ー	一五・四
新東 寄/引	ー	ー	九〇・一〇
五品 中/引	ー	ー	ー

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	七〇	七一	七〇	七一
商信	ー	ー	ー	ー
新豆	ー	ー	ー	ー
錢鈔	ー	ー	ー	ー
氷新	ー	ー	ー	ー

◇現物(乙部)

銘柄	寄	引
大新	四八・五	ー
新東	九〇・八	ー
鐘新	ー	ー
新滿鐵	ー	ー

◇爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引代渡	日步
五品	七〇	一〇〇	八〇	四
商信	ー	ー	ー	ー
新豆	一〇・〇	ー	ー	無
錢鈔	一五・五	一〇〇	九〇	三
氷新	一六・五	ー	ー	四
新東	九〇・五	一〇	一〇	三

滿鐵株(堅り)

▲東短前場 出來不申
▲滿鐵新株
▲大阪現物 六十圓八十錢
▲滿鐵親株

後場(保合)

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
五品 寄	ー	ー	ー
新豆 寄/引	ー	ー	一〇・一
錢鈔 寄/引	ー	ー	一五・四
新東 寄/引	ー	ー	九〇・一
五品 中/引	ー	ー	ー

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	七〇	七一	七〇	七一
商信	ー	ー	ー	ー
新豆	ー	ー	ー	ー
錢鈔	ー	ー	ー	ー
氷新	ー	ー	ー	ー

◇現物(乙部)

銘柄	寄	引
大新	四八・九	四八・九
新東	九〇・九	九〇・九
鐘新	ー	ー

株式出來高(三十日)

期	六〇〇枚
物	四〇〇枚
計	四六〇〇枚

手形交換(卅日)

金票爲替相場(卅日 午日)

金(銀勘定)
銀(金勘定)

奥地市況(卅日前場)

日本向電信賣(銀賣) 同十五日拂賣(同)

錢鈔

品名	寄付	大引
奉天(現物)	二一、一〇〇	二一、一〇〇
(奉票)(先限)		
奉天(現物)		
大洋票(定期)		
開原(現物)(奉票)(先限)		
同(鈔票)(現物)(先限)		
安東(近期)		
鐵平銀(遠期)		
哈爾賓(大洋)(現物)		

特產

▲大豆

地名	限月	寄付	大引
開原	八月限 九月限 十月限		
長春	八月限 九月限 十月限		
公主嶺	八月限 九月限 十月限		
哈爾賓	八月限 九月限 十月限		

▲高粱

地名	限月	寄付	大引
開原	八月限 九月限 十月限		
長春	八月限 九月限 十月限		
公主嶺	八月限 九月限 十月限		

▲小麥

地名	限月	寄付	大引
哈爾賓	八月限 九月限 十月限		

市場電報(三十日)

銀塊及爲替

品名	相場
倫敦銀塊	十六片十六分一
同 先物	十六片〇分〇
紐育銀塊	三十四仙八分五
孟買銀塊	四十七留比〇分〇
英米爲替	四弗八十六分九
米日爲替	四十九弗十六分九
米支爲替	三十七弗八分七

棉花

●米棉(換算二五錢安)

限月	相場
現物	一三仙六五
七月	一三仙七〇
十月	一三仙九七
十二月	一三仙〇五
一月	一三仙九九
三月	一三仙二五

●印棉

銘柄	相場
ペンゴール	一六一留比
ヴローチ	一九五留比
オームラ	一六五留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品(當・中・先)	ー	ー
豆新(當・中・先)	ー	ー
同(短期)	[illegible]	[illegible]
寄値	[illegible]	
引値	[illegible]	
高値	[illegible]	
安値	[illegible]	

大阪期米

限月	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]

大阪棉花

限月	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]

神戸豆粕

限月	前場一節	前場二節
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

横濱生糸

限月	前一節	前二節
七月	[illegible]	ー
八月	[illegible]	ー
九月	[illegible]	ー
十月	[illegible]	ー
十一月	[illegible]	ー
十二月	[illegible]	ー
一月	ー	三三〇〇

印度麻袋

品名	相場
實物直積	[illegible]
織物直積	[illegible]
爲替相場	[illegible]

滿洲日報

社說 勞農露外相の更迭 對外農村赤化の傾向濃厚

ハルビン電報によればロシア共產黨第十六回大會の結果、多年ソウエート外交の重責に任じた外相チチエリン氏が罷免され次席リトウイノフ氏が外相代理に任ぜられたと報じてゐる、チチエリン氏はレニン、トロツキー、ジノウイエフ、スターリン等と共にロシア革命の立役者として廣くその名を知られてゐるが革命成就と共に外務人民委員長の重任を負ひ相容れぬ資本主義列國を向ふに廻し兎も角も日、獨、英、佛を始め世界各國をしてボリシエビキー政府を承認せしめた程の手腕家である。氏の在任中、最も特筆すべき事件はジユネーヴにおける軍縮會議に於て國法もない軍備全廢案の爆彈を投げかけ列國を啞然たらしめた一事である。

◇

氏はこれ程の重大任務を果した人物ではあるが共產黨內に於ては常に不遇の地位に置かれ殆ど發言の機會さへも與へられず、言はゞ外交の一エキスパートとして酷使されてゐた觀がある。氏はトロツキー一派の反幹部派事件にも、またブーハーリンその他の右傾反幹部派事件にも何等の意見を發表せず黨內に於ては、その存在すら忘れられやうとしてゐたのである。チ氏は最近、强烈な神經衰弱にかゝりドイツに轉地してゐた程で、既に三年前から殆ど廢人同樣の身となつてゐたから今回の罷免はチ氏の健康が、その地位に留まるを許さぬからと見るのが至當であらう。チ氏の後を襲つて外相代理となつたリトウイノフ氏はチチエリン氏の下に第一次席として歐米を擔當してゐた關係上、リ氏の後任として歐米關係の駐獨大使クレスチンスキー氏を補したもので第二次席のカラハン氏は依然として極東を擔當するものと思はれる。

◇

新任外相代理リトウイノフ氏はこれまたチ氏同樣、黨內における勢力は至つて微々たるものであるから、リ氏がその地位に上つた結果、ソウエートの外交方針に殊さら變改が行はれやうとは全く信ぜられない。

◇

かくの如き狀態にあるからソウエート聯邦の外相更迭は、それが同國の對外政策變更を意味するものでないことが明かである。蓋しソウエート聯邦の對外方針は常に共產インターナショナル大會または全露共產黨大會に於て決定し外相は一エキスパートとしての役割をつとめるに過ぎぬ。故に吾人がより以上、注目すべきは去月二十五日から本月十三日にかけてモスクワに於て開かれた第十六回共產黨大會の決議である。共產黨大會の決議全文は秘密に附されてゐるから政府の發表したもの以上に知る由もないが、政治局委員モロトフ氏が席上、共產インターナショナル本部への提出議案として朗讀したところによつて東洋に對する今後の方針の一般を知ることが出來る。それによればインドおよび支那における革命に注意を促がし特に支那農村における共產土匪に積極的援助を暗示してゐる。共產黨が從來の都會プロレタリエート偏重から農民本位となり、その世界革命誘導の主力を各國の農村に向けんとしつゝある傾向が顯著であることは大に注目に値するところといはねばならぬ。

汪、閻、馮三氏代表との會見を張氏拒絕 北方政府組織に一頓挫

【北平二十九日發電通】汪兆銘、閻錫山、馮玉祥氏の正式代表は張學良氏に北方政府加入を要請すべく今夜發赴瀋の豫定であつたが、張學良氏より突如婉曲に會見拒絕の來電あり無期延期となつた、これがため政府組織は一頓挫の形となつた

張氏の代理として奉派から政府委員推薦 間接的援助を求むべく對策協議

【北平廿九日發電通】張學良氏が汪、閻、馮三氏の代表との會見を拒否した表面の理由は南京側の代表も多數滯在し殊に胡蘆島は交通不便だからとの二點だが其の眞意が北方政府參加を肯ぜざる事明らかで此の通知を受けた擴大會議委員等は大いに驚愕し今朝來汪精衞氏宅に詰かけて對策協議にふけつて居るが、結局は奉天系の有力人物を張學良氏に代つて政府委員に推戴し間接的援助を求めんとする模樣でおそらく孫傳芳氏に白羽の矢がたつものと觀られてゐる

中央各機關の燒拂ひ斷行 長沙に入城の共產軍

【長沙二十九日發電通】共產軍大部隊の入場引續き行はれ今朝迄の入城兵數一萬三千を算し市中の交通全く杜絕し河岸の銀行會社等のビルデング首め市中到る處數百の赤旗翻へり長沙は全く赤露の一都市と化し去り二、三日前を思へば宛然夢の如くである、市中は今や尚黑煙濛々として天をおほひ朝來更に引續き主なる官衙其の他中央機關の燒き拂ひを斷行し官憲の邸宅は完全に掠奪後勞働者の手で燒き拂つてしまつた在留外人の住宅財產は今朝迄は無事なるも共產首領の名で昨夜宣言を發し當市にソウエート政府を樹立し帝國主義的一切の財產大規模企業銀行交通機關等を一律に沒收すと布告を發したから早晚掠奪は免れぬ形勢である

南昌を占領し放火掠奪す 目下在留邦人はない

【漢口廿九日發電通】支那側確報によれば數日來共產軍に包圍された江西省首都南昌は昨夜遂に共產軍に占領され城內は放火掠奪のため大混亂中で省政府主席は武漢方面に逃れた尚同地には目下邦人在留せず

長沙を脫出した邦人は無事

【漢口廿九日發電通】檜丸で長沙を脫出した邦人は廿八日午後七時卅分溯航中の日淸汽船源江丸とあひ全部これに移乘して附近の靖港に

定例閣議 井上藏相缺席

【東京二十九日發電通】二十九日の定例閣議は午前十時開會（井上藏相缺席）幣原外相よりカムチヤツカ漁業支那職局に關し報告あり安達內相より日傭勞働者の失業救濟問題に關する失業防止委員會答申の應急的施設要項に基き豫算に關係なく實施し易きものから着々實行に移りたいと思ふと述べ次いで江木鐵相より外客誘致宣傳が漸く効を奏しこゝ兩三月の觀光外人は相當增加してゐると報告し最後に條約諮詢に關する樞府の情勢につき各閣僚より種々報告あつたが今日二上書記官長と共に輕井澤より歸京せる渡邊法相との談話においては條約の下審查は大體今週中に終了する見込で第一回精查委員會は來週中に開かれることになるであらう、最近伊東伯は頭部に病氣ある爲め大體平沼副議長が委員長に決定するのではないかとの報告あり意見交換の後正午散會した

國際聯盟總會 代表者代理任命

【東京二十九日發電通】本日附を以て外交官に對し左の辭令ありたり

特命全權公使　佐藤尚武
同　子爵　武者小路公共
同　矢田七太郎
同　川島信太郎
大使館參事官　伊藤述史

スイス國ジユネーブに於いて開催の國際聯盟總會第十一回會議に於ける帝國代表者代理仰附らる

大使館商務書記官　長井亞歷山
遞信事務官　小林武治
外務事務囑託　草間志了

同帝國專門委員仰附らる

歸朝と共に參議官を辭任か 安保軍縮顧問の苦衷

【東京特電二十九日發】軍縮會議に對する軍部代表の顧問として派遣され引續き高松宮殿下のお附としてロンドンに居殘りそのお役目が濟んで今や歸途を急いで居る安保大將に就いては一時海相後任說も傳へられたが、寧ろ歸朝後直ちに軍事參議官を辭するであらうとの說が濃厚に傳へられて居る。辭職說の出る所以は同大將が軍事參議官として所謂三大原則の支持者と云ふよりもこれを案出した當の責任者の一人であること、また軍部が同大將を顧問として派遣したのはグラグラの財部全權を制して不徹底無類の後入齋海相のお目附役としてであつて而も所謂三大原則は滅茶々々に蹴されたのであるから參議官の手前又全權顧問の肩書に徵し歸つて同僚に合す顏がないとは彼がロンドンに居た頃から私かに漏らして居た處である、殊に同大將が遺憾千萬に感じて居ることは彼の日米妥協案に對する日本全權の決意の臍が決つた時同大將には何等の相談も無かつたことである、孰れかと謂へば今度の會議は外務省側の會議で海軍部は財部海相初め餘り重きを爲さなかつた、殊に松平、リードの會商となつてからは全く黑幕が下されて海軍側は動もすれば蹕棧敷の觀があつた、殊に甚だしかつたのは會議のクライマツクスたる日米妥協案承認を決意して我全權の請訓の電報は發せられてから數時間の後財部全權から事もなげに安保顧問に示されたのであつた、安保大將がこれを讀んで見ると明らかに全權の態度を決めた最後の請訓であつたので溫厚そのものゝ樣な流石の安保大將も色を爲して

これ丈けの事を決定するのに自分に一言の相談もせぬとは何事であるか、自分は苟も軍事參議官の一人で兵力量決定に關しては容喙の權限と責任を持つて居る

と開き直つた、これを聞くや財部全權の狼狽一方ならず平謝りに謝つた上訂正の電報を打つことゝなり外務省側の連中も來て訂正電報の作成に午前二時頃迄かゝつたのであつたが、その訂正電報は果して什うなつたか既に矢は放たれた後であり第二の矢は遂に要領を得るに至らなかつた、結局安保大將の辭職說も既に此の時グロヴナーハウスの廊下には限なく傳へられて居た處で松平大使が兵力量が大權事項である如く條約締結權も亦大權に屬すると喝破して安保大將と爭つたのもこの頃の事であつた。要するに安保大將が條約に不滿なことは無論のことで、かゝる結果に至つた事に對し「罪は財部と同じだ」とベルリンの旅宿で洩らしたさうで痛く責任を感じて居る事は明らかである

樞府の下審查

【東京廿九日發電通】本日の樞府下審查會はロンドン條約第一部を終了し第二部第六條の水上艦及び潜水艦の噸數算定に關する條項を逐次審議し正午休憩午後一時三十分再開同四時半迄審議を續けた上散會した

減收も或意味で結構 苦しまぬと判らぬ 園公とは老人の茶吞話をした 國府津で仙石總裁語る

【國府津特電二十九日發】仙石滿鐵總裁は廿九日午前十一時四十七分品川驛發西下し午後二時卅五分御殿場着、西園寺公を訪問し約三十分會談しそれより自動車にて箱根に到り富士屋ホテルにて約卅分間休憩、國府津に向ひ國府津館に入つたが記者が刺を通ずると總裁は浴衣がけで寬ろぎつゝ語る

西園寺公とは公の病氣以來會はなかつたので久し振りに挨拶かたぐ話に行つた、從つて何も難かしい話は無い、唯あれ程の大病だつたにも拘はらず回復されたのは國家の爲め結構だつたと云ふ樣な事を述べて後は老人同志の茶吞み話をしたのみぢや箱根には震災直後二、三日目に行つた許りだつたので久し振りに立寄つて見た、又この國府津館も二、三十年前に泊つた事があるがその當時は熱海通ひの發動機船があつて却々土地として繁昌したものだが、熱海線が出來て以來は寂れたやうぢや、なに？滿鐵が年度初め以來五百萬圓も減收して居るつて、ソンナ減收があるのは或ゝ意味からいへば却つて結構ぢや、少しは苦んで見んとみんな藥にならぬ此際むしろ滿鐵としては出來る丈け緊縮することが必要ぢや、滿鐵社員もみんな少しは考へて來た模樣かナ、一體どんな鹽梅ぢや、何？多獅島の問題は怎うなるかつて？そんな問題は斯んな處で訊くものぢやない、傍系會社の整理？それも最う訊かぬことぢや、孰れ出來たら判らう

總裁は同旅館に約四時間休憩の後後れて午後九時廿五分東京發西下した鍋島秘書役夫妻を帶同し同夜十時五十六分國府津發神戶に向つた

精查委員 一兩日中に決定

【東京三十日發電通】ロンドン條約案の樞府における下審查は三十日も續行してゐるが、大體順調に進捗しつゝあるので兩三日中に終了するものと見られ精查委員の顏觸れも一兩日中に決定すべく結局第一回精查委員會は來週早々開かれるであらうと見らる

波土兩國の國交危機に瀕す クルド族の侵略から

【アンゴラ二十九日發電通】トルコの領土は最近數回に亘りペルシヤのクルド族の侵略を受けトルコの國境守備隊がこれを擊退し目下ペルシヤ領土內に在る侵略軍の要塞を攻擊中であるが、これに對しトルコ國務總理イスメツト、パシヤ氏は今回のクルド族のトルコ侵略はペルシヤ政府の指金に依ること疑ひない、故にトルコは國內平和確保のため戰爭を辭せないであらうと演說し一大センセーションを起しペルシヤとの關係紛糾に至つたトルコ政府は增援軍を國境に派遣しつゝあり、成行は注目されてゐる

歲入不足は充分に補塡さる 三年度繰越剩餘金で

【東京特電二十九日發】既報本年五月末國庫現計の示すが如くその歲入實績の不振は頗る甚だしきを暴露して居るがこの現象はいふ迄も無く經濟界の不況深刻なるを物語るもので歲入不足を來すが如きはわが財政上十數年來無き現象であるこの模樣では或は國庫出納上の異例を遺すに至るやも知れずと懸念されて居る、これに對し大藏當局は三年度繰越剩餘金一千萬圓を以て充分その歲入不足を補塡し得るから結局においては幾分の歲入超過となるものと樂觀して居る而も例年ならば如何に不況の年にても當該年度の決算において歲入超過を來しその剩餘金を後年度の財源として繰越す位の餘裕を示して居るにも拘らず、四年度においては前年度より繰越しの剩餘金を食ひ、これを以て漸く歲入歲出の辻褄を合はすといふが如きは如何に國庫の懷勘定が悲慘なものであるか推して知るべく此程漸く終つた五年度實行豫算の節約といひ目前に控えた明年度豫算編成の難關といひ我國今や未曾有の財政國難に當面して居る事實を如實に物語るものであらう

基督から老莊學へ 排日から親日へ 馮玉祥氏鄭州の陣營にて語る（下） 鄭州にて 一記者

記者は馮氏と對座しつゝ、なほも會話を進め

記者　誤解といへば打倒日本帝國主義とかゞ流行つてゐるとのことですが

馮氏　日本を打倒せよとは聞かぬ打倒帝國主義は全國民の熱烈なる欣求だ、支那を自由平等の地位に安んぜしむるにはどうしてもこの運動をつゞける必要がある、私は日支共存共榮の先天的關係から日本國民のこれに對する同情と援助を希望する……誤解については私にも言分があらうが即ち日本人の一部ではあらうが何ぞといへば私の敵人に買收されて、馮玉祥、馮玉祥、馮玉祥と凡ゆる機會を利用し私を日本の敵人のやうに惡宣傳する者があることだ、殊に私に關する貴國人の著書において甚しい

記者　これは意外なことを承はるその買收された確實なる事實、及びその著書は何といふのでせう

馮氏　外交處で聽いて頂きたい

記者　傍らの日本課員李向恒氏に向つて、あなたが御存じでせう

李氏　床次氏が南京を訪問した時に蔣介石氏から五十萬元を受取つたといふことが頻りに傳へられてゐること、又山崎氏著（世界を動かす十二傑）布施氏著「國民革命と馮玉祥」における「未知數の馮玉祥」の章などは副司令（馮氏のこと）が最も不滿に思つてゐらるゝ所だ

馮氏　何と惡宣傳されても構はぬその實馮玉祥は敵人の宣傳で毫も動かぬ、又眞實の馮玉祥は聽て貴國人に眞實に諒解さるゝことは時が解決して行く

記者　床次氏云々は貴國政界の謠言で私は一場の笑話としか考へませぬが

馮氏　イヤ宜しい眞實だとは言はぬただ斯ういふ工合に誤解があつては困るといふ說明の一例に過ぎない、袁世凱が盛んな時に孫文、黃興を滅ぼす爲め孫文小史とか黃興小史とかが造られて流行つたが結局、袁は革命黨の敵ではなかつた

とニヤリ私を睨み凝い眼を光らして再三馮氏に關する書籍のことを繰返へした

記者　よろしい御不滿のことを滿洲日報を通じて日本國民に傳へませう、今や貴國は黨の天下ですが孫さん、黃さんは日本人の良友でした

馮氏　さうです、孫總理北上の際の神戶における演說は全く私の對日意見なのです

記者　黨、政府の問題に對しては

馮氏　黨は今や擴大會議成立し吾等に兵力十萬の味方が出來たやうなものだ、政府のこと政治のことは閻錫山氏に聽いて頂きたい

記者　戰爭はいつ頃解決する見込ですか又その後の建設方案について承はりたい

馮氏　戰は順調に進捗しつゝあるいつ頃終るかといつて……チヨイと頭を傾け……廿日間で終るかそれとも二十五日かゝるか判らぬ、併し蔣介石の運命は時の問題です、蔣介石さへ倒せば建設事業の如きだんぐ出來る、倒蔣革命は長國最後の戰爭なのです

記者　昔のある名將は平生信仰を有たなかつたが苦戰の場合必ず太陽を拜して精神の慰安とした といふが、あなたは？

馮氏　アヘ……私は眞理を信頼してゐるから太陽なぞを拜まぬ、眞理は不滅だ

記者　御多忙中有難うございました、記念のため一筆願はれないでせうか

馮氏　よろしい拙いが今日の話の總論ともいふべき「共存共榮」と書いて上げませう

侍兵に命じて筆墨を持ち來らしめ雜作もなく認めて私に與へた

馮氏　忙しいのでおもてなしも出來ないが唐外交處長に命じてをくからユツクリ御滯在を請ふ

記者　有難ふ、時に酷暑の頃、切に御身御大切に

馮氏　多謝

氏は黑鼠色の洗ひ晒しの木綿衣に今にも切れさうな六尺褌の亘帶をつゝみ三四合入の五郞八茶碗で香り高い茶を勸めた、テーブルの上には莊子一卷が置かれてあつた、クリスチヤンから老莊の學へ、排日屋から親日論者へ方向を轉換した氏については更に語るべきものがある（寫眞は馮氏と本社記者）

經濟事情を各主要地で調査 政友會が委員を設け

【東京二十九日發電通】政友會は二十九日午後一時四十分定例幹部會を本部に開き左の如く經濟事情調查委員を決定種々意見を交換の後三時半散會したが、三十日打合せ會を開いた上それぐ目的地に向つて出發するはずである

一、福岡　水野顧問、東總務外四名
一、大阪　望月顧問、松野總務外九名
一、名古屋　久原顧問、秋田總務外四名
一、仙臺　元田顧問、龍總務外四名
一、北海道　床次顧問、熊谷顧問外四名

なほ關東を中心とする地方は本部直轄のこと

政友會の策動嚴重取締り 民政黨總務會で交涉

【東京廿九日發電通】民政黨は廿九日午後二時より本部に總務會を開き政友會が財界、況を誇張して地方農村の人心を惑亂し黨略の目的を達せんが爲め譬へば租稅の不納同盟、債務の支拂延期其の他種々の策動を試みつゝあると言ふ各地からの情報に就て協議せる結果これが取締りの爲め牧山、原夫、木檜の三氏を委員として內相に交涉せしむる事に決し同四時散會依つて右三氏は直ちに官邸に安達內相を訪問し交涉した處內相は嚴重これが取締をなすべき旨答へた

滿鐵の諸問題を神鞭理事が說明 大藏省を訪問して

【東京廿九日發電通】滿鐵神鞭理事は二十九日午後大藏省を訪問河田次官、青木主稅局長以下列席の上昭和製鋼所首め滿鐵諸問題に關する滿鐵側の主張を說明した大藏省側は單に聽取したのみであるが鞍山に製鋼所設置の際補助金支出關稅免除をなす事については依然反對意嚮を有して居る

日支連絡電話料

關東廳遞信局にては八月分の日支長距離連絡電話料金を支那側と協議決定したが依然銀安の關係で七月分より一通話時の通話料金において天津、北平へ各十錢、濟南へ五錢方何れも低減になつたと

大藏證券發行事情

【東京三十日發電通】國庫剩餘金の涸渇歲入著減の爲國庫金收支は未曾有の窮乏を示し [illegible] 年度の僅か三分の一を經過るに過ぎぬ七月廿九日に一般會計國庫金の遣り繰の爲め三千五百萬圓の大藏證券を發行するの餘儀なきに至つた、國庫金收支狀況は昨年度は十月末に至り始めて大藏證券の發行を必要としたるに比し今年度は三ヶ月前にその必要を感ずるに至つたものであるが斯くの如き收支の窮迫は剩餘金の減少に伴ひ昨年度より現はれた現象であるが本年に至つてはその傾向は益々著るしく新規剩餘金は全然出ないのみか却つて不足となる悲境に陷り歲入の著るしき漸減と相俟つて今日早くも大藏證券の發行の餘儀なきに至つたものである、而して今後の歲入は既に今日において六千萬圓の缺陷を豫期せられてゐるに對し豫算節約は遂に大藏當局最初の豫定八千萬圓より二千萬圓を減少し六千餘萬圓に止まつたので國庫金の收支は愈々窮屈となるべきは明かで今年度內においては議會の協賛を經た一億五千萬圓の大藏證券では到底不足となるべく大藏省の切拔け策は頗る注目されてゐる

大阪大連線で通信開始さる

長崎大連間海底電信線は故障の爲一時不通となつたので [illegible] 間では [illegible] 遲延を [illegible] 右工事期間中日滿間電 [illegible] 盛り內地及朝鮮側と協議の上臨時 [illegible] 大阪大連線を [illegible] 通信を開始した

排日宣傳文 配布對策講究

【奉天特電三十日發】遼寧國民外交協會では「田中內閣上奏」の極端なる排日宣傳文を發行し各方面に配布したので總領事館では支那側當局に對し嚴重抗議をなすと共に配布を禁止せしめたしかしその後同協會では官憲の目を盜みこれまで數百通に亘る排日文を發送してゐることが判明したので我當局においてもこれが對策につき考究する筈

陸軍經理部異動 主なるもの

【東京二十九日發電通】八月發表の陸軍異動經理部の主なるもの左の如く決定した

第二十師團經理部長　一等主計正　橫田章
任主計監、補糧秣本廠長
陸軍省衣糧課長　二等主計正　丸本彰造
任一等主計正補第廿師團經理部長
第五師團經理部長　二等主計正　山本昇
補陸軍省衣糧課長

獨立守備隊新司令官 森中將に決定

【東京二十九日發電通】八月一日發表の異動に於て滿洲獨立守備隊司令官は久木村十郎次中將に銓衡されてゐたが、今回左の通り決定された

第五師團司令部附　陸軍少將　森連
任中將補獨立守備隊司令官

小學校教員に三割減俸を要求 應ぜぬので同盟休校

【上田廿九日發電通】長野縣小縣郡和田村では廿八日村會議員、學務委員、區長の聯合協議會を開き小學校教員俸給三割を寄附の形式で減俸する事に決し學校側に要求した處學校側がこれを承諾せぬので廿九日より生徒全部八百名を同盟休校せしめ目的貫徹を努める事となつたこれがため學校側は狼狽し校長以下職員十六名は善後策講究中で成行注視さる

安藤課長歸朝

從て歐米出張中の關東廳警務局保安課長安藤明道氏は數日前東京に歸朝したが數日間東京に滯在の上八月六日頃の連絡船で歸任するであらう

東鐵技術委員會

【ハルビン特電三十日發】八月五日東鐵管理局にては工務、汽車、運轉等の技術委員會を開催し運行上に關する協議を行ふであらうと

關東廳辭令（廿八日付）

任關東廳技手（各通）
勳七等　山內茂岡
檜高正員

今日此頃は、旅大の中國名士と我官商の交驩が、普に行はれる▲廿九日の晚は中國側が我官商を星ヶ浦ヤマトホテルに招致した▲座長は李經芳氏である、一皿の鯛飯こそ氏が我宮中で賜つたことあるを想ひ出したものやさうで、食半にして、氏は立ち即吟の

村巷傳呼賜者來、主賓歡聚笑顏開、深慚市隱無兼味、卿上南山壽一杯

なる意味で、南山の壽杯を擧げ、太田關東長官は唐詩の一句

惟使主人能醉客、不知何處是他鄉

を喚び起して、之に酬い、此間孫傳芳氏の、主客間に斡旋これ努むるあり、終に强られ、立つて親しく說の非を論じ、潘復氏も亦やをら腰を上げて、日支親善は、寶性大連、高鍋改むべしと叫び、滿日も立たされて各自所感を述べ洋卓には珍しき、主客上衣を脫いでの談笑振りこそ、近頃になき打寬ろぎ、打解けた會合であつた

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六二六〇	六二八〇
大新	四九一〇	四九二〇
鐘紡	一三〇〇	一三〇四
鐘新	五六八〇	五七〇〇
日糖	不申	四二五〇
郵船	不申	不申
東新	九〇八〇	九〇九〇

東京株式（短期）

	五品	東新
寄値	不申	九〇三〇
高値	不申	九一〇〇
引値	不申	九〇二〇
安値	不申	九〇二〇

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	三一五三	三一一七
九月	三〇二九	二九九八

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	三〇六〇	三〇六七
九月	二九六〇	二九七一

神戶期米

限	後場寄	後場引
八月	三〇七〇	三〇六九
九月	二九六六	二九六五

橫濱生絲

限	後場一節	後場二節
八月	七二三〇	七一九〇
九月	七〇四〇	七〇五〇
十月	六九〇〇	六九一〇
十一月	六八九〇	六八九〇
十二月	六八八〇	六八八〇

神戶特產（卅日）

品目	値
大豆現物	五五〇〇
先物	四五〇〇
豆粕現物	一五〇一
先物	三二〇一
滿洲小麥	四四五〇
豆油現物	八九〇〇

滿日地方版

奉天

州外聯盟野球戰 來八月二日から 奉天軍必勝の意氣

州外聯盟野球大會は愈々八月二、三、四の三日間奉天新グラウンドにおいて安東、撫順、長春、奉天のリーグ戰が行はれることになつたが試合は一日に一回宛擧行される筈であるなほ昨年は撫順チームが優勝してゐるが今年は奉天が必勝を期してゐるので花々しい接戰が演ぜられるものと期待されてゐる。

商議旬報を 月報に變更決定

奉天商議では廿八日午後一時から委員會を開き問題の旬報改善案に對し種々協議をなしたが結局經費の點から旬報と彙報を廢しこれを一括して月報となすことに決定して二時頃閉會引續いて三時より議員會に移り先づ月報發刊の說明あり次いで昭和製鋼所滿洲設置に關する大連の大會經過報告をなし續いて奉天獨自の市民大會開催に關する打合せをなした結果二十九日夜民會、區長、地委、商議の四團體と新聞通信記者懇話會と大會準備の打合せ會を開くことになり午後六時頃解散した

麵類一割强値下 奉天署に許可願出

奉天飮食店組合では過日開かれた臨時總會において時潮に鑑み自發的に麵類の値下げを行ふこととなり廿九日奉天署に許可願を提出した奉天署では目下審議中であるが多分許可となるべく近く實施されるやうにならうと尙その二、三を示せば左の如くで平均一割强の値下げ率となつてゐると

かけ(うどん、そば)九錢▲しのだ十三錢▲もり十二錢▲ざる十八錢▲冷むぎ、冷そうめん、玉子とじ、花巻そば各廿錢▲けいらんそば廿五錢▲鴨なんばん廿五錢▲親子丼四十錢▲天丼並に木の葉丼各四十五錢▲支那うどん十三錢

赤痢コレラ 豫防錠劑 無料で配布す

奉天區衞生委員會は廿八日午後二時からヤマトホテルにおいて開催され左記諸事項につき協議決定したがその中赤痢及びコレラ豫防に關しては從來の豫防注射を廢し新たに錠藥を使用することになり既に滿鐵本社から當地に三千人分(但しコレラ錠藥は來月來る)を送附して來てゐるので希望者は開業醫又は消防隊に行けば無料で與へられる筈

兩教會設立許可

六月十二日奉天聖公會設立許可願を提出せる稻葉町六番地根岸卯太郎及び五月十五日神習教奉天教會所設立の許可願を出せる平安通り廿二番地櫨本作治の兩氏に對し廿八日附を以て關東廳から設立許可の通知が奉天署に來た

九月以後の 勤務演習召集者

本年九月一日以來勤務演習に召集せらるべきものに對しては特別大演習、師團對抗演習、師團秋季演習等のため召集せらるべきものを除く外本年に限り勤務演習の召集を行はざることになつてゐるが奉天兵事管內において九月一日勤務演習に出づべき步兵廿四名その他十五名合計卅九名に對しては既に本月九日乃至は十日夫々召集令狀を發してゐるが右によると或は勤務演習もお流れになるであらうと

巡警隊が [illegible]交戰 兇賊五名逮捕

廿八日夜十二時頃滿鐵と北寧線のクロス地點(管外)にて擧動怪しい數名連れの支那人を巡邏中の巡警隊が發見し誰何するや彼等は突然發砲したので應戰し茲に暗中入り亂れて物凄い大交戰となつたが巡警隊はひるまず戰ひ遂に賊の五名を逮捕し公安局に引致して目下嚴重取調中であるが彼等は管外荒しの馬賊の一味と觀られてゐる

一萬圓拐帶

奉天小西關井上誠昌堂藥房方の店員支那人李迎春(二〇)は廿八日主人の命を受け支那側軍務處に現金一萬圓を受取りに行き同日午後七時頃一旦歸宅したが歸宅の際「お金は一文も貰へなかつた」と稱し暫くして姿を晦ました調査の結果一萬圓を一旦持ち歸り現金は貰へなかつたと欺き逃走の準備を整へ該金を拐帶行方を晦したことが判明したので目下犯人嚴探中である

町の便り

奉天寫眞倶樂部では過日醫大記念館にて第十三回七月例會を開き出品印畫四十點今月特別課題夜景十數點につき會員互選の結果左記の通り入選しついて作品に對する相互の批判感想談あり夜十一時頃散會した

第一席 塔灣風景 市岡光葉
第二席 曠野 同
第三席 德利と桃 中野逸馬
第四席 風景 高松麗光
第五席 畑へ 同
第六席 草取る人 岡田氏
第七席 靜物 同
第八席 西塔風景 桑田樂洋
第九席 水蓮 荒木氏
第十席 夏の日ざし 岩崎義雄

◇

八ケ代奉天領事館司法領事は佐藤領事着任後令孃の見舞旁々賜暇歸朝をなす筈である

◇

女流畫家として知られてゐる橫山松琴女史は六十七歳の老齡の身を以て遙々渡滿したが近く來奉する筈で奉天においても展覽會を開催すると

人事

▲安保海軍大將 二十八日夜長春より過奉安奉線にて內地へ
▲近藤大佐 同上
▲川崎東京鐵道局旅客課長 同上
▲森醫大幹事 二十八日夜赴連
▲青木車輛事務所長 二十九日歸奉
▲門間新任勸業係長 二十九日家族同伴着任
▲王家楨氏 二十九日京城より歸奉

哈爾賓

吾等の町を語る 三十年前の思ひ出 日支協調した時代が懷しい

共濟會幹事 山本六太郎氏談

人口四十萬、この先どれだけ發展するか判らない特殊地帶の傅家甸も今から三十年前の昔は寂寥たる寒村だつた──この町に日本總領事館が生れるとすぐ開店した草分時代の先達山本六太郎氏は醬油釀造の先驅加藤米吉氏と共にこの村の双璧であるが、山本さんの鳥瞰圖に映つた町の大勢の一齣

◇

「古い話ですよ私のことに根を下ろしたのは、川上俊彦さんが初代總領事として初めて日章旗を揚げられた時、今から恰度廿五年前でした奉天の本店から月給五十圓で支店經營を委任されてやつて來たのでしたが、それ以來一歩も外に出ず全くの越後の蛙でネ……へゝ」

◇

「當時町は電燈も電話もなく、自動車如きは勿論姿さへ見られない泥濘の土地でしたが、今では立派な石疊の文化都市となつたのですから全く夢のやうです、世の中は斯ういふ風に進步してゐるのですが、私はこれ十年一日でネ、世の中からとり殘されたやうな氣持がします、然しこの町はその頃は二階建の家といふものは一軒もない位ゐで、それに土壤の平家が多くこれまで立派に面目を變へやうとは思はなかつたのですが──恰度明治四十一年の肺ペスト流行の時罹病者の家屋は片ツ端から燒き拂ひ殆ど不潔な民家はこれがため一掃されましたのでその後新築の家屋はいづれも煉瓦建に改築され次第に二階建も出來、大正七、八年の好況時代、歐洲大戰で俄に景氣が出て來て建つ、立つ、次から次へと擴がり今日の大厦高樓が浮び上つたのです」──とペストと好況時代が町の新生命の活力素を注入した原因であつたと六太郎さんの追憶の糸がくり擴げられて行く恰度町の伸びたやうに

◇

「其頃(今から廿年前)我々の自治機關として共濟組合を組織し──日本人會と稱した居留民會の前身の──民會から分離してお互に救濟の方法を講ずることになりこの機關は今も尙現存してゐるが、會員は當時に比べると十分の一の數の三十餘名となり、孤影寥々殘骸にたて籠つてゐるに過ぎないのです、これらのものも現狀から行くとやがては經營を退かねばならぬ時機が來ると思ふのです、實に心細い話ですネ」──四十萬有餘の大都市に邦人僅かに女小供を合して百餘名が居住してゐるのに支那官憲はこれらの人々をも家主を壓迫して退却せしめやうとしてゐるのである、不平等條約の撤廢を絕叫する支那自身が、過去の慣例を無視し且つ直接間接に壓迫を加へて少數邦人の生活を脅威し根こそぎ居住權を剝奪しやうとするの態度は──寧ろこれが不平等の待遇でなくて何であらう──關東州內における完全なる行政權を有する我治權の治下において支那居住者が自由平等の待遇を受け、しかも文化施設のもとに生活の安定を得てゐる事實と比較して果してどうであらう?極端なる不平等政策をとつてゐるのはその罪いづこにあらう?──と筆者は言ひたくなる

◇

「支那官憲の理由ある規則には私共は別に反對するものではありません、四角四面な理窟は必要はないのです、直接かうした環境にあるのですから出來るだけ服從し協調して行きたいと考へてゐます、この點では傅家甸領事と稱された根津書記生時代の圓滿な日支官憲の親睦が想ひ出されるのです、根津さんは大酒吞みでしたよだが縣知事とは殆ど兄弟のやうにして何事があつてもお互に胸襟を開いて交涉され大正二年のあの事件の際でも縣知事は我々に對して充分保護の責任を盡すから騷いで貰つては困ると制止した位ゐで、其れは非常に圓滿なものでした」と感慨無量

◇

町は開けるが日本人は住めないこれぢや解け行く夏の氷である、殘燈の一燭である、然し何がさうさせたか?支那人の排他主義功利主義日本人の共存共榮の精神が缺けてゐるの?對立するものは相うつため?支那官憲にしても特に排斥する意志はなからう、問題は面子に引懸つてゐる

◇

三十年のこの愛する町の生活もこの儘では捨ねばならないのだらう」?……明暗いづれに行く(寫眞は山本氏)

安東

各階級を網羅し 秘密結社 ＝檢擧既に六十名に達す＝ 寧邊署の中心教手入

寧邊警察署においては去る二十日より異常の緊張振りを以て大活動を開始してゐる、探聞するに同郡延山面における中心教と稱する團體の陰謀事件が暴露したるに端を發したものにして、中心教は何等宗教的內容を有せず唯外部の目を晦ますための假名で其の關聯者は頗る廣汎に亘り寧邊郡內のみにても判明せる一味は二百名と稱せられ既に寧邊署に引致されたもの六十名に上つて居る、此の秘密結社員は農民、富豪、知識階級などあらゆる階級を網羅して居る模樣なるが今後芋蔓式に續々檢擧さるゝ見込で重大視せられて居る

全安軍敗る 對全新義州庭球試合

恒例に依る全安東對全新義州の對抗庭球試合は二十六日當林署コートにおいて開始されたが安東側長谷川、宍戸の力鬪空しく終に敗れた、當日の第三回戰以後の成績左の如し

▲第三回戰 安東 新義州
(長谷川 宍戸)四─二(岡田 李正柱)
▲第四回戰
(長谷川 宍戸)四─〇(山之内 金道乙)
▲第五回戰
(長谷川 宍戸)〇─四(崔貞興 張相熙)

加藤會頭歸新

昭和製鋼所問題のため上京運動中の加藤新義州商議會頭は二十八日歸新、出迎へに安東側より荒川會頭並びに新出書記長が赴新した

兩氏更任挨拶

安東地方事務所新任勸業係長門間比留喜二氏並びに奉天に榮轉の門間前係長は二十八日安東各方面へ歷訪更任挨拶をなす處があつた

人事

▲山本憲一氏(前社會主事) 二十八日十一時四十分新任地本溪湖へ赴任
▲門間堅一氏(前勸業係長) 二十九日十一時四十分發新任地奉天へ正式赴任
▲山內憲孝氏(滿銀支店長) 支配人會議出席のため赴連中の處二十七日夜歸安

鐵嶺

いよいよ來月三日 グラウンド開き 對抗陸競の鐵嶺豫選會を擧行

滿鐵によつて鐵嶺に新設されるグラウンドは大洪水後排水工事と共に諸施設が急がれてゐたが愈々茲二三日中に竣工し來る三日の日曜日にはグラウンド開きを兼ね四地對抗陸上競技全鐵嶺豫選手の豫選大會を擧行する由

赤十字巡廻施療

鐵嶺赤十字社支部では去る二十五六の兩日新臺子において無料巡廻施療を試みたが患者は四百十五名で延人員千八百人、病氣は消化器病とトラホームが最も多數であつた

馬賊の大集團 東豐縣下で 掠奪を恣にす

二十三日東豐縣下石灰窩子附近に馬賊頭目金山、長江の率ゆる聯合馬賊四十名の一團現はれ掠奪を逞うしつゝありとの報に接し大肚川公安局では空前の大討伐隊を編成、宋局長以下二百七十餘名の公安局軍隊聯合して現地に急行したるが賊團は斯くと知つてか討伐隊の到着前に逃走し約四十支里を追跡せるも遂に發見するに至らなかつたといふが、前記二頭目の部下は最近著るしく數を增し現在約六七十名を擁し主として柳河子附近にあり、屢々同村落を襲擊しつゝありといふが最近は各地とも討伐出動に忙はしく大肚川の如きも市中の警備頗る手薄なるため駐屯の騎兵隊は早朝討伐に出で夕刻歸り市街警備の任にあたつてゐると

新臺子に街燈

電燈施設の完成で新臺子は面目一新し今後の發展を豫想されてゐるが鐵嶺地方事務所でも市街美を保たしむるため市內重要地二十三ケ所に街燈を設置するに決し近く竣工する

哈爾賓

ゴルフ競技 哈軍勝つ 長春軍振はず

オール長春と哈爾賓のゴルフ對抗試合が廿七日の直射百廿度餘の炎天下において開催された、長春軍の陣容は石關、田邊、則生、寺內、栗原、石崎、手島、島名の八氏哈爾賓軍は宇佐美、石原、前田、井川、古田、平田、堀江、佐賀の人々で試合の結果九對三で哈軍が斷然快勝した、八月十日には哈軍が長春へ遠征する

撫順

全撫水泳大會 來月三日西公園プールにて

水泳競技年中行事の華で大小河童連の待ちきつたオール撫順水泳大會は八月三日西公園プールにおいて擧行に決定した、當日は大衆的興味本位とし參加選手は正選手はもとより女學校、中小學校、一般市民等範圍頗る廣く各方面寄贈の賞品も盛澤山で未曾有の盛況を豫想されてゐる、プログラムの主なるものは大略次の如し

△自由型 二十五米、五十米、百米、二百米、四百米、千五百米
△平泳 二十五米、五十米、百米、二百米
△青年團の各分團對抗競技
△背泳 五十米、百米、二百米
△ウオーターポロ 團體の水中水瓜爭奪戰その他
△女子自由型 五十米、百米、平泳、五十米、百米、二百米
△各種曲飛

伍堂部長は 本社勤務

鞍山製鐵部長兼炭礦部長伍堂理事は歸社後は撫順乃至鞍山の何れかに在勤、且つ居を構へるものと一般に想像されてゐるらしいが、二十八日附で、伍堂理事は大連本社在勤し必要に應じて撫順乃至鞍山を巡視されるとの入電があつた、從つて炭礦部長の實際的仕事は主に栗島次長が處理する事となる譯である

德山精蠟工場 來月作業開始

撫順頁岩油工場の延長とも云ひ得る德山精蠟工場の諸機械の据付も既に全く完了、愈々八月十日頃實作業をなすことゝ決定した、過般大連より初移入の粗蠟は同月五、六日頃陸上げし直ちに前記の如く精蠟に着手される譯である

哈爾賓

ハルビンの特殊病は 小兒の百日咳 「病院は至極閑だ」と 日本病院の城野臨時院長語る

日本病院長增田博士の歸省中奉天醫大から臨時院長として來任した城野寬博士はハルビン地方の病勢について語る

私は奉天の醫大を卒業後京大に派遣されたが滿洲生活十有餘年中一度もハルビンには來なかつた、京大では皮膚の細胞核について研究し漸く論文は通過し、文部省に廻つてゐる、ハルビンは奉天とひどく變つてゐるとは思はぬが

小兒科の方では百日咳が多く、傳染性のため子供は殆ど罹病してゐる樣子で、急性肺炎となるから各家庭では注意する必要があらう、これも氣候の關係かどうか詳しいことは研究してをらぬが傳染する病氣であるから子供が集つて遊ぶため感染しやすいのである、內科方面では十名ばかりの患者を診察してゐるが、奉天にゐると手のすく隙がない程だが少ない──別に變つた病症の人はない──こちらの病院には最初から

診察を受けに來る患者が殆どないと云ふ位で、市內の醫師に診斷され最後に入院する人が多いやうである

日本病院としては大體において醫師の匙をなげた病人を引受けてゐる形で自然入院者に死亡率も多い譯である、因みに氏は一ケ月後になつて若し增田博士が歸哈せぬ場合は奉天から他の博士が來哈し歸

學生團の實習 近く東鐵へ

ハルビンの法政大學、北平大學其他の學生二百四十二名は近く東鐵にも實習のため來ることになつてゐるが、半數はソウエートの學生で他の半數は支那學生で五名は二重國籍を有するもので二ケ月間練習をする豫定である

東鐵沿線調査

東鐵南部線に於ける列車顚覆事件に刺戟され工務課ではシュミキン、プルレリニスキー、ダレウイ

被害者から抗議 列車顚覆事件に對し 東鐵の態度注目さる

五家、雙城堡間の列車顚覆事件に乘客中の負傷者は東鐵局長に宛て事件發生の地點はハルビンから僅かに四〇キロ米突であるのに救助列車の到着したのは四時間を要し其の上茶もパンも無く且つ雙城堡からの旅客車が到着するまで待合し漸くハルビンに送つたのは何と云つても失態であると公開狀を出したものあり、この事件のため手足を失ひ生命を短くした者もありこれ等を如何にするかと述べてゐる、然し事件は鐵道側の過失ではなく故意に顚覆を計畫した不可抗力のものであるから東鐵としては果して如何なる解決を與へるか注目されてゐる

チの各技師は廿一日長哈間の線路を視察したが、廿七日は一面坡、廿八日は穆稜方面の東部線の線路を調査すると

米人一行馬賊に襲はる

廿七日午後五時半ヤフトクラブ前方の十路島でニューヨークシチー銀行支配人グレーン、チカテレド銀行支配人メーイ、スタダード會社支配人モールの四氏が四名の拳銃を所持した支那馬賊に襲擊されモータボウトを抑留のうへ金時計、指輪其他貴重品全部を掠奪し悠々と舟により對岸の草叢中に逃亡した、恰度多數の水浴者が游泳中であつたが、モーゼルを發射した音を聞いて婦人子供等は大騷動をした

哀れな幼女逝く

哀れなる母子として仁和寮に救助されてゐた福岡縣三池郡三池町與太郎の孫梅谷ツマの女兒アイ子(六つ)は遂に榮養不良とチブスのため廿七日死亡した、民會では行路病者として埋葬した、何處までも不幸に生れた子供であつた

濱江雜俎

白髮小學校長は滿洲里方面の視察のため廿六日出發

◇

石原重高氏は廿九日午後洮南に向ひ事務を引繼直に歸哈も正式赴任の由

◇

歐洲の各國で日本女子のため氣を吐く人見絹江孃一行の選手は三十日の歐亞連絡で京都市立二條高女教諭井尻忠雄氏と共に出發

本年一月一日から七月十七日の間に東鐵各沿線で信號燈の電線繩が十九回盜難に罹つた、それかいづれも三千米突程竊取してゐるので其の都度警察に屆け出てゐるが一向に發見されない、信號所では十二分注意をしてゐるが、繩の結び目から切斷し竊取するので殆ど手掛りがない

◇

訥河の氾濫で東支商業代辦所は浸水したので東鐵からは直に技師を現場に派遣し軌條の流失を防禦中浸水はかなり廣い地域に及んでゐる

◇

二十三日午前一時半頃東鐵獸醫局の向側にあつた小舍から失火し乾草百俵を延燒して鎭火した

鞍山

弓道の＝リーグ戰＝ 來三日井井寮で

鞍山弓道部では來月三日井井寮

作業中に墜落 鳶職の奇禍

鞍山製鐵所工作課鳶職石槻一郎は二十九日午前十一時頃選鑛工場增築工事作業中誤つて高所より墜落し骨盤の骨折れ重傷を負ふた直ちに滿鐵醫院に入院應急手當を施したが生命には別條なしと

久布白氏講演 卅一日開催

婦人矯風會幹事久布白落實女史は大連旅順等にて宣傳に努力して居たが三十一日來鞍し午後七時三十分より實業會堂において一般婦人のため講演會を開催、多數の來聽を歡迎すると

醫藥學集談會

鞍山滿鐵醫院醫藥學集談會七月例會は二十九日午後二時より本院三階廣間において開催されたが演題左の如し

一、日常遭遇する主要なる急性中毒に就いて　國分信雄
一、レ線診療の近況(三)　岡本蓮太郎
一、經口免疫に就いて
一、[illegible]療法とワ氏反應　山松

德永博士視察 けふ來鞍

早稻田大學教授工學博士理學博士德永重康氏は三十一日六時十分着列車にて來鞍し鞍山製鐵所を視察し午前十時發運鑛電車にて大孤山採鑛狀況を視察すると

富永次長歸鞍

本社において部次長會議に出席中であつた富永製鐵部次長は廿八日六時十分着列車にて歸鞍した

「いろは標語」の賞品贈呈

鞍山實業青年團では去る二十二日衞生宣傳いろは標語を募集したが應募者七十七名の多數に達し審査の結果正解者は三名、一等より七等まで等級を定め八月二日實業會において授稿者全部に對し賞品を授與するから出頭されたしと

店員慰安活寫

鞍山滿鐵社會係では八月三日午後七時三十分より滿鐵館において社員慰安活動寫眞大會を開催するが映畫は「血煙荒神山」九卷「大洋兒」十卷で大人三十錢小兒十錢だと

商店協會役員會

鞍山商店協會では八月二日實業協會堂において役員會を開き重要事項を協議すると

電報に印字機

鞍山郵便局では八月一日より和文電報の受信方法をタイプライターに變更することになつた

優勝盃の庭球戰 來月三日擧行 申込は卅日迄

鞍山製鐵所工作課長矢野耕治氏寄贈の庭球優勝カップ爭奪庭球戰は來月三日小學校前コートにおいて個人試合を開催する、出場希望者は前後衞一組を造つて大谷(社內五〇)、古田(鐵魂)、庭球幹事の何れかへ三十日までに申込まれたしと

地藏尊の開眼式 ＝九月上旬に＝

有志の發起で建立される地藏尊は先夜石川委員長宅の委員會で內地の有名な專門家に依賴する事となり、竣工は來月下旬、九月上旬には盛大なる開眼式を擧行に決し之が準備に着手した

營口

營口埠頭擴張に對抗し 河北驛の新施設 五十萬元を投じ三年間に竣工

滿鐵線營口埠頭擴張に對抗すべく北寧鐵路局長高紀毅氏は豫て河北驛の擴張を謀つたが最近漸く具體化し去る九日高氏自ら來營し實地調査の結果近く起工の豫定であると、工事期間は三ケ年總經費現大洋五十萬元を投じ紅草窪と現河北驛間の河岸工事、埠頭倉庫の建設、軌道敷設をなし附近の空地には市場を開設するものである、尙營業鹽灘産出の鹽運搬のため鐵道を敷設しこれを河北驛に吸收する計畫なりと

水泳の初大會 來月四日新プールて

營口水泳倶樂部は來る八月四日午後三時より第一回競泳大會を新設プールにて擧行するが、競技種目は左の如し

▲成人の部 (一)自由型三〇メートル(二)同一〇〇メートル(三)同一〇〇メートル(四)平泳三〇メートル(五)同五〇メートル(六)同一〇〇メートル
▲婦人の部 (一)自由型一八メートル(二)背泳五〇メートル
▲兒童の部 (一)自由型一八メートル(二)平泳一八メートル

牛家屯に馬賊

二十九日午後五時半頃牛家屯村落附近に馬賊らしき五、六名の怪しき支那人が徘徊し居る旨急報に接したので營口署から林警部長、堡雨警部以下現場に急行し捜査に從事したるが暮色既に迫り且つ賊の行方もはつきりしないので一先づ引揚げたが尙極力捜査中である

僞造の銀貨

從來の邦貨五十錢僞造銀貨は鉛、錫に銀を鍍金したるものなりしが最近の銀安で純銀を材料とするやうになり最近營口驛出札係から金中に二枚を發見した、因に僞造貨は彫刻淺く多少不鮮明だから一般に注意されたしと

苦力來營減少

商業會議所では支那人苦力が北寧線に依つて北行する者漸次增加し滿鐵線による者激減の狀況により六月分苦力集散狀況を調査したる處、昨年同期と比較しく滿鐵線四等票乘客が約三分の一に減少して居り尙入港鉅人船客も約半減した此の現象は三月以來の傾向で六月に至り著るしくなつたと

長春

藤原貨物主任赴任

長春驛貨物助役から遼陽驛貨物主任に榮轉した藤原龍一氏は卅日八時三十分發急行で出發赴任した

人事

▲木村銳市氏(チエッコ公使) 夫婦廿八日哈市より來長大連へ
▲大岩峯吉氏(長春地方事務所長) 廿八日四平街往復
▲得丸龍太郎氏(長春地委副議長) 廿七日大連より歸來

北關夜話

地方事務所庶務係のタイピスト矢野さんのお宅に去る廿六日の晩九時卅分頃何處からともなく流彈が飛んで來て矢野さんの傍にあつた茶碗に命中した▲驚いたのは矢野さんばかりではない、母親とお友達、全くキゼツしさうだつたと▲この流彈は城內方面から飛んで來たらしいと危險な事で御座るわい

遼陽

工兵隊演習 鐵嶺へ出張

遼陽駐剳工兵隊金原中隊長以下約一百名は八月四日から九月六日まで鐵嶺における渡河演習のため出張すると

土曜會例會 送別を兼ね

遼陽土曜會では近く異動發表さるべき陸軍關係會員の送別を兼ね二日午後七時半から滿洲ホテルにおいて例會を開催する、出席希望者は三十一日までに當番幹事憲兵隊(電二八)郵便局(電四〇〇)へ申込まれたし

師團長招宴

遼陽駐剳第十六師團長松井中將は一日午後六時半から偕行社に官民有志を招待すると

人事

▲石岡武氏(地方部庶務課調査係主任) 二十九日各所歷訪告別挨拶
▲中村俊夫氏(遼陽地方係長) 同上新任挨拶

普蘭店

小學兒童聚落 杏樹屯海岸に

普蘭店小學校生徒尋常三年以上二十餘名は教員附添二十六日より八月一日まで金福沿線の杏樹屯海岸に聚落海水浴を行つてゐる

社會教育映畫 來月は金福線に

普蘭店奬學會にては社會教育及び地方居住民慰安の目的を以て先般普蘭店會外十ケ會に對し巡回活動寫眞を行ひ好評を極めたが、更に八月中旬よりは金福沿線の各會に巡回上映する由

武道土用稽古

普蘭店民政署にては去る三十日より八月二日まで武道土用稽古を施行し居るが當地は最近柔劍道共有段者多數に上り每日火の出るやうな稽古を續けて居る

瓦房店

優勝旗爭奪 庭球戰 機關區捷つ

瓦房店機關區及び地方事務所に於ける優勝旗爭奪庭球試合は二十六日午後三時より事務所コートにおいて施行したが機關區側の優勝に歸した

劍道優勝刀爭奪試合

瓦房店滿鐵運動部にては二日午後一時より土用稽古を兼ね劍道優勝刀爭奪戰を行ふ事となつた

地方委員會と區長會

地方事務所にては二十九日午後三時より地方事務所會議室において委員會及び區長會を招集し午砲其他の問題に就き意見を徵した

野風呂氏の歡迎句會

現俳壇の重鎭として有名なる京都鈴鹿野風呂氏の來瓦を機とし三日午後二時より社員倶樂部において氏の講演會、同四時より歡迎句會を開催、持寄句課題「瓜」五句以內、二日午後五時までに提出の事會費一圓五十錢夕食其他に充つる筈

四平街

四車掌新任

瓦房店列車區野村藤太、白石七郎、川口義三、大石榮一の四氏は今回新に車掌に任命せらる

不當な賃金を貪る支人俥夫

四平街市街の交通機關は支那人の洋車、馬車のみであるが、彼等は一定の賃錢が制定しあるにも拘らず婦人又は支那語を解せざる者には不當の賃金を强要し、之に應ぜざれば雜言を放ち侮蔑を與へるのが常である、先日も奉天から來た某店員が郵便局前より鐵道東側合名會社までの往復して金票二圓を强要せられし事實があり、一般に取締方を希望してゐる

絹布は海外へ 國民は綿織物で
世界的不況を餘所に
堅實なフランスの綿業界

世界的不景氣の折柄、フランスの經濟界は比較的好景氣で、同國中央銀行の金準備が益々増加しつゝある、本邦の産業界と深い關係の深い綿業に關し少しく左に解説を試みよう

世界の第四位

日本やイギリスに較べ、フランスの紡績がどれだけの大きさを持つて居るかといふに、次の通りである(單位千錘)

イギリス　五六、二七七
アメリカ　三四、六三一
ドイツ　一一、二六〇
フランス　九、八九一
日本　六、八三七

(萬國紡織聯合會本年一月末調査)

即ちフランスの紡績錘數は、我國よりも遙かに多いのである。其他織機、捺染機においてもフランスは頗る優越な地位を占めてゐる

	織機	捺染機
イギリス	七四、九四一臺	一、一〇〇臺
アメリカ	七〇七、六八〇同	三六六同
ドイツ	二三〇、〇〇〇同	
フランス	一九二、六〇〇同	三六五同

更に棉花の消費高を見ると、次の如くになつて居る(單位千俵)

イギリス　二、七七五
アメリカ　六、九〇四
ドイツ　一、三三〇
フランス　一、二〇三
日本　二、九六九

(萬國紡織聯合會發表本年一月三十一日を以て終る一ケ年の統計)

戰前に較べると、イギリスの棉花消費高は殆ど半減して居る、然るにフランスに於ては、戰前と同じ位の消費高になつて居る、更に紡機一千錘當りの消費高を見ると、イギリスはざつと五十俵、フランスは百二十俵位になつてゐる

需要は國内

イギリスの綿業は、七、八割まで輸出に依つて持つて居る、日本の綿業も亦半分の海外市場を目宛に生産してゐるのである、ところがフランスの綿業は内地市場が主たる販路で、輸出は二割位にすぎない、その二割も大部分はフランス自身の植民地に行くのである、一寸此處が頗る興味のある點で、考へるとむしろ不思議に思はれる位である、日本人中にはフランス人を非常に華美な國民と誤解してゐる者もあるが、實際はさうでない、從つてフランス人、殊にフランスの婦人が綿製品を身に纏ふことは非常に多いのである、それであるから僅に四千萬人の人口を以てして、フランスの綿業の生産品の殆ど全部を國内で消化し得るのである

絹織物は海外

序に今一つフランスの女が如何に衣服に綺羅を張らないかといふ證據を示さう、それはフランスの絹織物の輸出がこれを物語る、フランスは絹織物の生産が盛んな國である、けれども此の方は、外國市場を主たる目的とし、半額以上は海外に輸出される、つまり國内では安い綿製品を用ひ、高價な絹製品は海外に輸出するといふ譯である、然しフランスの綿製品は頗る藝術的である、色彩や模様の美しさ、新しさに於て大いに學ぶべきところがある、又織り方の新工夫に於ても優れて居る、綿業は世界的に不況である、フランスと雖も御多分に洩れない、けれども、國内市場を主としてゐるだけに樂なところがある、そしてその國内市場は關税の障壁で守られてゐる

投書歡迎
新聞行數五十行以内のこと
中傷を目的とするものは選らず

在滿商人自覺せよ
住　庵

近來數島廣場或は奥町方面の市内に於て比較的支那人の多く密集する地帶において小さな屋臺で支那人相手に氷やアイスケーキを賣つてゐるのを見る、それは殆ど日本人であるのを見て自分は非常に嬉しく思ふ勿論その動機においては近來の不景氣が互に邦人同志の共喰ひを不可能ならしめて、どうにも、かうにも行けなくなつての結果ではあらうが然し邦人が斯く目を彼等につけた事は非常に賢明と云はなければならぬ

數年來より邦人商人間に滿鐵消費組合の撤廢が大なる問題となつてゐるが自分にいはすれば、まことに取るに足らざる問題であると思ふ、若し消費組合が撤廢されたと假定し、果して邦人商人がその購買力を從前通り維持し得るか、撤廢により果して邦人商人なぞの賣上を期待通りに増し得るか甚る疑問である、自分は恐る、撤廢によりその購買客の多くが薄利にして勤勉なる支那商人に吸收されるであらう事を

在滿邦人商人よ、目を大きく開け、而して淺挾なる共喰根生を改めよ、消費組合の撤廢を論ずるより前に何故目を彼等支那人の購買客に向けないのだ、何故彼等の趣味、嗜好に適せる商品を販賣しないのだ斯くてこそ始めて在滿邦人商人發展の無限の進路が見出されるのだ、斯くてこそ始めて吾等の不況が打開せられるのだ。

驚異的に殖えた 勞農各紙讀者數
勞働者農民自ら執筆

モスクワでの發表によると社會主義的建設の途上にある勞農聯邦で最近特に顯著な現象は教育の普及に伴ふ文盲の減少と、新聞讀者の驚異的増加である。一九二九年六月一日現在の勞農聯邦内の新聞發行部數は總計一日千二百六十三萬五千だつたが一九三〇年六月一日に二千四百七十二萬二千に達し一九一三年帝政ロシヤに於ける總發行部數の七倍半に及んだ。殊に著るしいのは各地方語に依る新聞紙の増加で二年前には四十九の地方語で發行される新聞數二百を出でなかつたが現在では五十八の地方語及び發行新聞數三百四十九に達した。雜誌も百三十から三百五十七に激增した。これを一九一三年主として宗教雜誌數十を出なかつたのに比すれば非常な相違と言へよう。モスコウに於ける主な新聞紙の發行部數は左の通り

プラウダ(共産黨機關紙)　百五十萬
イズヴエスチヤ(勞農聯邦政府機關紙)　百萬
ラボチヤヤ・ガゼタ　五十萬
コムソモルスカヤ・プラウダ(青年共産黨機關紙)　三十五萬
クレスチンスカヤ・ガゼタ(農村相手の新聞)　二百萬

この外に大工場及び農場で發行される日刊紙の數一千に近く然も勞働者及び農民が自ら執筆してゐる

我等の讀者總數は二千四百萬に昨年に比すれば殆ど十割の増加を示して居る

のが多い。なかには二萬五千の讀者を有するものもあつて此の種工場紙だけでも一日平均發行高二百萬に達するといふ。そこで勞農聯邦内で印刷刊行されて居る新聞の讀者總數は二千四百萬に昨年に比すれば殆ど十割の増加を示して居る

紅い夕陽

支那側では省政府の命令により六十年以前の木版書籍並に末時代前の古書類一切の海外搬出と個人の賣買を嚴禁する旨布告した、右は「寶保存」の意味から南方政府より遼寧省政府に達し各縣に轉令されたものらしい▲遼陽縣長文若氏は前任者が收賄其の他不正事件の爲め罷免された跡を襲ふて赴任した關係上縣治に鋭意努力中であるが▲管内多數村長中には國土盗賣、阿片吸飲、自衛團の組織に從はざるもの村民と結託して賦課金の上納を怠るもの等十七名を引致し第二監獄に投じて取調中だと、縣民中には文縣長の處置は誠に公明正大であると賞讃して居る者も尠からずと【遼陽】

汽車汽船で御旅行の事は何でも御用下さい
ジャパン・ツーリスト・ビューロー(大連市伊勢町角)
電話五五五四・四七一三

南アルプス縱走記(九)
東京　大野恭平

◇暴風雨と吹雪◇

恐ろしいのは夏は暴風雨、冬は吹雪である。秒速二十米突以上の風では人間は立つて居られないと言ふが、高山の上では三十、四十米突の風も珍しく無い。更に惡いのは、それが突風であつて、ドッと來てパタリとやむ場合である。刃の刄のやうな痩尾根、千仞の斷崖ではこれは禁物だ。大正三年一月富士の七合五勺の所でこの突風に吹飛ばされて墜死した某小學訓導が、日本最初のスキー登山の犠牲だとされて居る。大正十五年白根間の嶽で墜死した某銀行員もこの突風の爲らしい。

風だけならば岩陰か偃松の中にもぐつて頑張れば助かる。併しそれに雨と從つて烈しい寒氣を伴つて來る事が、盛夏に多くの凍死者を出す所以だ。大和の大臺ケ原山などで其例が多いのは南國だといふ土地柄本來防寒具の用意に油斷があるのだらう。明治三十八年七月乘鞍での六名の學生の凍死、大正二年八月の木曾駒で某小學校長以下十名の小學生が算を亂しての凍死など皆暴風雨の爲だ。昭和二年七月私は國師岳で暴風雨に逢つたが、それまでは荷厄介だつた毛布と、小さい爐爐と何んなに有難かつたらう。

夏の暴風雨は冬の吹雪である。日本アルプスでは五月ごろまで吹雪が來ることがある。大正七年十月宮城縣第二中學の教師三名と生徒六名が犠牲となつたのを初とし、雪質と風の通路に當る關係だらう山形縣境の藏王、吾妻の附近では年々二三組の遭難事故を出して居る、大正十二年一月板倉君の立山での遭難も勝れたアルピニストの一行の事故として永く忘れられぬであらう。

◇山の犠牲者◇

多山の危險は吹雪と、雪崩の外に、雪庇とクレバアスによるものも有る。それは七月の事だが穗高の又四郎谷の雪溪のクレバアスは大正五年三名の學生を呑んだ。雪崩は昭和三年一月針木峠で早大山岳部の一隊を犠牲にし、今春又立山で田部君一行五名を犠牲にした喜作新道の開拓者、殺生小舍の喜作父子も田部君達の場合と同じやうに小舍の中で雪崩に仆れたのであつた。

岩からの墜落としては昭和三年三月、穗高で最もすぐれたアルピニストの一人大島君の事故を始めとし、非常に多い。大島君の場合はその原因未だに判明しないが、他の多くの場合は疲勞や夜道の不注意に基いて居る。

使渉では今春川村藍伯の令息三名の黒部での事件がある。その外病死や行方不明や、山は毎年その生贄を求める【寫眞は雲霧捲く鳳凰三山】

探偵小説 女妖(155)
江戸川亂歩作　横溝正史　伊藤幾久造畫

疑問の家(九)

廊下の外からこつ〳〵と近附いて來る跫音――

千家篤麿か、それともその仲間か、成瀬子爵と牛松は息を嚥んで待ち構へてゐる。隱れるに場所はない。窓から跳び出すにも、咄嗟の場合、彼には何の用意もないのだ。跫音は次第に近づいて來た。と、思ふと、扉の外へピタリと止まる續いて、コツコツと叩をする音、牛松と成瀬子爵は息を嚥み込んだ。千家篤麿なら、叩をする筈がない。默つていきなり入つて來る筈。一體誰だらう。

「はてな、誰もゐないのかしら」と外で不審さうに呟く聲がする部屋の中の二人は、一體この場合どうしていゝか分らなかつた。何も知らぬ人間にこの場を見られたら、何といつていひわけをする事が出來るだらう。彼等二人はとりも直さずこの恐ろしい殺人事件の犯人と思はれて了ふ事だらう。ましてや、彼等は、二人とも目下お尋ね中の人物なのだ。

「可怪しいな。確にこの家ときいたが、誰もゐないのかしら、ゐないにしては電燈がついてゐるのが不思議だ」

と外で呟く聲。

「若し〳〵、誰もゐないのですかお手紙を見てわざ〳〵やつて來たんですが、ゐないのですか」

さう言ひながら激しく扉を叩いてゐる。

成瀬子爵はその聲をきくと、何處かで聞いた事があるやうな氣がしてならなかつた。

扉の外の人物は、それでも尚立ち去りかねると見えて、ごと〳〵と廊下を行つたり來たりしてゐたが、やがて思ひきつて把手に手をかけたと見える。ガチリと金具の廻る音がした。

續いて、靜かに扉が開かれる。今はもう、どうすることも出來ない。成瀬子爵と牛松の二人は、まるで作りつけの人形のやうにじつと立ちつくしてゐた。

やがて、扉の外から、

夜の春集街で別れたきり遂に顏を合せる機會のなかつた成瀬子爵だ二人は思はず石のやうに固くなつて顏を見合せた。

「あつ!」

といふ鋭い叫び。

續いてつか〳〵と部屋の中へ入つて來た人物――おゝ、それを見た時、成瀬子爵を始め牛松も、まるで髮が白くなるやうな恐怖を感じた。

今この部屋へ入つて來た人物、それは檢事、蛭田紫影ではないか。

蛭田檢事は、そこにゐる二人にも氣もつかず、つか〳〵とお象の側へ歩み寄つたが、たゞ一言「死んでゐる、殺されてゐる」と叫んだ。

と、その時牛松がそつと扉の側へ寄らうとした跫音に、初めて振り返へつた蛭田檢事は、

「あつ……」

と、思はず聲を立てた。あの雪の降る珍しや成瀬子爵。

酷暑と寶丹

今夏はレコード破りの酷暑續きで暑氣當りに惱される人の多いは勿論恐しい傳染病が流行してゐる。寶丹は昔から夏季必攜藥として大なる信用を得てをるが殊に今夏の如き酷暑の際は欠くべからざる護身藥として各家庭に常備され又海へ山への避暑旅行に攜帶され一層需要多く本舗は各地からの註文殺到し大多忙を極めてゐると。

痔疾療法と食物關係
根本的な問題は先づこれ!

ぢ疾の療法は色々ある、切つて取る方法、燒く方法、注射する方法、藥を用ひる方法、温浴などそれぞれの症狀に應じて行はれる、が一番根本的な問題で豫防的の意義を有するのは食物に注意するといふ事である、痔疾は見方によつては便通の良否から生ずる病氣なのであるから便通を惡くする傾向ある食物や患部を刺戟する飲食物は一樣に痔疾の禁物である。

新鮮な野菜は最も良い食物

日本人は米食である、米食人の糞便は量に於て歐米人のそれに比して遙かに多い。これが痔疾には第一に惡い、殘滓の多い食物は即ち糞便となるものが多い食物はぢ疾に最も惡い、であるから痔の氣のある人は平生からこの事に注意して消化し易く便通を正しくする食物を選むべきである。新鮮な青い、野菜、果物、牛乳、魚類、パン類、海藻類の如きものは何れもよい。之に反して肉類、强い纖維の多い動物性食物、濃厚な魚類、調理し過ぎた食物などは便通を惡くするから好ましくない。又アルコール分や辛いものはその刺戟によつて充血を起し病症を著しく惡化せしめるから禁ずる必要がある。斯かる不適當な食餌を平氣で腹一杯に攝取し一方に痔の手當を施してもそれは毒を飲んでは藥を飲むのと同じで百年河淸を待つと同じである。

痔疾の藥物は止痛藥が多い

ぢ疾には特効藥といふものがないそれ故に平生の攝生が大切なのである、藥として手に入るものは大體皆一樣に痛みを止める藥である要するに比較の問題で甲より乙の方が多少でも効力が强いか弱いかの差異となる、であるから患者が自分で治療し樣とするには實際の効力を標準として藥を選ばなくてはならぬ、實驗の示す處によると一種獨特の優秀なる作用ある藥として知られてゐるものに小松ぢの藥がある、この藥は普通の痔疾藥と全然主成分を異にして居り一時的に痛みを押へるのみでなく連續して用ふると患部の組織新生を助ける効があるので自然治癒の機轉を速かにする特色がある、簡單な軟膏と坐藥と内服藥との三種で何れも無刺戟性であるから使用上にも便利が多い。

要するに斯ういふ藥を使ふ一方に食餌の關係を知り病症の惡化を防いで行けばぢ疾はそれ程に重くなつて入院や手術の苦痛に泣くことがなくて濟むものである。

家庭欄

夏の教育座談(二) 休暇中の子供の指導 A・B・C・D

B 一ヶ月の夏休みの間にはどうしても怠け癖がつくやうだね

D それは親の適當な指導がないからさ

B 親は夫々仕事があるのだからさう〳〵子供の世話ばかりは出來ないよ

C 同感だね、家庭に於ける指導といふのは中々言ふべくして行はれ難いものだ、家庭教育に關する書物などを讀んで見るといろ〳〵細かい注意が載つてゐるが家庭教師でも置かないことには出來ないやうなことが多い

B どうも理論と實際は一致し難いものだね、僕の知つてゐる某教育者で中々確りした教育上の意見を持つた人があるが其の人の意見の通りに行けばよほど立派な家庭教育が行はれなければならない譯であるのに、我々素人が見てもどうも感心しない點が少くないのだ、これなどは理論と實際の一致しないことを如實に示したものだと思ふ

D さう言つてしまふと家庭教育などは出來なくなるが、兎に角理想は理想として、その理想に近づくべく出來るだけの努力はしたいものだ

B まあ家庭教育のことはすべて家内に任せて置くんだね

C さうやつて置けばいつも「お前の教育が惡いからだ」と言つて置いて自分は涼しい顔をしてゐられるからなあ

D 無責任なお父さんだね

A ところで學校が休暇中家庭に要求する指導といふのはどんなことだらう

B 子供が持つて歸つた印刷物を見ると朝は早く起きろとか食べ過ぎをするなとか言つたやうな注意が書いてあつたやうだが、そんな形式的なことならまことに簡單だね

D 學校で要求することは其の程度より仕方がないだらう、家庭に於て子供を如何に伸ばしてゆくかは親の頭一つだ、子供ばかりにかゝつちやゐられないと言ふやうな意見もあつたが、指導といふことは朝から晩まで子供のそばにくつゝいてゐて「あゝしろ」「かうしろ」と命令することではないと思ふ、子供の好きさうなよい書物を買つて默つて與へてやることも指導ならば手藝の好きな子供に其の材料を與へてやることも指導だ、夏季休暇に於ける子供の指導をさうした方面から眺めて見たいと思ふ(未完)

創作 神聖なる惡戯(五) 五十嵐稔

これには部屋の中の者も、さすがにぎよつとしたのでした。が、何しろ血氣にはやる人達です。何でじつとして居ませう、一人は突差に匕首を振りかぶるが早いか、颯……と躍り懸つて居ました。

「天鬼め!」

然し、曲者はものも言はずに、目に止まらぬ早さで横に薙いで居ます。血煙りと叫喚と……あゝ、其處には、味方の一人が最早一刀の下に斃されて居たのです。中々侮れない使ひ手でした。殘つた者はもう手向ひたくとも、それがむざむざ命を捨るやうなものであることは火を見るやうに明らかでした。皆が齒ぎしりして手向はないのを冷やかに見てとると、曲者は初めて口をきいて居ました。

「天鬼?」然も、いぶかるやうな口調で、かう反問したのです。

それだけでも、待ち構えた人達にとつて充分な驚きでした。

「世間では俺だちのことを、飛將軍とか呼んで居るやうだが」

これだけ聞けばもう充分です。幹英と孫山とは、がたがた震へながら、窓の下を離れると、命から〴〵一散に驅け出して居ました。

それでもやつと邸の前迄來た時、息をはずませた孫山が、

「幹英、君聞いたか?」と蚊のやうな聲で囁きました。

「聞いた、聞いた。命が縮まる想ひがした」と、幹英も土色の顔をして答へました。

「確に、飛將軍と云つたな」

「うん」幹英は、只うなづくばかりです。

「あゝ……何て強い奴だ」孫山は溜息をついて、こわ〴〵邸の方を振り返りました。二人とも、先刻の元氣は何處へやら、それこそ青菜に鹽の態です。

(此處で、飛將軍と聞いて皆の恐れたわけを、簡單に説明致しませう。二月程以前から、城内と城外とを問はず、現はれると思へば忽ち蹤を隱し、それこそ變幻出沒を極める怪賊がありました。而も、その現れるや、必らず名寶を奪ひ黄金を掠め、その爲には、抵抗する者を斬て捨ることを何とも思はないと云ふのですから、人々の之を憎むこともさりながら、恐れることは亦非常なものでした。その上、怪賊達は天を翔けるのか地に潛むのか、未だに捕はれないのです。飛將軍と云ふのは、この怪賊に人々がつけた綽名なのでした)

しかしながらもの二分間と立たぬ中に、先づ孫山が落着きを取り戻すと、憤然として居たのです

涼味豐かな『海芋の花』 生花にも盛花にもよい

大連華道學院 三好洞石

▽…此頃切花屋の店頭を見ると白いラッパのやうな形をした花と鮮かな緑色の葉とが非常に異彩を放つてゐる、此の花は生花にも盛花にも使はれるもので南京とか高麗とかいふやうな古雅な瓶にも調和するしペルシヤや南蠻の色に配しても面白い、此の花は「海芋」といつてゐる海草の花は勿論花道界には早くから知られてゐるやうだが一般には餘り知られてないのみならず名さへも知らぬ者が多い、此の花は佛焰狀といふ花冠の形が面白いばかりで無く花の來歴から見ても面白い處がある

▽…海芋は植物學上から云ふと天南星科に屬し俗にクワズイモ、ドクイモ、オランダカイフなどゝも呼んでゐる、有毒植物なので手に觸れぬ人もあるが挿て眺めるには何の差支もなからうと思ふ、イモと名の付くのは多年生の宿根草で其の地下莖の形や或は葉の形から來てゐるのであらうと思ふ、歐洲ではリチヤーディアと呼んでゐる、今日本に分布されてゐるのはオランダカイウといふが實は米國の原産で、明治維新前後に渡來したものだから

▽…外國舶來と云へば何でもかでもオランダにしてしまつたのである、即ちウマゴヤシにもオランダがあり、イチゴにもオランダがあると云つた調子である日本に此種の花の類を求めると「ウラシマ草」があり、矢張り花は佛焰狀で中から蕋が、夢のやうに立つ、之を浦島の玉手箱の煙に見立てたものでせう、海芋には遺憾乍ら斯うした風雅な名が付いてゐない、歐洲にも海芋がある、英國ではカラと云つてゐるが矢張り日本と同じ意味の名の付けやうで此時エジプトナイルタリーといふ別名もある

▽…此の語源を覈べて見るとアフリカのナイル川には澤山の野生があつて、春ナイルの水が氾濫する頃になると水は其の根をピタ〳〵に浸し其の緑の葉の中から夢のやうに花が浮き出す、花が終る頃、水は引いて古い葉は次第に枯れ根の上にかぶさつてしまふ之は根が赤道近くの猛烈な日光熱を遮るためである、花は此の期間に十分休息する空の星座は此期間に漸次變つて行く、北斗のめぐる大熊星座や小熊星座が頭と尾の位置に轉ずる頃水は再び岸を叩いて花は再び夢のやうに咲く

▽…我々は天文學が最も早く開け曆法が最も早く作られたエジプトを知つてゐる藝術の萌芽は茲に發し文化の波は先づナイルの兩岸に溢れて一つは東して歐洲に入り、他の一つは西してアジアに入つた事を數へられてゐる、其のナイル河を原産地とする海芋の花の其の形の如何にも神秘的なのは感慨無量を禁じ得ない、海芋の苞は白を以て普通とする、而し近頃は黄もあり紅もあり又黒味を帶びたものもある、莖や葉には夏の夜の空のやうに多くの星の現はれたものもある、之を星の文學に結び付けて考へる事も意味頗る深長である

▽…海芋の花が歐洲の花言葉では何を意味するか私は此の花を「藝術の起源」の象徴としたい【寫眞は海芋の花=電園溫室でうつす】

連續漫畫 彼の職業(三) 次朗作畫

「三公?そんな人はこゝにはゐませんよ」樂屋で衣裳や小道具の整理をしてゐた老人はトン吉にこんな返事をした。

「おかしいなあ、おかしいなあ」

トン吉は呟きながら樂屋を出た。三公が嘘を言つてゐるのかあの老人が嘘を吐いたのか、トン吉は三公が果してこのサーカスの中から出て來るか否かを確めやうと、その附近を散歩しながらサーカスがはねるのを待つてゐた。

實用支那語會話 秩父固太郎

第五十課

1 昨兒陽韃兒鬧賊了
2 聽見狗咬了
3 夜裡甚麼時候兒
4 三點來鐘罷
5 是麼我沒醒
6 我解手兒去了
7 誰都沒理會有賊
8 失了盜了麼
9 賊偸了東西了
10 偸了甚麼東西了
11 説是鐲子和鐲子
12 沒拿錢走麼
13 也許拿了走了
14 賊是怎麼進去的
15 打碎窗戶玻璃了
16 算是小毛賊兒
17 强盜那可了不得
18 報了官了麼
19 當時就報了
20 盼望快拿住罷

公開狀 接骨業島田氏の反省を求む(一)

大連常盤小學校訓導 國東正路

七月二十六日本紙夕刊に「骨接ぎの荒療治で哀れ小學生犧牲となる」の見出の下に私の愛しい教子が悲慘な災厄に罹つた事件が公報されてゐた。事件の内容眞相は紙上所載の通りだが事件に深い交渉を持つ私は私の主觀を公開せねば卿が濟まぬ樣な責任觀が起つてくるので敢て筆を採ることにした、以下は私の日誌の斷片を綜合したもので勿論小説や淡説では無い、メスを持つ外科醫に一夕の静誠ともなり「仁」を以つて立つ醫師併びに其の同職業者に深甚な反省を求むるまでゞある。◇

六月二十五日優君は武田訓導の下に柔道練習中ワザに體力が負けて相手のT君と共に倒れたが逆に捻つた左上膊骨を挫折したT訓導は直ちに優君を附近の接骨醫島田氏方に運んで手當を乞ふた。私はT度ランニングの指導中であつたが急をきいて島田家に驅つけた時は既に應急の手當も濟んだ後であつた。T訓導の話では優君は成績の優秀なだけあつて。嚴しい治療の時も辛抱して我慢したといふ。治療に立會つて蒼くなつてゐるT訓導に引き替へ當の優君は至極平氣で苦痛の樣でも無かつた。其所に優君の兩親が驅つけたが島田氏の言葉や態度が如何にも自信ありげに見えたので一同は愁眉を開いてまづ〳〵良かつたと安心をした。此時施した手當が優君の終生を闇に葬るべき恐ろしい結果をもたらさうとは兩親も私共も想像だにしなかつた。◇

島田氏は接骨技術に於ては可なり評判も良かつたので兩親と相談の上同家に入院して治療することに決めて私等は引き上げた。枕頭に付添ふ優君の父が愛兒の將來の不吉な想像に脅かされては終夜まどろみもしなかつたことは私のその夜の夢と大した相違は無かつたであらう。◇

翌二十六日私は級の代表者を連れて見舞つた、優君は苦痛の疲勞に深い夢を辿つてゐた。二十七日の夕刻見舞つた時島田氏はレントゲンの寫眞を見せて腕に副木をし繃帶を巻いた……と云へば頗る穩かだが……同氏の患者に對する言語態度は妙に私の胸に不快を與へたのである。◇

自分の可愛い教子を私は自分の愛を蹂躪された悲痛と優君の肉體的苦痛に頭の痛ささへ感じた。それはそれでよろしいとして寫眞をよく見ると骨は大きく判然喰ひちがつてゐるのに「之で大丈夫もう接つた」と傲語する不合理な言葉が飲みこめなかつた。それから三四日過ぎて見舞つた時優君の手の甲の部分が赤紫色に腫れ上つてゐるので私は常識的に不安を感じて「永く緊縛し血管を縛れば手先の部分は榮養作用が絶たれて筋肉の纎てが腐るであらう」と島田氏に訊くと「それは誰にも起る症狀で心配はいらない」と島田氏の平然たる態度であつたので私も二の句はつげなかつた。◇

それから暑い〳〵日が續いた。或H患者が八度七分の熱が出たので優君の母は檢溫しようとしたら「何でもない熱である此の熱は手から出るのでは無い手の毒を吸收するから自然と發熱するのだ放つておけば治る」と島田氏は云つた偉大な天才や技術屋は變人が多い常識ばなれのした島田氏の態度に偉大な自信のあるものだと譯も解らず信服せねばならなかつた私も僻であるが◇

暴虐と不合理な島田氏の態度に飽きだらぬ樣な優君の母も大事な我が手の身體を任せる主治醫の宣告を、御無理御尤もと承認し腫れ物に觸れる樣に從順な態度に出ねばならなかつた優君の母も我子可愛さから來た已むを得ぬ成行であらうと思つた。私は優君の兩親と等しく不安の中にも始めから島田氏に信頼した信仰を動かす事が出來なかつた。强調された信仰を强調された儘に信じ切らうとした骨肉の情と師弟の情は今となれば盲昧なものであつた(未完)

海水浴後の、鹽氣を洗ひ落し、登山の汗を淸め、キャンプ生活の朝夕に、溫泉に、湖邊に、林間に、旅の汽車中に、

ミツワ石鹸なくば

その不快如何ばかりぞ。

猛夏一日の活動後も
此石鹸を用ゐて一風呂せば
疲勞と汗と共に流れ去つて
涼風膚に湧來る。

到る所に此國產石鹸あり
到る所に涼味あり

精密な質
工程の、周到から、此の石鹸には分子の列びに無理がない。

適度な溶解
溪川の水にも溶け、湯にも溶過ぎず、要るだけ溶けて、無駄がない

微妙な泡立
大きな泡は刺激が伴ひ易い、泡立の悪い石鹸は除垢が悪い。之は細かに豊かな泡。

緩和な作用
作用が緩和で、膚をあらさずに汚垢を十分に落す。

淸爽な用ひ心地
懷かしい思出を誘ふ芳香、毛孔に潜む垢も見逃さず、洗去つた後に石鹸分が殘らず、用後が淸爽。

三倍以上の保ち
溶崩れがなく、終りまできれいに用ひきれて、三倍以上保つ。

此の良質の石鹸をよく此の廉價で提供できますのも、大量生產の結果で偏に皆様の御愛用の賜と厚く御禮を申上げます。

◎ミツワ石鹸
不斷の品質向上の爲に、日夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士　小平勳氏
藥學士
農學士　河村正鑑氏
工學士　三雲次郎氏
工學士　野中正夫氏

本舗　東京　◎丸見屋商店

7.33

向日葵さく夏の一隅

那の視察を了した上臺灣高雄に向ひ基隆を經て十九日間で大阪に歸港日支南周を終ると倫吏に北周を企てるがこれ又頗る人氣よく既に一、二等滿員で三等に少し餘裕がある程度であると

州内地下水の採取は長官の許可が要る
近く廳令で規則發布

關東廳では兎角水飢饉の關東州内に近來續々地下水源が發見され、やがて工業用に、灌漑用に右地下水の利用盛となるに備ふるため右地下水の統一と取締をなす關東州地下水取締規則の制定中であつたが、最近では大體に於て既に審議室の審査も終了したので近日中廳令を以て右規則の發布を見ることゝなつた、同規則の内容は頗る簡單なるもので地下水の採取は總て長官の認可事項とすること違反者は百圓以下の罰金其他處罰を受くること等が主なる條項となつてゐる

R百號飛行船大西洋横斷
スコット少佐も同乘

【カーヂントン（イギリス）廿九日發通】航空船アール百號は廿九日午前三時四十五分當地離陸カナダのモントリオールに向け大西洋橫斷飛行の途に上つた、同號の乘組員は四十四名で總司令は飛行船操縱に十五年の經驗を有するアール・エル、ブース航空少佐で當年三十六歲の氣鋭の士である乘員中士官は五名、船員卅二名他は觀察員である、なほ十一年前アール三十四號を指揮して歷史的訪米飛行を敢行したスコット少佐も同乘してゐる

家庭爭議は都市の騷音から
騷音になやむ近代人

【東京特電二十九日發】神經的な電車の軋り轢みつくやうな自動車の警笛、爆發するオートバイの響音、これら近代スピード文明の殺人的な騷音に夜となく晝となく惱まされ續けて居るのは東京人の大きな苦惱であるが、而も機械文明が進めば進むほどこの非音樂的な騷音は愈々增大して都市生活者の神經をいやが上にも煩らつかせることはもちろんである、既にニューヨークその他の大都市では騷音防止委員會を組織して居り、これが對策に大童となつて居るが、東京市でも漸くこの文明都市の病氣の治療の必要を感じ八月末電氣局理事山下又三郎氏をして歐米各國の都市騷音防止施設を視察せしむることゝなつたが右に就き渠音響研究のオーソリテイは左の如く語つた

耳、鼻、神經の専門醫パルム、ヴイ・ウインスロー博士は「大都會に於ける家庭爭議の原因は外界からの騷音に負ふことが多い、だからその際當事者を靜かな病院の一室に入れてドアを密閉すると大抵平靜に返る」と云つて居る、その他コールゲイト大學の試驗の結果に依ると靜かな部屋の鼠は少食で都會的騷音の部屋に於ける鼠は最も多量の食糧を攝り、體のエネルギーが如何に多く消費されるかが證明された、又騷音の裡に棲む動物は靜かな場所に棲息するものより出產率が非常に低いやうだ、東京市では近く家庭爭議の一原因でもある騷音防止の爲め衞生試驗所、電氣協會などと協力して電車進行中の音響消防方法その他都市騷音の防止施設を講ずる事になつた

訪日フ號の贈呈式
立川飛行場で

日伊親善に大飛行の輝かしい使命を果したロンバルヂー、カンパメリの兩氏はいよ／＼今二十八日歸國の途につくに當り愛機フイアットを日本航空聯盟に寄贈する事となり二十八日午前十時より立川飛行場で各關係者出席贈呈式を行つた【寫眞は右よりロンバルヂー氏、カンパメリ氏、來賓小泉遞相】

日支周遊船秦皇島へ
廿九日大連出帆

ツーリストビウロー、大阪商船共同主催の日支周遊船は廿八日先づその第一歩を大連の土地に印したが、乘客一同百七十三名は何れも嬉々として上陸後旅大の地を限なく見物、憧がれの滿洲の一端を窺ひ得たと大喜びで大連に一泊の上廿九日午後五時萬國旗に飾られビウロー員並に大阪商船支店等關係者の「萬歲」「サヨナラ」に送られ秦皇島に向つて折柄の夕雨をついてあめりか丸は出帆した秦皇島入港の後北平、天津をつぶさに見學更に南下して上海に出で新興支

沖ツ海デー
異彩を放つ幕下の人氣者
大相撲二日目勝負

大相撲一行の第二日目は朝來の雨模樣で氣づかはれて居たが正午過ぎ頃から好角家は第一日の好取組にそゝのかされて續々來場西棧敷には沖ツ海後援會の四百名が陣取つて應援する、三時頃から實業團の選手連も來場して沖ツ海に應援す相變らず大入、逢坂町の美しいところが黃色い聲をはり上げて各贔負力士に聲援を與へてこゝならでは見られない光景、四時から小雨に見舞はれたが、浴衣がけの好角家連は動かうともせず景氣が好い、その上御好み數番で大向ふをうならせ本社の御好み相撲三回戰沖ツ海晴ノ海は沖ツ海の勝ちとなつて場内どよめく、協會の幕下個人決勝は双葉山と柳鬪が殘つたが柳鬪肩すかしの一手極つて勝西方土俵入りの際實業團安藤弟第二世が沖ツ海に抱かれて土俵入りをして人氣大いに湧く二日目の成績左の如くである

晴ノ海（そとがけ）海光山
高濱（上手投げ）沖ツ海
潮ケ濱（寄り倒し）朝光
中入
若瀨川（おしきり）池田川

寄附を强要し酒色に溺れる

原籍埼玉縣大里郡久下村當時住所不定無職雪涙こと島村縣（三七）は去る五月以來皇室中心主義のパンフレット「靈驗」と題する出版物を發行すると稱し三室町二水島權十郞ほか六十三名から百六十四圓五十錢の寄附を得全部自己の生活並に酒色のため消費したほか市中各方面を歷訪し出版物に藉口して金錢の無心を爲し二十八日若狹町滿洲消防新聞社宇野治入かたへ立廻つた處を大連署岸高等特務に逮捕され拘留取調中である

五人組支那兵のため邦人斧で慘殺さる
長春領事館警察署から急行
昨朝吉長線九臺で

【長春特電三十日發】吉長線、下九臺居住邦人雜貨商保田要之助方へ卅日朝八時ごろ突如五名連れの支那兵闖入し、保田の内緣の妻安永とめ（三七）を支那式斧を以て頭部胸部を滅多打ちにして逃走した、急報に依り長春領事館警察署より堀内警部補外數名の警官現場へ急行した、原因その他は目下のところ不明で堀内警部補は今夜八時歸來の豫定で被害者は午前九時頃絕命した

池鬪をかけしも若立たず、しきりなほすこと三回双方立上り若鐵砲で敵を攻めたてたが池うまくはずして右押しとなり土俵際まで押し寄つたが逆に若に押切られる

大蛇山（ふみこし）幡瀨川
巧者な點に於て幡瀨に一歩の長はあつたが年限に缺けて居るだけに如何かと思はれて居たが果せる哉猛烈に突つ張り左四つとなるや白柱に寄りつめ土俵際で小手投げを打つたけれど既に踏越があり惜しい負けをした
鶴（上手投げ）太郎山
鶴鬪をかけたが太郎立たず仕切りなほすこと四回立ち上るや太郎左四つとなつて土俵眞中にしばし後太郎强引の上手投げにかゝつて敗る
朝　潮（つり出し）雷ノ峰
今日の番組中の好取合せとて人氣わく、朝立つたがきかず、立ち上るや雷得意の右をさしたが朝も得意の右をさして相四つとなりしばし大相撲、見る間に朝雷を押して寄り出してしまふ
若葉山（押出し）吉野山
しきり直し四回後若押しの一手で押したが西土俵際で吉よくこらへたか遂にこらへ切らず鬪る若の得意の押偉大なる哉である
豐　國（小手投げ）錦洋
錦鬪をかけたが豐自重して立たずしきりなほすこと四回豐國に一歩の長ありと思はれたが立つや直ちに豐猛烈に錦を突き錦しばしこらへて左をさし土俵の眞中でしばし錦猛烈にせめたてゝ錦の勝ちと見えたが豐もさるもの遂に小手投げをふらはして堂々大關の貫錄を示す
玉　錦（寄り倒し）劍岳
しきり直し四回後氣合つて立ち上るや劍二本差して玉に寄つたが逆に寄り倒されて玉勝つ
宮城山（小手投げ）寶川
右四つ得意同志の結び相撲棧敷から盛に聲がかゝる寶急いで聲をかけたが宮立たずしきり二回立ち寶右差して寄つたが宮の强引の小手投げ如何ともし難くもろくも敗る
打出し七時二十分

三日目の後援會

▲沖ツ海後援會約五百名
▲幡瀨川、若瀨川後援會約五百名
▲玉錦後援會二百名
▲田中市長の招待會

なほ三日目取組のうち左の如く變更した

（錦寶）川洋（玉朝）嶽錦

毎日職を與へよ
失業者が名古屋市役所に押掛く
警官隊が出動し檢束

【名古屋廿九日發電通】名古屋市役所方面の失業救濟事業に從事中の失業登錄者約三百名は廿九日午前八時大擧して名古屋市役所に押寄せ市長に面會を强要したので警官六十名出動三名を檢束したが、結局七名の代表を出して市長と會見する事となり

一、毎日職を與へよ
一、勞働時間を七時より五時半迄のを三時半迄とせよ

外數項の要求を提出して市長に詰め寄り不穩の態度があつたので代表者全部檢束された

手拭一本で子供の寢冷

え知らずやエプロンなど色々作れる新方法が婦人俱樂部八月號に掲載され到る處重寶がられてゐる。

暑中見舞と中元贈答品激增
東京と反對の現象を示す
大阪郵便局の取扱

【大阪特電三十日發】深刻なる不況の反映として近來東京に於ては葉書の賣行が減少しつゝあるが大阪にては全くこれと反對の暑中見舞は五割增の大激增を示してゐる即ち大阪中央郵便局の調査によれば昨年に比較して五割增といふ小數字を示してゐる、昨年七月二十六日十二萬通二十七日十五萬通同二十八日十萬通が今年の同二十六日二十二萬通二十七日十六萬通二十八日は正午までに十九萬通突破といふ勢ひである、また昨年のレコードは七月二十九日の十六萬通で大體平均一日受付十萬通だつたのが今年は約十五、六萬通平均ゐる、同局の觀測では八月に入ると二十五萬個までは上るだらうと腕を撫して待ちかまへてゐる、市内各局でも同樣七月一日あたりからほゞ二割增し各地局とも同じ勢ひである、中元贈答品は每年八月十日前後が一番多いが、六月下旬大阪中央局では平日の取扱數二萬七、八千個が一躍四萬個に飛び上り七月半ばに入つても平素の一割五分の增加を示してゐる、贈答がかく激增するのは不況のドン底に呻いてゐる商人が何とかして捌け口を見出さうとする「悲壯なる投資」とみられ送られる小包の中味は商品切手が一番多い

米食の補給に女流選手の心配
昨日哈市出發歐洲へ

【ハルビン特電三十日發】北滿ホテルに日本から直行の旅装を解いた人見絹江孃選手の一行は一風呂浴びてビューローに總ての手續きを依賴した後スタヂオで輕い足の練習を行ひ二日間休養・萬事の準備を整へ本日發の歐亞連絡列車で歐洲へ出發した、一行の最年少者渡邊孃はハルビンがヨーロッパ風に變つてゐるのに愕きの眼を見張つてゐたが、姉さんの絹江孃は本年廿四歲、既に歐洲の女子陸上競技に出場することこれで三回に達し姉さんらしいタイプで全軍を采配してゐた、聞けば一行はロシヤの道中に食糧が缺乏し元氣が拔けては出來るだけ多量の罐詰を準備し、愈々パン生活で力が出ない時にはと白米一斗を積込んで世界の舞臺に華々しく日本米の走力をみせやうとの意氣で若これで足らない時は一斗の白米をお粥にして汁でも吸ふ覺悟、京都出身の選手は先づ大丈夫といふ譯だと井尻高女教諭得意の態であつた、選手達は「洋食には多少馴れてゐますけれど、お米をなべぬと、どうもおなかの工合が頼おすさかへに」と米食の補給に心配の樣子であつた

プールの水は内地より良い
關東廳武田技師調査

關東廳では昨夏來各廳設プールの汚濁程度を調査し併せてその適當なる對策を施すため學務課武田技師監督の下に大連神明高女、旅順體育研究所黃金臺各廳設プールの水質檢査を開始し、本年も去る本月十二日を皮切りに今日まで前後四日間十二回に亘つて旅順兩プールの檢査を行つたが、その結果表に依れば先づ體研プールは增水直後中央部水深二尺の位置に於て競泳用は一立方糎につき十、子供用は同百二十の細菌聚落を見たるに對しその後五日目には前者二百七十四、後者五百四十九と何れも細菌增加し更に翌六日目には表面乃至中央部共萬餘の數に細菌の增加を見た、黃金臺プールは十九日午前十時半中央水深一尺の位置にて無數の細菌が存在せるを發見、かくてプールの水質は換水後逐日細菌增殖し汚くなることが判明したが尙潔度から云へば晴天の日は表面最も多く底に近づくにつれて順次少く、雨天の日はこれと反對の現象を呈してゐるが、體研プールには本年からカポクタットを使用して殺菌してゐるので頗る成績宜しく又一般に滿洲のプールには東京其他内地の水道、井水、河水等に依る淡水プールに較ぶればグッと淸淨で内地第一のプールと稱せられてゐるYMCAプールには入水前入浴石鹼にて身體を淸淨したる後のみ入水を許して淸淨を保つ樣努めてゐるのであるがそれでも六千四百からの細菌がゐると

九A對二で慶應快勝
對奉天滿倶戰

【奉天特電二十九日發】慶應軍對奉天滿倶軍の野球戰は廿九日午後三時五分から奉天新球場で擧行された、この日好晴に惠まれ興味が期待されて居たことゝてスタンドは近來稀な觀衆を以て埋められ盛況を呈した、バッテリーは慶應軍宮武、小川（塚越八回目に宮武と代る）滿倶軍田村、近藤（田村七回目に柳原と代る）球審高橋、壘審井川審判の下に滿倶先攻で開始、慶應は二回に三點、四回に二點、五回に一擧四點を入れたるに對し滿倶は一回に一點、六回に一點入れたが慶應の好守備に長蛇を逸し遂に九A對二で滿倶軍敗れ午後五時閉戰した

按摩業組合揉める
幹部と反目し

大連按摩業組合は現幹部に對する不平から組合員相互間に暗鬪を續けて來たが、二十九日午後三時つひに岡本、堀越ほか一名の組合員は大連署に高瀨衞生主任を訪問し現在の如き組合ならばわれ等は組合員として加入してゐる譯に行かないから幹部に對し好く事理を說かせ圓滿に解決するやう取計らつて貰ひたいと出願した、つまり現組合幹部は總會の決議を實行しない矢先に臨時總會を開いて前回の決議を撤回したのみならず新らしく規約の改正を行つたと云ふのが大體に於ける反目の骨子であるが右の出願に對し高瀨衞生主任は君達の希望も一應は參考として聞いて置くが一方幹部側の意見も聞いた上善處する事にしようと返答したので同三時四十分一同は滿足して引き下つた

大商野球團激勵試合
卒業生軍と

全滿中等學校野球大會に優勝の榮冠を獲た大連商業野球部選手は來る一日内地遠征の途に上るが、同校卒業生チームは卅一日午後四時から滿倶球場に於て母校選手と送別野球戰を催し其の行を盛んにする

楨の水兵逃亡

在港第九驅逐艦楨乘組一等水兵鈴木太三郎（二一）は廿七日の午後五時頃正服の儘上陸し歸艦せぬので憲兵分隊に於て目下搜査中であるが大連方面へ行つたらしいと

汐見博士講演

滿鐵社會施設係りでは目下研究のため來滿中の財政學の權威者經濟學博士汐見三郎氏を聘し八月一日午後三時半から社員俱樂部第二集會室に於て講演を乞ひ演題は日本の財政で一般の來聽をのぞむと

海の唄　仲木貞一作　一木弴畫

「八」

白河の里（三）

訪ねて來た女は、大阪堂島の島木屋といふ家の娘だつた。名を京子と稱つた。

秋月和雄——今、訪ねて來た此家の息子とは、幼友達であり、深い戀仲である。

「和雄のたよりなら私等より貴女の方が、よう知つといやすと、思ふてましたが、ぢや貴女の處へもか……」

和雄の母親は、半信半疑といふやうな顏付に、京子の方を見た。

「はあ、私の處へも……ちよつともたよりがないさかい……然うして出られるビンではないんですけど……和雄さんの、今、お出になる處だけ報せて欲しいと思つて……」

と、云つたが、京子は、ふと氣付いたやうに立ち上つて、上り框の處に置いてあつた風呂敷包を持つて來た。

「あの、私忘れてましたの、煖んなもの……」

それは、すらくとして東京で云つたが、風呂敷の中から丸い籠入りの昆布菓子や、洒落れた竹籠の燒蒲鉾の美事なのを、そこに並べながら

「おぢさんのお口には何うかと思ひましたけど、……これはおばさんのおふだんにでも……」

も一つ、そこに差し出したのは大阪の三越のかけ紙した、半襟らしい箱。

「まあ、京ちやん、そない何かお呉れやして困つて了ひまんがな」

母親は、然う云つて、人の好ささうな笑ひを見せながら、品々を一つ〳〵戴いて、自分の方に引き寄せた。

京子は、だん〳〵落ちついて來た。襖の向ふでは、をり〳〵忍ぶやうな咳をしては、寢返りでも打つやうな氣配がした。

「おぢさんの御病氣は……？」

京子で、其處に出された冷たい煎茶を啜りながら訊く

「なアに、……矢張り商賣も思ふやうになりまへんしな。そないなことで、辛氣臭い云ふてな。えらう惱いことはおまへん……まあ、今夜は京子さんも悠然してゆきなはれや」

こう云つて、母親は起ち上ると今貰つた品々を、大事さうに持ち上げて、ぴしやりと閉めきられた襖を、やう〳〵身體が通れるだけに開いて、其方に這入つて行つた。

京子は、ちらとその方を見たが、また親ぬ風に背を向けるやうにして、指輪のきらつく細い手を長火鉢の上にかざしてゐた。

其方では、何か小さな聲でホソ〳〵と、話し合つてゐるのが聞えて來たが、やがて、

「うむ、解つた……大事ないがな……」

と云ふ叔父の聲がすると、直に母親は引返して來た。

「京子さん、何がお好きどす？……何か貴女のえいものをお振舞ひしま〻さ」

「えゝ、もう私、去きますわ」

と、京子は、ちよつと火鉢から離れる

「まあ、そないなことを……私がこれからお炊事をしてなア……」

然う云つて、母親は甲斐々々しさうに、黒い毛繻子の襷をかけると叩土の臺所の方へ下りていつた

外は何時か薄暗く暮れてゐた。

京子は頭の上の電燈が點くと、その薄暗い光をぼんやり眺めてゐたが、ふと、さびしい何やらものを思はしさうな顏つきをして起ち上つた。

新刊紹介

▲トルストイ全集（十卷）米川正夫、中村白葉共譯）本卷は彼の作品の後期中短篇物ですべて宗教的轉向後に書かれたものが集錄されてゐる、從つて全編の諸作が道德的教化的意義を第一目的とし純な人生觀照と再現は少なく共表面上影を潜め、いかに生くべきかといふ人生第一の問題に對して何らかの意味で暗示なり解答なりを與へてゐる、しかもこれ等の作品は兎角こうした作品が陷り勝である概念的な道學臭に充ちた無味乾燥なものでなく、讀者は高い藝術的感興をもつて描かれた作の世界に己れ自身を引き込まれ作者の欲する思想的目標へ知らず知らずに導かれて行くのは流石に文豪杜翁であると、しみ〴〵と感じさせられる、本著にはアンナ、カレーニナ」完成後十年間の沈默を破つて宗教的に甦生した杜翁が死を主題とした小説を公にし當時の文壇社會に大センセイションを起した「イワン・イリツチの死」或ひはベートーフエンに作曲され、男女關係、結婚問題、性慾問題を根本的に批評し、殺人者の心理を明快に說いた名作「クロイツエル・ソナタ」又は彼の代表的宗教觀「光りある中に光の中を歩め」等中短篇物總て二十一篇を集めてゐる（七百六十三頁豫約本東京神田一ツ橋通町岩波書店發行）

▲婦人倶樂部（八月號）ロ繪グラフは關東關西美人くらべ等、小說は「姉妹」（菊池寬）等、其他の讀物では「妊婦の衞生と安產心得」「食慾をすゝめる榮養病人料理」「よい子を儲ける座談會」等々例によつて豐澤山四百五十四頁の大冊（定價五十錢東京本郷駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）

▲警世（七月號）（定價四十錢大阪天王寺堂ケ芝町其社發行）

▲電氣之友（七百卅五號）（定價四十ヶ錢東京京橋銀座八其社發行

▲大阪パック（十四號）（定價二十錢大阪東區備堀二其社發行）

▲書の光（二號）定價十二錢東京麻布本村町書壇社發行

▲法律時報（百十三號）定價四十錢大連西公園町大內成美發行人

▲少女畫報（八月號）「スポーツグラフ」「寶塚カゲキアルバム」「愛の新珠」（富田常雄）「生ける畫像」（三木實澄）漫畫、凉しい接待法（中野正治）を始め特選少女小說、連載小說等々何れも夏向き暑中休み向きの美くしい編輯である（定價五十錢東京京橋疊町東京社發行）

▲祖國（八月號）アメリカ主義克服、池崎忠孝他七氏）戰爭の哲學（北昤吉）等（定價五十錢東京市外千駄ヶ谷學苑社發行）

▲水甕（七月號）定價廿錢大阪住吉區濱口町其社發行

▲顯（七月號）銀扇の一對に女波男波かな（島不關）等（定價四十一錢東京市外大崎谷山同書房發行）

滿洲俳壇募集規定

次回課題「旱」「籐椅子」「鱧」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各紙に雅號姓名記載のこと▲締切七月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

懸賞詰聯珠發表（二）

題名「青簾」　上木三山調

本案も前案と略ぼ同一であるが、（十七）の伸び方が違つてゐる。之は素敵な長策ではあるが黑（十五）後（十七）なる時に於て白（十六）を一先づ「い」に防ぐ手を何故考慮の中に入れなかつたであらうと思ふ。即ち「い」に伸びる事に依つて黑は尙ほ多珠を要するのである、此點を考慮しないのが唯一通あつた——が後の珠順に尙ほ調べが不足してゐた。以下正解案と照合玩味されたい。